

令和8年度

小学校施設整備事業

川上小学校屋外便所新築工事(建築)

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松飯田五丁目

特 約 事 項

受注者は、工事施工業者の社会的責任において信義、誠実に施工するとともに次の事項について十分遵守すること。

1. 本工事の施工にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図ること。また、関係法令等に基づく関係官公署等への必要な届出手続きを遅滞なく行うこと。
2. 本工事は建築・機械の区分により、分離発注予定である。施工監理、工程調整等については全社で十分協議のうえ、工事の進捗を図ること。
3. 工事着工に先立ち、資材調達見込みについて発注者へ報告し、発注者と協議のうえ、全体あるいは関連する一団の工事について工事継続が可能であると判断されたのちに工事着工すること。
4. 次の各号の場合において、工事着手前に工事を一時中止する場合がある（後日、一時中止に伴い工期延期する場合もある）。この場合、工事の一時中止（及び工期延期）に伴う請負代金額の変更等を行わない。（工事着手後の一時中止（及び工期延期）についてはこの限りではない。）
 - 1) 機械設備工事等、本工事と密接に関連する他の工事（以下「関連他工事」という）の入札不調が発生した場合
 - 2) 関連他工事において工事一時中止した場合
 - 3) 3.の協議により工事継続が不可能と判断された場合
5. 本工事以外に同敷地内において別途工事（川上小学校グラウンド屋外放送設備設置工事）を行う予定である。そのため、同時施工する場合の調整等を密に行い、工事車輛の経路、配置及び資材置き場等の意思疎通を図り、互いが円滑に施工できるよう工程調整に努めること。なお、別途工事の進捗が遅く、本工事に影響がでる場合は、早急に実施工程表を見直し、監督職員と協議を行うこと。
6. 工事期間中（学校の長期休み期間を含む）についても学校施設を使用するため、停電、断水等に配慮し、大型車両での搬入等については、学校施設管理者と協議・了解を得た上、施設利用に支障のないよう工程の調整に努めること。

7. 工事内容及び工程等については、施設利用に支障のないよう調整に努め、事前に学校施設管理者へ通知すること。
8. 工事期間中の学校行事は契約後に別途教育委員会より通知する予定である。なお、原則として学校運営に支障をきたす現場作業等（騒音・振動・学校運営する上での動線封鎖等）が考えられる場合は、事前に監督職員及び学校施設管理者と協議を行い、実施の可否を決定すること。
※定例の学校行事の抜粋＝入学式・卒業式・運動会・学習発表会・参観日・各種予行練習期間など
9. 仮囲い等の仮設物の設置に関しては、図面 A-27 を基に施設利用者、配膳車両、工事車両、通行車両、通行人等への安全確保を最優先に、監理者、学校施設管理者及び監督職員と十分協議の上、安全対策に万全を期して行うこと。また、原則、登下校時間内の工事車両の搬出入は避けること。
10. 工事関係車両の駐車場は、仮囲い内とする。更に駐車場が必要な場合は、受注者において対応すること。
11. 現場作業時間は、原則 8:30～17:00 とする。なお、現場入場できる時間は児童の登校が完了した後とする。（詳細時間は学校顔合わせ時に施設管理者へ確認し決定する）ただし、やむを得ない事情等により終了時刻を超える場合であっても 18:00 を限度とするが、現場条件及び工程の進捗状況等により監督職員の了承が得られた場合はこの限りではない。
12. 交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から合計 150 人を見込んでいる。また、児童、職員、その他学校関係者と大型車両が交差する場所には適宜交通誘導警備員を移動及び配置し、安全対策に万全を期すること。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。
13. 現場着手に先立ち、施工計画（工程計画・品質管理計画・仮設計画・安全管理計画等）作成のための現地調査等を十分に行うこと。なお、調査に際しては、施設管理者と調査方法・日時等を協議し、施設利用に支障のないように行うこと。
14. 近隣から苦情等が発生した場合は、誠実に対応すると共に、監督職員と十分協議の上、受注者の責任において処理すること。
15. 万一、工事が原因で、近隣及び公共施設等に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償すること。

16. 工事が原因で関係者及び近隣住民等への日常生活に影響を及ぼす恐れのある次の事項などに十分留意し、看板の設置等による工事内容の事前周知、関係者に説明、協議を行い、工事の進捗を図ること。
 - ・騒音、振動、防塵、電波障害等
 - ・工事関係車両の進入路及びやむを得ない通行止め
 - ・工事関係車両の駐車禁止及び待機場所の確保
 - ・公共施設などに影響を及ぼした場合の復旧
17. 本工事は東広島市建設工事執行規則（平成10年東広島市規則第4号）第41条第7の規定により中間検査を行う。実施日時については監督職員と協議のうえ予定時期実施工程表に明示して決定する。
18. 本工事に支障ある埋設物及び障害物などの処理は、監督職員の指示に従い施工すること。
19. 土工事等で発生した排水を水路・側溝に放流するときは、濁水処理を行うこと。また、工事車両が敷地から道路に出る際には、道路に土砂等を出さないよう、十分留意すること。また、道路に土砂等が出た場合は、適宜清掃を行うこと。
20. 本工事は東広島市建設工事執行規則（平成10年東広島市規則第4号）第41条第7項の規定により中間検査を行う。実施日時については監督職員と協議のうえ予定時期を実施工程表に明示して決定する。
21. 工事目的物及び工事材料を建設工事保険等に附すること。保険契約締結後は、速やかに証券等の写しを提出すること。
 - ①期間は、現場作業着手日から工期末日までとする。

ただし、受注工事毎に附する保険の場合ではなく、受注者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合は、新契約の証券等の写しを提出すること。
 - ②保険は、請負額相当額に対し附すること。
22. 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
 - ① 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - ② 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

23. 労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。
24. 現場工事中又は完了後に一部引越し作業や通信接続作業を行う必要がある場合は、当該作業を行う関連会社、施設管理者からの問合せ、協議や依頼に対して誠実に対応し、円滑に当該作業が行えるように取り計らうこと。
25. 当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
（名称）カワモトリサイクルセンター
（所在地）東広島市志和町字塚土山 10001
（運搬距離）約 7.1 k m
26. 本工事は、週休 2 日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休 2 日適用工事等実施要領（営繕工事）（最新版）」に従うこと。

特記仕様書

主任技術者又は監理技術者の配置等

1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される主任技術者又は監理技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

- (1) 工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
- (2) 工事用地等の確保が未完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任技術者又は監理技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任技術者又は監理技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

- (4) 工事完成後、検査が終了し、引渡しを受けるまでの期間

2 主任技術者又は監理技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任技術者又は監理技術者の変更ができるものとする。

- (1) 受注者の責によらない理由により工期が延長された場合であって、延長前の工期を経過したとき。
- (2) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

特記仕様書

<現場代理人の常駐義務の緩和>

監督職員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合」として取扱う。

- (1) 請負金額が4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 上記(2)、(3)、(4)に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

<現場代理人の兼務>

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日以前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日以前の町の区域とする。

建設副産物の取り扱いに関する特記仕様書

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ①当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - ②当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記①、②に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

工事中情報共有システムに関する特記仕様書

1 工事中情報共有システム（発注者指定型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領（建築工事）」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3. 適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD 製図基準（国土交通省）」および「CAD 製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。
- 6) 書類提出をシステム登録とするものについても、以下の場合には紙媒体での提出を一部ずつ求めるものとする。
 - ① 施工体制台帳及び施工計画書。
 - ② 図面等が A3 サイズで視認困難なもの。（目視により確認できるサイズにより、紙媒体での提出を求める。）

令和8年度 小学校施設整備事業 川上小学校屋外便所新築工事（建築）

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
【意匠図】			【構造図】			【電気設備図】					
A-00	表紙・図面リスト	-	S-01	構造設計標準仕様	-	E-01	電気設備工事特記仕様書	-			
A-01	建築工事特記仕様書(1)	-	S-02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	-	E-02	受変電設備単線結線図	-			
A-02	建築工事特記仕様書(2)	-	S-03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	-	E-03	分電盤結線図・幹線系統図	-			
A-03	建築工事特記仕様書(3)	-	S-04	地盤調査図	-	E-04	構内配電・通信線路図	1/50, 1/300			
A-04	建築工事特記仕様書(4)	-	S-05	基礎伏図・1階壁床伏図・屋根伏図	1/100	E-05	電灯設備平面図	1/100			
A-05	建築工事特記仕様書(5)	-	S-06	軸組図	1/100	E-06	コンセント設備平面図	1/100			
A-06	建築工事特記仕様書(6)	-	S-07	A通り架橋配筋詳細図	1/30	E-07	弱電設備系統図	-			
A-07	建築工事特記仕様書(7)	-	S-08	雑配筋詳細図	1/30	E-08	誘導支援設備平面図	1/100			
A-08	建築工事特記仕様書(8)	-									
A-09	付近見取図	1/5000									
A-10	配置図	1/400									
A-11	外部・内部仕上表	-									
A-12	敷地面積求積図	1/400									
A-13	面積求積図	1/200・1/400									
A-14	平面図・屋根伏図	1/100									
A-15	立面図・断面図	1/100									
A-16	矩計図	1/30									
A-17	平面詳細図	1/50									
A-18	展開図(1)	1/50									
A-19	展開図(2)	1/50									
A-20	天井伏図・サイン詳細図	1/5・1/100									
A-21	建具表	1/100									
A-22	部分詳細図(1)	1/10・1/20・1/30									
A-23	部分詳細図(2)	1/20									
A-24	部分詳細図(3)	1/20・1/5									
A-25	部分詳細図(4)	1/30									
A-26	外構図	1/20・1/200・1/400									
A-27	仮設図	1/400									

2 仮設工事	① 足場その他	(2. 2. 4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、岡ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。	9 防水工事
	② 監督職員事務所等	※ 設ける m2程度 ・ 設けない (2. 3. 1) 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による	
	③ 工事用水	構内既存の施設 ◎ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)	
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ◎ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)	
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	材料及び工法 (3. 2. 3) (表3. 2. 1) ※ 標準仕様書3.2.1による種別 ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 (雨水) ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 (基礎) (品質：細粒分 (75µm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。) 工法： () (材料：)	
	② 建設発生土の処理	※ 構内発生土の処理に区分 ◎ 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所に敷き出し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 当該工事により発生する建設発生土は、次の図の要する場立地に搬出するものとする 搬出場所 ()	
	③ 山留めの撤去	※ 当該工事により発生する建設発生土は、「建設発生土処分先一覧表」に掲載されている施設がいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平目の受入費用)の合計が最も経済的になる施設(処分先)を優先的に指定し、当該施設に搬出する旨を(事前)申請(書)を見込み、当該施設との間で、正当な理由がある場合を除き発生処分に関する費用は発生しない。 なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の仕様と異なる場合は、監督員と協議するものとする。 ※ 任意仮設(ただし、諸数値については監督員の指示を受けること) (3. 3. 3) 指定板設(工法によっては、耐力確認試験を行うこと) 存置範囲 (図示)	
	④ 整地	建物周囲は改良土厚100mm敷き込みのうえ、転圧直後のこと (1m範囲)	
4 地盤工事	⑤ 鉄筋工事	特記仕様書 (構造関係) による	
	⑥ コンクリート工事		
B コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	① 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類等 (8. 2. 2、3、5) 断面形状及び圧縮強度による区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・ 空洞ブロック (16) ・ 無 ・ 有 ・ 型枠ブロック20 ・ 無 ・ 有 モルタルの割合 (容積比) ※ 標準仕様書8.2.1による ・ セメント () ・ 砂 () 各部の配筋 ※ 図示 モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※ 図示	
	② コンクリートブロック幅壁及び壁	ブロックの種類 (8. 3. 2、3) 断面形状及び圧縮強度による区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ◎ 空洞ブロック (16) 120 400 200 ◎ 無 ・ 有 面台 足洗場 ・ 型枠ブロック20 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 壁の厚さ ※ 図示 壁筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※ 図示 各部の配筋 ※ 図示	
	③ ALCパネル	パネルの区分 単位荷重 (N/m2) 厚さ (mm) 長さ (mm) 幅 (mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別 ・ 外壁パネル ・ 100 ・ ・ 有 (1) 時間 ・ 平 ・ 意匠 ・ A種 ・ B種 ・ 間仕切り壁パネル ・ 100 ・ ・ 有 (1) 時間 ・ 平 ・ 意匠 ・ C種 ・ D種 ・ 屋根パネル ・ 100 ・ ・ 有 (0.5) 時間 平 F種 ・ 床パネル ・ 100 ・ ・ 有 () 時間 ・ 無	
	④ 押出成形セメント板 (ECP)	パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考 ・ 外壁パネル ・ F (フラットパネル) ・ 50 ・ 60 ・ A種 ・ D (デザインパネル) ・ 50 ・ 60 600 ・ B種 ・ T (タイルベースパネル) 60 ・ 間仕切り壁パネル ・ F (フラットパネル) ・ 50 ・ 60 ・ B種 ・ D (デザインパネル) ・ 50 ・ 60 600 ・ C種 ・ T (タイルベースパネル) 60 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ※ 図示 パネル相互の目地幅 (mm) ※ 長さ8、短辺15 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※ 15 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※ パネル製造所の仕様 やむを得ずきき込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。	

1 アスファルト防水	① 屋根保護防水	(9. 2. 2~5) (表9. 2. 3~9) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護方法 ・ A-1 ※ポリステレンフィルム ・ A-2 ※コンクリート ・ A-3 ※コンクリート ・ B-1 ※コンクリート ・ B-2 ※コンクリート ・ B-3 ※コンクリート ・ A-1-1 (材料) JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) ・ A-1-2 ※フラットヤー ・ A-1-3 ※クロス ・ B-1-1 70g/m2程度 ・ B-1-2 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ B-1-3 (厚さ) ※25mm ・ 50mm	
	② 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 標準仕様書9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水 下 80mm以上 床タイル張り ※ 水 下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能)	
	③ 分類・規格	・ 窯業系パネル I 類 (寒冷地仕様) ・ 窯業系パネル II 類 (一般地仕様) ・ 金属複合板	
	④ 寸法 (mm) 厚さ (mm) 幅 (mm)	寸法の許容差 厚さ：+10%、-5%、幅：±1% 出荷時の含水率 550以上 450以上 300以上 曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) 凍結融解完了時 (スパン40cmにおける単位幅10cmあたりの曲げモーメント) 400以上 (300) 320以上 (200) 250以上 (300) 吸水率 (%) 20以下 20以下 1以下 吸水による長さ変化率 (%) 0.07以下 0.07以下 0.01以下 難燃性 不燃 不燃 表面材は不燃 耐凍結融解性能 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 耐衝撃性能 質量500g (窯業系パネル I 類) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱部部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。 質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱部部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	

2 改質アスファルトシート防水	① 屋根露出防水	(表9. 2. 7~8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 使用量 高日射反射率防水の適用 ・ D-1 ※製造所の仕様による ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ D-1-1 JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) ※25mm ・ 50mm ・ D-1-2	
	② 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置	※ 図示 断熱材の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の仕様 断熱材の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の仕様	
	③ 室内防水	(表9. 2. 9) 防水層の種類 種類 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) 防水層の下の立上り ※ コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書6.2.4の種別B種 押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下のモルタル塗り ※ 適用しない ・ 適用する (施工箇所 ※ 図示) 屋上排水溝 ※ 図示	
	④ 防水層の種類	(9. 3. 2~3) (表9. 3. 1~3) 種類 施工箇所 断熱材 防湿シート 仕上塗料 使用量 高日射反射率防水の適用 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-I-T1 JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) ※25mm ・ 50mm ・ AS-I-T1 設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による) ・ 設けない ※ 図示 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 断熱材の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 断熱材の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様	

5 ケイ酸系系塗布防水	① 防水層の種類	(9. 5. 3) (表9. 5. 1、2) 種類 施工箇所 仕上塗料 使用量 保護層 高日射反射率防水の適用 ・ X-1 ※2成分系アクリルウレタン樹脂系 ※製造所の仕様による ・ X-2 底 ※ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系 ※製造所の仕様による ・ Y-1 ※地下外壁防水 ・ Y-2 ※室内防水 X-1 (絶縁工法) の断熱材の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1 (絶縁工法) の断熱材の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量 ※ 標準仕様書9.5.2による ・ 主材料の製造所の仕様	
	② 防水層の種類	(9. 6. 1、3) (表9. 6. 1、2) 種類 施工箇所 ※ C-U-I ※ C-U-P	
	③ 壁及び天井部の防水層の地下	※ コンクリート打直し仕上げ (標準仕様書6.2.4の種別B種) コンクリートの打継ぎ箇所の下地処理 ※ 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填 ※ 図示 型枠継ぎ目材にコーンが使用されている部位及び防水材の塗布面以外の下地処理 ※ 図示	
	④ シーリング	下表以外は、標準仕様書9.7.1による (9. 7. 2、3) (表9. 7. 1) ただし、外壁天井接着剤張り目地のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 屋根上り ゴムアスファルト系シーリング 底 MS-2(10×15) 壁 MS-2(10×5) 便所壁 MS-2(10×5) シーリング材表面に仕上塗料、塗装等 ※ 行う ・ 行わない シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験	
10 石工事	① 施工	石材の割付け ※ 図示 (10. 1. 3、5) 相面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ ※ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・ 行う (適用箇所 ※ すべて) ・ 行わない	
	② 石材等	天然石 (10. 2. 1、3) (表10. 2. 1、2) 施工箇所 岩石の種類 等級 形状及び寸法 (mm) 厚さ 仕上げの種類 備考 ※ 床 ※ 2等級 ※ 正方形に近い矩形 (1枚の面積0.8m2以下)	
	③ テラゾブロック	施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上り面による区分 寸法 仕上げの種類 備考 ※ 大理石 ※ 1.5~12 ・ 平もの ・ 片面 ・ 花こう岩 ※ ・ 役もの ・ 両面	
	④ テラゾタイル	施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法による区分 表面仕上げの種類 備考 ※ 大理石 ※ 1.5~12 ・ 300型 ・ 花こう岩	

<p>3 外壁湿式工法</p> <p>4 内壁空積工法</p> <p>5 乾式工法</p> <p>6 床及び階段の石張り</p> <p>7 アーチ、上げ裏等の石張り</p> <p>8 竪木、甲板等の石張り</p>	<p>11 タイル 工事</p> <p>① 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地</p> <p>② セメントモルタルに よるタイル張り</p> <p>③ 表面仕上げ</p> <p>④ 製材</p>	<p>(1.1.1.3) (表1.1.1.1)</p> <p>位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による 図示</p> <p>タイルの形状、寸法等 (1.1.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐凍融性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>便所床</td> <td>100×100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>便所壁</td> <td>100×100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>耐凍り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部:耐凍り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ※ 目荒し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法</p> <p>壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル ○ 改良積上げ張り ・ 壁タイル接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する種付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">(品質・性能)</th> <th colspan="2">(品質・性能)</th> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>品質・性能</td> <td>項目</td> <td>品質・性能</td> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/g以上</td> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>0.60N/mm2以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>温冷繰り返し後</td> <td></td> <td>0.40N/mm2以上</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試料の調整 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。 繰り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調整した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調整した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル (外の寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、引張機等を用いて試験体を取り出し、引張試験機を用いて接着強さを引張試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調整した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「小口タイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ (温冷繰り返し) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)</p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐凍融性	備考	便所床	100×100	○	○	○	○	○	○	○	○	便所壁	100×100	○	○	○	○	○	○	○	○	(品質・性能)		(品質・性能)		項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80kg/g以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	接着強さ	0.60N/mm2以上				温冷繰り返し後		0.40N/mm2以上	<p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化石粉未樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p> <p>既調合目地材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>30.0%以上</td> <td>吸水量</td> <td>50g以下</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下 (収縮)</td> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/g以上</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。</p> <p>(2) 試験の調整 正味質量と標準繰り上がり量より、1.0~1.2Lの試料を繰り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の繰り混ぜ水を計算して用意する。繰り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間繰り混ぜて試料とする。</p> <p>(3) 保水率 (ろ紙法) JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、横200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(2) で繰り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 (%) =50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの径 (mm)</p> <p>(4) 単位容積質量 (2) で繰り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。</p> <p>(5) 長さ変化率 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。</p> <p>(6) 吸水量 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。</p> <p>5 有機系接着剤による タイル張り</p> <p>① 表面仕上げ</p> <p>② 製材</p> <p>③ 造作用集材材</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	吸水量	50g以下	長さ変化率	0.2%以下 (収縮)	単位容積質量	1.80kg/g以上	<p>(1.2.2.1)</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外</p> <p>○ 「製材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>木製欄</td> <td>フタバギキリ</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用	木製欄	フタバギキリ	図示		※ 1等 ・ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用		化粧薄板:				※ 1等			芯材:				※ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板:				※ 15%以下			芯材:				※ 15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板:				※ 15%以下		芯材:				※ 15%以下	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板:				※ 15%以下			芯材:				※ 15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板:				※ 15%以下			芯材:				※ 15%以下	
施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐凍融性	備考																																																																																																																																																																															
便所床	100×100	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																															
便所壁	100×100	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																															
(品質・性能)		(品質・性能)																																																																																																																																																																																						
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																																																																																																					
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																																																																																																																																					
単位容積質量	1.80kg/g以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上																																																																																																																																																																																					
接着強さ	0.60N/mm2以上																																																																																																																																																																																							
	温冷繰り返し後		0.40N/mm2以上																																																																																																																																																																																					
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																																																																																																					
保水率	30.0%以上	吸水量	50g以下																																																																																																																																																																																					
長さ変化率	0.2%以下 (収縮)	単位容積質量	1.80kg/g以上																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																			
木製欄	フタバギキリ	図示		※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																				
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板:				※ 1等																																																																																																																																																																																			
	芯材:				※ 2等																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
	芯材:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																			
	化粧薄板:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
	芯材:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
	芯材:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			
	芯材:				※ 15%以下																																																																																																																																																																																			

4	造作用単板積層材 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・適用する ・無し (等級:) ・適用しない 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・適用する ※14%以下 ・無し () ・適用しない ・直交集成板 (CLT) 施工箇所 品名 曲げ強度 (強度等級) 種類 接着性能 (使用環境) 樹種 寸法 (mm) 間伐材等の適用	(12.2.1)	2	折板 施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ (mm) 軒先 防虫処理 耐火性能 ・重ね形 ()種 ※鋼板製 ・はげ締め形 ※アルミニウム合金板製 ・かん合形 材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () タイプフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 ※ 標準仕様書表14.2.2のF種 断熱材 ・有り (種別: 厚さ: mm 防火性能: 時間) ・無し 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 折板のけらば幅 ※ けらば包みによる方法	(13.2.2) (13.3.2.3) (表13.2.1)	5	軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 (14.5.3) (表14.5.1) ※ 標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが9.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書表14.5.4(5)による	6	ALCパネルの場合の地下処理 内壁目地の形状 ※ V形目地付き (15.6.4) マスチック塗材塗り 種別 ・ A種 ・ B種 (15.7.2) せっこうプラスター塗材塗り 下塗り及び中塗り ※ 既調合プラスター (下塗り用) 又は現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・ 既調合プラスター (上塗り用) ・ しゅくい塗り (15.8.3)	7	16 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000																																																																																									
												5 床張り用合板等 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の種類 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5.5 ※1類 ※2等以上 ※2類 針葉樹 ※C-D以上 ・ 構造用合板 施工箇所 等級 単板の種類 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ※1類 ・ 1級 ・ 特類 ・ 「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の種類 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・ 特類 ・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の種類 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・ 2類 ・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・ 2類 ・ パーティクルボード 施工箇所 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性 難燃性 厚さ (mm) ※13タイプ ※P又はM ※15 ・ 構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ (mm) ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級 ・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) 施工箇所 厚さ (mm) 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の適用 ・ 「パーティクルボード」 施工箇所 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性 難燃性 厚さ (mm) ※13タイプ ※P又はM ※15	(12.2.1)	3 粘土瓦葺 施工箇所 種類 大きさ 産地 役物の種類 雪止め瓦 ※1類 ・ 特類 JIS A 5208に基づく凍害試験等 ・ 行方 ・ 行わない 瓦葺 材質 ※ 杉 寸法 ※ 幅21×高さ15 (mm) 以上 棟補強用材 材質 ※ 杉 寸法 ※ 幅40×高さ30 (mm) 以上 棟補強等に使用する金物等 材質 ※ ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ※ 図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 瓦葺の留付工法 ※ 図示 棟の工法 ※ 標準仕様書13.4.3(4)(7)(f)による 15 左 工 事	(13.4.2.3)	7 アルミニウム製笠木 種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 種類 () 種 色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 () 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 14 左 工 事	(14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)	8 手すり及びタラップ 手すり ・ ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※ HL程度 ・ №28程度) ・ 鋼製 (表面処理 ※ 溶融亜鉛めっき 種別C種) タラップ ・ ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※ 研磨なし) ・ 鋼製 (表面処理 ※ 溶融亜鉛めっき 種別C種)	(14.8.2.3)	9 ロックウール吹付け ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示 ・ 25	(15.12.2.3)	10 しゅくい塗り 材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (種別等) 下地 ・ 木張り下地 (調合及び各層の厚さ ※ 標準仕様書15.10.1による) ・ こまい土壁下地 (調合及び各層の厚さ ※ 標準仕様書15.10.2による) ・ せっこうボード (調合及び各層の厚さ) ・ せっこうボード (調合及び各層の厚さ) のりの種類 土壁用ののり ※ つのまた 砂壁用ののり ※ ふりのり 色土の種類 土物仕上げに用いる色土 大津仕上げに用いる色土 色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもの 下塗りの割合 ※ 標準仕様書15.11.2による 塗層 ※ 標準仕様書15.11.8による ・ 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () こまい壁塗りの工程種別 ※ A種 ・ B種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・ 水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・ のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法 ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切り替えし仕上げ工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法	(15.10.2.3)	11 こまい塗り のりの種類 土壁用ののり ※ つのまた 砂壁用ののり ※ ふりのり 色土の種類 土物仕上げに用いる色土 大津仕上げに用いる色土 色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもの 下塗りの割合 ※ 標準仕様書15.11.2による 塗層 ※ 標準仕様書15.11.8による ・ 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () こまい壁塗りの工程種別 ※ A種 ・ B種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・ 水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・ のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法 ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切り替えし仕上げ工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法	(15.11.2~5, 7, 8)																																																																											
	6 接着剤 接着剤は、可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 防菌、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: () ・ 薬剤の加圧注入による防菌防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ○ 薬剤の塗布等による防菌、防蟻処理 適用部位 処理の方法 木製網、テント立て ※ 標準仕様書12.3.1(f)(b)①~④による ・ 薬剤の接着剤への混入による防菌、防蟻処理 適用部位 ()	(12.2.2, 3)	4 とい ① といの材料 ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ ルーフドレン とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※ 標準仕様書表13.5.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・ 適用する ○ 適用しない 防菌材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ※ 標準仕様書表13.5.4による 鋼管製といの防菌巻き ・ 適用する (工法: ※ 標準仕様書表13.5.4による) ○ 適用しない ルーフドレン 種別 施工箇所 ○ ちく屋根用 (○ 縦型 ○ 横型) 屋根、庇 ・ パルコニー用 ・ パルコニー中継用	(13.5.2.3) (表13.5.5)	1 ステンレスの表面仕上げ 種類 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外) ※ H1程度 ・ 鏡面仕上げ程度 ・ №28程度	(14.2.1)	2 アルミニウム製及アルミニウム合金の表面処理 種別 色合等 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外) ※標準色 () ・ 特注色 () ※標準色 () ・ 特注色 () 無着色 陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色 ・ 三次電解着色	(14.2.2) (表14.2.1)	3 鉄鋼の亜鉛めっき 表面処理方法 種別 施工箇所 (手すり、タラップ以外) 溶融亜鉛めっき ・ A種 ・ B種 ・ C種 電気亜鉛めっき ・ D種 ・ E種 ・ F種			(14.2.3) (表14.2.2)	4 セルフレベリング材塗り 種類及び品質 ・ せっこう系 ・ セメント系 (15.5.2) (表15.5.1) 標準塗厚 (mm) ※ 図示	(15.5.2)	5 仕上塗材仕上げ 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 呼び名 仕上の形状 工法 吸気湿性 防火材料 ※ 外装塗材 E 砂壁状 吹付 ・ 適用する ・ 厚付け仕上塗材 呼び名 仕上の形状 工法 吸気湿性 上塗り材 防火材料 ※ 複層仕上塗材 E 凹凸模様 吹付 溶媒 ※ 水系 ※ 耐候性3種 樹脂 ※ アクリル系 ○ アクリルシリコン系 外観 ※ つやあり	(15.6.2)	6 網戸等 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ※ 0.25mm以上 ※ 16~18メッシュ ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 ・ 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm	(16.2.3)	7 防菌・防蟻処理 性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 () ※ 標準仕様書表16.3.1による種別 外部に面する建具の種類 (コンクリート下地及び鉄骨下地) ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) 外部に面する建具の種類 (木下地) ・ D種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ E種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 (建具符号: ・ 建具表による) 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ざん板 ※ 図示 ガラス ※ 建具表による	(16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1)																																																																																
	13 屋根及びこまい工事	1 長尺金属板葺 施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ (mm) 屋根裏形式 備考 ※JIS G 3322の屋根用コイル 下葺材料 ・ アスファルトルーフィング 940 ・ 改良アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・ 設置する (施工箇所 ・ 図示)	(13.2.2, 3)	2 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 (14.4.2~4) (表14.4.1) 屋外 (※ 25形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 図示 ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井のふとこらが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 標準仕様書14.4(8)による ・ 図示 ・ 天井のふとこらが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 ・ 図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第2号に適合させる。 図示 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	(14.4.2~4) (表14.4.1)	5 左 工 事	6 左 工 事	7 左 工 事	8 左 工 事			9 左 工 事	10 左 工 事	11 左 工 事	12 左 工 事	13 左 工 事	14 左 工 事	15 左 工 事	16 左 工 事	17 左 工 事	18 左 工 事	19 左 工 事	20 左 工 事	21 左 工 事	22 左 工 事	23 左 工 事	24 左 工 事	25 左 工 事	26 左 工 事	27 左 工 事	28 左 工 事	29 左 工 事	30 左 工 事	31 左 工 事	32 左 工 事	33 左 工 事	34 左 工 事	35 左 工 事	36 左 工 事	37 左 工 事	38 左 工 事	39 左 工 事	40 左 工 事	41 左 工 事	42 左 工 事	43 左 工 事	44 左 工 事	45 左 工 事	46 左 工 事	47 左 工 事	48 左 工 事	49 左 工 事	50 左 工 事	51 左 工 事	52 左 工 事	53 左 工 事	54 左 工 事	55 左 工 事	56 左 工 事	57 左 工 事	58 左 工 事	59 左 工 事	60 左 工 事	61 左 工 事	62 左 工 事	63 左 工 事	64 左 工 事	65 左 工 事	66 左 工 事	67 左 工 事	68 左 工 事	69 左 工 事	70 左 工 事	71 左 工 事	72 左 工 事	73 左 工 事	74 左 工 事	75 左 工 事	76 左 工 事	77 左 工 事	78 左 工 事	79 左 工 事	80 左 工 事	81 左 工 事	82 左 工 事	83 左 工 事	84 左 工 事	85 左 工 事	86 左 工 事	87 左 工 事	88 左 工 事	89 左 工 事	90 左 工 事	91 左 工 事	92 左 工 事	93 左 工 事	94 左 工 事	95 左 工 事	96 左 工 事	97 左 工 事

Main specification table with columns for item number, name, and detailed technical specifications for various construction materials and methods.

20	1	現場発泡断熱材 (品質・性能)	<p>項目 品質・性能</p> <p>難燃性 下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカオリ-試験)に適合していること。</p> <p>発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</p> <p>(試験方法) (1) 原液試験(原液粘度試験) JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透過率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準ずる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準ずる。</p>	<p>②試験方法-1 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。</p> <p>③試験方法-2 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニットが相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m²相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。</p> <p>④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して「0」にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーベット 繊維素材: ナイロン100% パイル構造: ループパイル パイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材: 塩化ビニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/m²~6.0kg/m² 人体耐電圧: 2KV以下</p>	<p>(2.0.2.3) 構造形式による 種類 構造基材の種類 総厚さ 表面仕上げ材 適合性 防火性能 種類 スタッド パネル (mm) 材質 パネル表面仕上げ材 (dB/500Hz)</p> <p>※スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</p> <p>※鋼板 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装 ・壁紙張り ・36以上</p> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	<p>(2.0.2.4) 走行方向 操作方法 圧接装置の 総厚さ 表面仕上げ材 適合性 種類 種類 種類 (mm) 材質 パネル表面仕上げ材 (dB/500Hz)</p> <p>・平行方向移動式 ・二方向移動式</p> <p>※手動式 ・電動式 ・部分電動式</p> <p>※鋼板 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装 ・壁紙張り ・36未満 ・36以上</p> <p>表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による 適合性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品 ※ パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー一枚で除した値に対して、耐力及び変形量在使用上支障のないものとする。 ・図示</p> <p>(品質・性能及び試験方法) (1) パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものである。 (2) 吊りボルト JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質-第一部: ボルト、ネジ及び積込みボルト」による。 (3) パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5(a)～(c)による。 (4) ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。 (5) パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 (6) 耐衝撃性 質量5kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく表面の、割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 (7) 適合性 適合性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 (8) パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 (9) レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 (10) 吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 (11) 吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 (12) ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。</p>	<p>(2.0.2.5) 表面材の材料 脚部 ドアエッジ 形状 材質</p> <p>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</p> <p>※幅木タイプ ○脚金物</p> <p>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</p> <p>(品質・性能) (1) パネル 項目 品質・性能</p> <p>表面材 メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。 裏打ち材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 心材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 枠材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ処理を施した材料とする。 小口材 防水処理を施す。</p> <p>(2) 構造金物 項目 品質・性能</p> <p>脚部 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げは#1程度とする。</p> <p>(3) 付属金物 項目 品質・性能</p> <p>ヒンジ 耐蝕性のあるものとする。 ラッチセット 腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り 腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</p> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5(b)による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひたつき性・開閉耐久性 項目 品質・性能</p> <p>耐薬品性及び耐汚染性 耐ひたつき性</p> <p>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材 JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。 低圧メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧板 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色移りがないこと。 ポリエステル樹脂系加工化粧板 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色移りがないこと。 平均値が10μm以内であること。</p> <p>ポリエステル樹脂系化粧板MDF JIS A 5905「繊維片」の表18の規定に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</p> <p>(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	<p>(2.0.2.6) 種類 幅(mm) 取付け方法 端部フラットエンド</p> <p>※ステンレス製(SUS304) ※約35 ※接着工法 ※あり ※ビニル製 ・ビニルタイヤ入り ・埋込み工法 ・なし</p> <p>・ステンレス製</p>	<p>(2.0.2.8) 種類 寸法(mm) 色彩 形式</p> <p>・鋼製黒板 ※焼付け ・ホワイトボード ※ほうろう</p> <p>※緑 ・黒 ・白</p> <p>・平面 ・曲面</p> <p>※スクリーン付き引分け ・スクリーン付き引分け</p>	<p>(2.0.2.9) 取付箇所 ○図示 寸法(mm) ○図示 厚さ(mm) ※5</p>	<p>(2.0.2.10) 案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防火に適合する市販品 案内名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p>	<p>(2.0.2.11) 煙突用成形ライニング材 (品質・性能) 種類 ソフトライク系付イカルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) ・ 加熱線収縮率 2.0%以下 曲げ強度 0.8N/mm²以上 引張強度 1.0N/mm²以上 スポーリング性 試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱層等がないものとする。 不透水性 試験体裏面に水漏が生じないものとする。 耐蝕性 試験体に形状変化が見られず、腐壊する危険性がないものとする。 石綿 使用不可。 ライニング材とコンクリートの境界温度 100℃以下とする。 加熱線収縮率、曲げ強度、引張強度の確認は、社内試験成績書によることができる。</p>	<p>10 ブラインド</p> <p>(試験方法) (1) スポーリング試験 適用安全使用温度(300℃)から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返す。各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。 (2) 透水試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」9.6透水試験による。 (3) 耐酸性試験 1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。 試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間(168時間)浸せきする。(ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。)その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後外観観察を行う。(試験体のサイズは、100mm×50mmとする。) (4) 熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱レンガの熱伝導率の試験方法」による。 試験設定温度は100℃、150℃、300℃、450℃、600℃とする。</p> <p>(2.0.2.12) 形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅 レールの材質 幅・高さ 取付箇所</p> <p>・横形 ※手動 ※ギア式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ※図示 ・コード式 合金製 ・操作棒式</p> <p>・電動 -</p> <p>・縦形 ※手動 ※2本操作 ※アルミスラット ※80 アルミニウム ※図示 ・コード式 ※クロススラット ※100 合金製 ・1本操作 ※コード式</p> <p>・電動 -</p> <p>アルミスラットの材質 横付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	<p>11 ロールスクリーン</p> <p>(2.0.2.13) 材質 操作方式 遮光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考</p> <p>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</p> <p>・電動式 ・スプリング式 ※チェーン式</p> <p>※1級 ・2級 ・3級</p> <p>※図示 ・</p> <p>※図示 ・</p> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様</p>	<p>12 カーテン</p> <p>(2.0.2.14) 形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考</p> <p>・シングル ・ダブル</p> <p>・片引き ・引分け</p> <p>・手引き ・ひも引き ・電動</p> <p>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</p> <p>※図示 ・</p> <p>(備考)</p>	<p>13 カーテンレール</p> <p>(2.0.2.14) 材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>清幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 集成材(樹種等は12章木工事による)仕上げは、仕上表又は図示による。 ※アルミニウム製 押出し型材(市販品) 表面処理 ・B0-1 ・B0-2(※標準色()) ・特注色()) ・鋼製(仕上げは、仕上表又は図示による)</p>	<p>14 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(A6)又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材用付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出し型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性(繰返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下りがあり、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋(内枠)の繰返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接取付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19号とし仕上げ材は、せつこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せつこうボード製品」の89-Rの難燃級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰返し行う。 (3) 測定は、上記繰返し試験において、各50回、100回、300回以内の垂れ下り状態を測定する。</p>	<p>15 天井点検口</p> <p>材質 寸法(mm) 形式 外枠 内枠</p> <p>※アルミニウム製 ※450×450 ※一般形 ※屋内外用 ※鋼製タイプ ※鋼製タイプ ・600×600 ※屋内外用 ※目地タイプ ・</p> <p>・</p> <p>・気密形</p>	<p>16 床点検口</p> <p>材質 寸法(mm) 形式 備考</p> <p>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</p> <p>・450×450 ※600×600</p> <p>・一般形 ・密閉形</p> <p>・屋内外用 ・屋内用</p> <p>・継ぎき</p> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。</p>
		2	2	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	

17	耐震スリット	(品質・性能)	部材名	材質	屋内外用	屋内用	
		受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15			
		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度			
		鋼製			標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの		
		二重鋼の中蓋	鋼板	JIS G 5501のFC150, FC200			
		その他	塩化ビニル樹脂製等				
		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			
		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304				
		底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430			
		アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24)				
		表面処理	陽極酸化塗装 合鍍膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)				
		鋼材		鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積層付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの			
		パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの				
		アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの				
		取手	黄銅鋼製、黄銅鋼、アルミニウム押出材・合金鋼製、ステンレス鋼板、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のもの、衝撃による変形・割れが生じないものとする				
		鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は期間用ハンドルとする				
		蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重P=1.000Nにおいて残留たわみが点検口の有半径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の2倍以上であること。				
		受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下				
		蓋寸法の許容差	±0.5mm以下				
		受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内 (試験方法)				
		耐荷重試験	試験体は、強物用とし、600mm角程度、枠入り込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。				
		耐火性能	防火型 ・ 有り 非耐火型 ・ 無し				
		防水性能					
		備考					
目地	目地	内壁	外壁				
目地材	・ シーリング材 (見え掛り部のみ)	・ シーリング材 (見え掛り部のみ)	・ シーリング材 (内外共)				
目地寸法 (mm)	・ 幅20 × 深さ10	・ 幅20 × 深さ10					
シーリング材の種類	標準仕様書表9.7.1による						
形式	・ 差込式 ・ 留置式 ・ 壁張り式						
材質	・ 塩化ビニル製 (種類) ・ 非加硫チルゴム製						
寸法 (mm)							
施工箇所	・ 図示						
18	止水板	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による					
19	エキスパンションジョイント金物						
20	旗竿	材質	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考
		※ アルミニウム合金製	・ テーパー式 ・ 同一断面式	・ 600 ・ 650	・ ハンドル式 ・ ロープ式	・ 埋込式 ・ ベース式 ・ ハンド式	トラップ付き 天板ステンレス製 市販品 (木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード
21	旗竿受金物	材質	※ ステンレス製 (SUS 304)				バックガード有り 天板ステンレス製 市販品 (木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード
22	車止めさく	形式	・ 標準品 ・ スプリング式	材質	・ ステンレス製	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
23	フェンス	フェンスの種類	・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス	高さ	※ 図示		
24	プレキャストコンクリート	コンクリートの設計基準強度	※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する割合強度				(20.3.3.4)
		配筋	※ 配筋を定めた計算書を監査職員に提出する。				
		取付け方法	※ 図示				
25	間知石及びコンクリート間知ブロック	材質	・ 間知石 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	種類	-	質量区分	備考
		積み方	※ 谷積み 目塗り ・ 図示	・ 布積み 伸縮調整目地 材質 ・ 図示 厚さ ・ 図示			(20.4.2.3)
26	鋼製寄架、物品棚及び移動式書架	種類	規格等	JISによる種類			
		・ 鋼製寄架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種			
		・ 鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・ 4種 ・ 5種 ・ 6種			
		・ 移動式書架	形状等は図示による				
27	屋内掲示板	枠の材質	※ アルミニウム製				
		表面の材質	※ 塩化ビニルシート張り				
		形状寸法	※ 図示による				
28	洗面カウンター	材質	※ メラミン樹脂樹化化粧張り (心材: 集成材) ・ 人工大理石				
		奥行き (mm)	◎ 約 450 ・ 約 600				
29	防錆垂れ壁	固定式					
		材質	※ アルミ製				
		※ 網入り腐板ガラス	※ 6.8	※ 500			アルミ製枠付き
		※ 網入り腐板ガラス					
		可動式					
		種類	材質	高さ (mm)			備考
		・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ・ 800			ガイドレール ※ 固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)
		・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800			表面仕上げ ※ 天井材張り
		降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)				
30	収納家具	材質、形状、寸法	※ 図示				
		合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量	※ 規制対象外				
31	屋外掲示板	本体材質	※ ステンレス製				
		照明器具	・ 有り ・ 無し				
		掲示板面材質	-				
		施設装置	※ 有り ・ 無し				
		形状寸法	※ 図示による				
32	くつきマット	材質	受枠	備考			
		・ 塩化ビニル又はゴム製	・ ステンレス鋼 (SUS304)				
		・ 硬質アルミニウム合金製	・ 硬質アルミニウム合金製				
		・ ステンレス鋼 (SUS304) 製					
		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所		
		※ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45			
		・ ビニル製ハンドルレール					
34	天井見切り線等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切線 (天井見切線、下がり壁見切線) の材質	※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品				
35	ピクチャーレール	見切り線兼用タイプ 移動フック	安全荷重	※ 15kg以上			
36	視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)		
		屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0		
			・ セラミックタイル [G]	※ 300×300	・ -		
			・ レジコンクリート製	※ 300×300	・ -		
			・ コンクリート製				
		屋外	・ セラミックタイル [G]	※ 300×300	・ -		
			・ レジコンクリート製	※ 300×300	・ -		
			・ コンクリート製				
		突起の形状、配列及び寸法は	JIS T 9251による				
37	流し台ユニット	種類	寸法 (mm)	備考			
		・ 流し台	W D H ・ 1200 ・ 550 ・ 800 ・ 1500 ・ 600 ・ 850 ・ 1800 ・ 650	市販品 (木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード トラップ付き 天板ステンレス製			
		・ コンロ台	・ 600 ・ 550 ・ 620 ・ 600 ・ 670 ・ 650	市販品 (木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード			
		・ つり戸棚	・ 1200 ・ 450 ・ 500 ・ 900 ・ 700	市販品 (木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード			
		・ 水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600	市販品 ステンレス製 ・ 1段式			
		(品質・性能)	(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状	※ 図示			
25	2	排水工事					
25	1	屋外雨水排水	材料	(21.2.1.2) (表21.2.1.2)			
		材質	種類・記号	形状	呼び径	備考	
		・ 遠心力誘導コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示		
		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ RS-VF ・ RS-VU	※ 図示			
			・ VP	※ 図示			
			・ VU	※ 図示			
		基礎の厚さ及び種類	※ 図示				
		硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料	※ 接着剤				
		側溝の形状及び寸法	※ 図示				
		排水網の種類	※ 図示				
		砂地層に用いる材料	※ シルト、有機物等の混入しない綿固めに選した山砂、川砂又は砕砂				
		砂利地層に用いる材料	※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石				
		現場打ちの場合のコンクリート材料	設計基準強度	※ 18N/mm ²			
			スランブ	※ 15cm又は18cm			
		現場打ちの場合の鉄筋	種類の記号	※ SD295A			
		現場打ちの場合の足掛金物	材料	※ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工を行った足掛金物			
		砂上抑制層に用いる材料	※ シルト、有機物等の混入しない綿固めに選した山砂、川砂又は砕砂				
		砂の粒度試験	・ 行う ・ 行わない				
		(21.2.1)					
		名称	種類	適用荷重	鍵	備考	
		鉄線製マン	・ 水封形	・ T-2用	・ 有り	左記以外の品質等は (公社)	
		ホールふた	・ 簡易密閉形	・ T-6用	・ 無し	空気調和衛生工学会	
			(パッキン式)	・ T-20用		SHASE-S209による	
			・ 密閉形				
			(テーパー・パッキン式)				
			・ 中ふた付き密閉形				
			(テーパー・パッキン式)				
		ポリプロピレン	○ 水封型				
		(21.2.1)					
		材料 (鋼製、ステンレス製)、用途 (溝ふた【横断用、側溝用】、柵ふた用、U字溝用)、適用荷重 (歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20)、形式 (受け枠付きボルト固定の有無)、メインバーピッチ (細目、普通目)、上面形状 (凹凸形、平形) は、図示による					
		(品質・性能等)					
		<鋼製グレーチング>					
		項目	品質・性能				
		メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400				
		クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRH				
		受け枠用アンクル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼帯」SPHT 塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料				
		溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHD240以上又は、HDZ 50以上				
		アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外				
		ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm				
		荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする				
		<ステンレス製グレーチング>					
		項目	品質・性能				
		メインバー、サイドバー又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318のSUS304				
		エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318のSUS304、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L				
		受け枠用アンクル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L				
		アンカー	IS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う				
		間隔	側溝の場合500mm内外				
		表面仕上げ	2B程度				
		ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm				
		荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする				
		(荷重試験方法)					
		設計荷重は以下の通りとする					
		歩車道	荷重	側溝用	横断溝用	加圧面積	
		区分	種別 (K N)	(K N)	(c m)		
		車道	T-20	78.5	109.8	20×50	
			T-14	54.9	76.9	20×50	
			T-6	23.5	33.0	20×24	
			T-2	7.8	11.0	20×16	
		歩道	4,903N/m ² の等分布荷重				
		試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。					
		イ) 溝ふた	横断用 T-20~T-2のうち1体				
			歩道用 のうち1体				
			側溝用 T-20~T-2のうち1体				
			横断用 T-14~T-2のうち1体				
			歩道用 のうち1体				
		ロ) U字溝用	側溝用 T-14~T-2のうち1体				
			歩道用 のうち1体				
		設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/aとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないを確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。					
		街きよ、緑石、側溝	(21.3.1.2) (表21.3.1)				
		種類	形状、寸法				
		・ 緑石	※ 図示				
		・ L形側溝	※ 図示				
		・ U形側溝	※ 図示				
		・ U形側溝ふた	※ 図示				
			※ 図示				
		砂地層に用いる材料	※ シルト、有機物等の混入しない綿固めに選した山砂、川砂又は砕砂				
		砂利地層に用いる材料	※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石				
		現場打ちの場合のコンクリート材料	設計基準強度	※ 18N/mm ²			
			スランブ	※ 15cm又は18cm			
		砂利地層の厚さ	※ 100mm	・ 図示			
25	5	舗装工事					
25	1	路床	路床の材料	(22.2.2.3.5) (表22.2.1)			
		種類	材料	厚さ (mm)			
		・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示			
			・ 建設汚泥から再生した処理土				

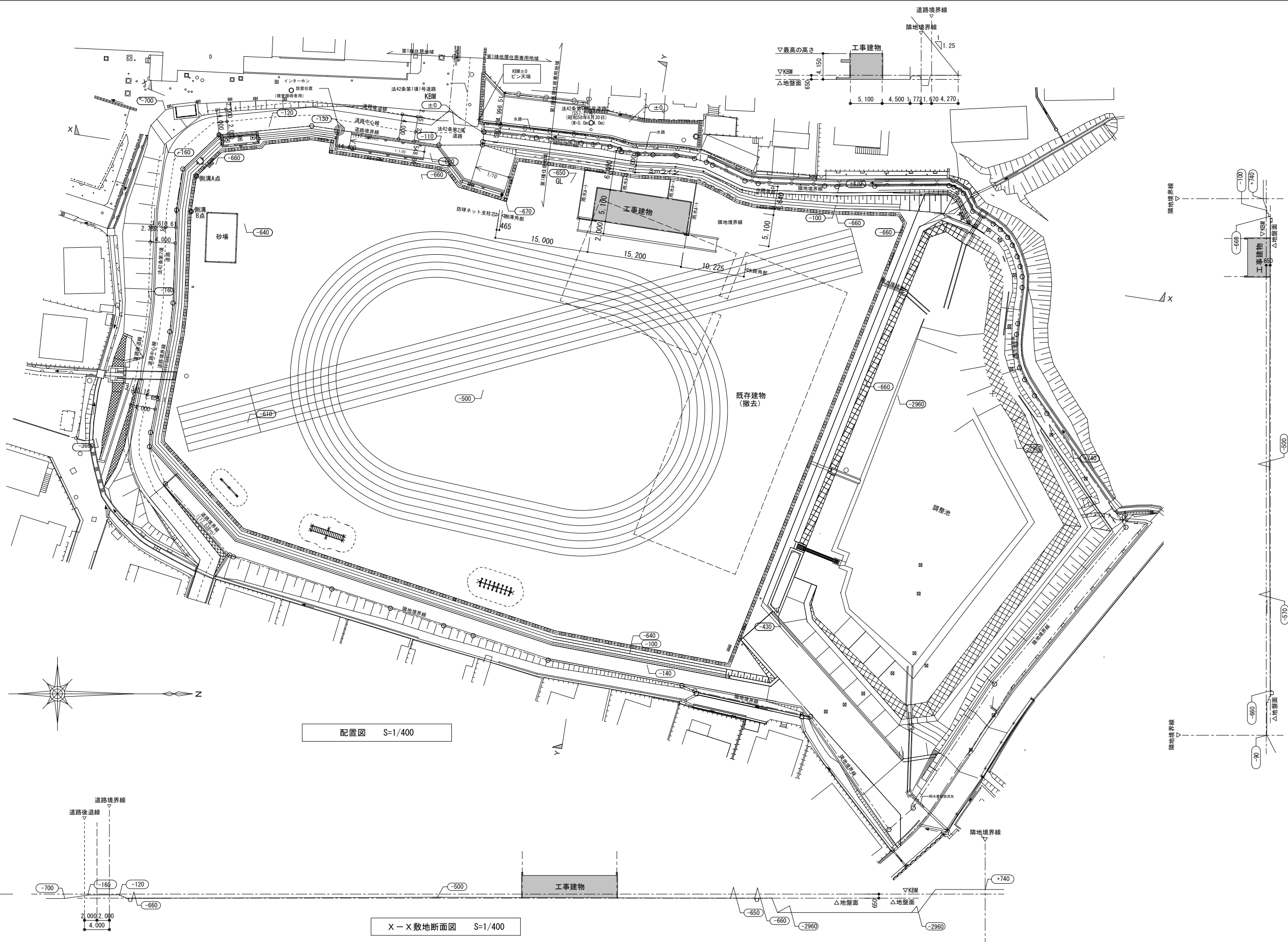



 有限会社 MasMas 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
 一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者
 意匠 構造

69
 令和8年度 小学校施設整備事業
 川上小学校屋外便所新築工事(建築)
70
 図面名称 付近見取図 S=1/5000

A-09
 A2: 100%
 A3: 71%



配置図 S=1/400

X-X 敷地断面図 S=1/400

Y-Y 敷地断面図 S=1/400

有限会社 MasMas 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
 一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者
 意匠 構造

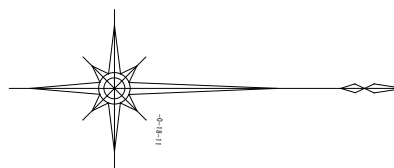
令和8年度 小学校施設整備事業
 川上小学校屋外便所新築工事 (建築)
 配置図 S=1/400

A-10
 A2: 100%
 A3: 71%

外部仕上表		注記：コンクリート打放し補修はB種とする。	
部 位	仕 様	部 位	仕 様
屋根	コンクリート金鍍（水勾配1/50以上）押えの上アスファルト露出防水（D-1）	スロープ	モルタル刷毛引き仕上げ
	鑄鉄製コーナードレン 75φ	ステップ	モルタル刷毛引き仕上げ 磁器質ノンスリップタイル
外壁	コンクリート打放し補修の上 複層塗材E		
	根廻り：コンクリート打放し補修そのまま H=350		
笠木	アルミ製笠木		
庇	コンクリート金鍍（水勾配1/100以上）押えの上 ウレタン系塗膜防水（X-2）仕上、鑄鉄製縦型ルーフトレン 75φ		
庇裏	コンクリート打放し補修の上 外装薄塗材E吹付仕上げ		
犬走り	モルタル刷毛引き仕上げ		
足洗い	モルタル金鍍押え仕上げ		

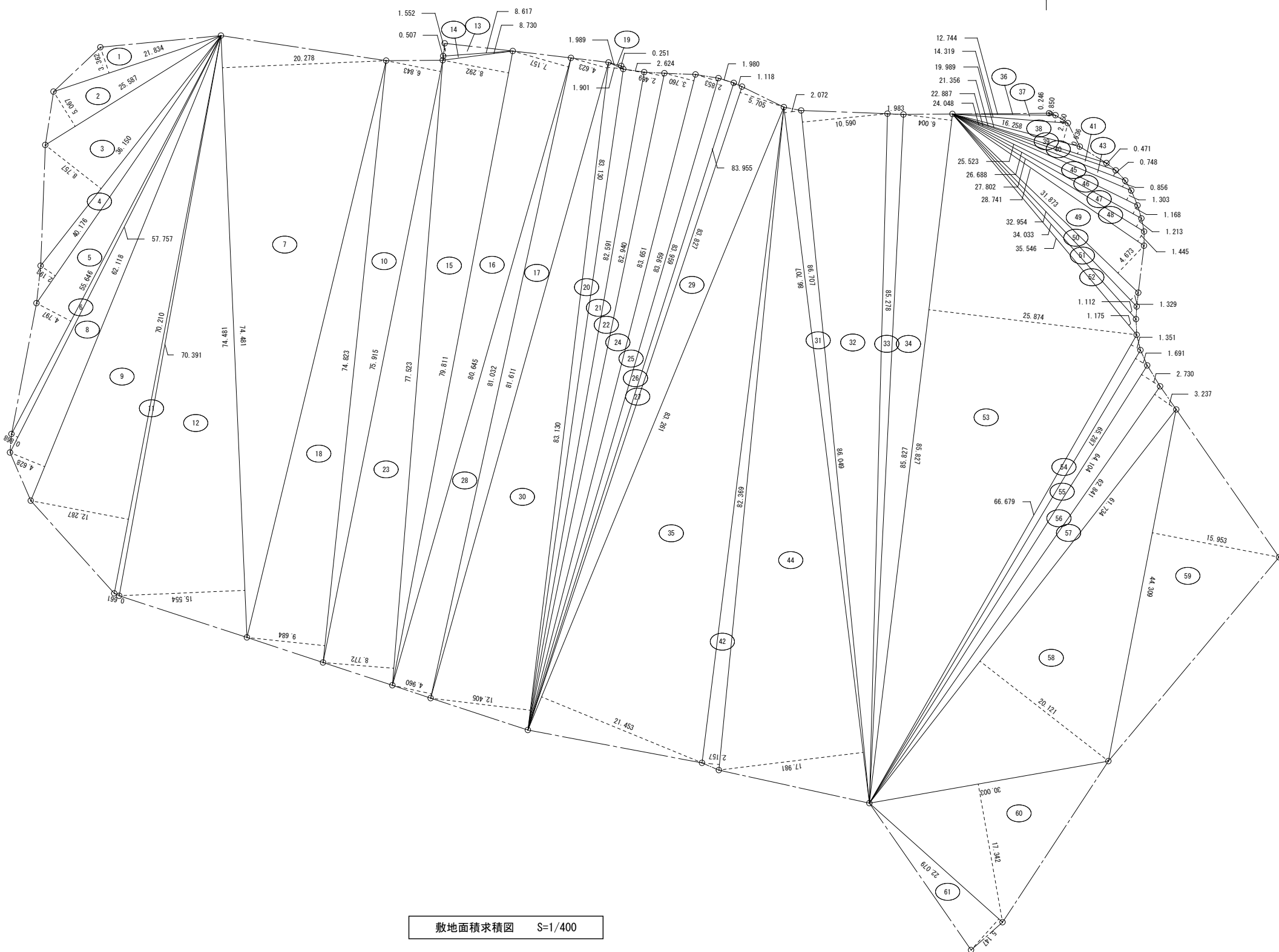
内部仕上表																
階	室名	床高	床		巾木		壁		天井		天井高	廻縁	室名札	B O X 類	備 考	
			下地	表装仕上	表装仕上	高	下地	表装仕上	下地	表装仕上						
1階	女子便所	±0	RC	100角磁器質タイル張り	100角陶器質タイル	—	RC	腰壁：モルタル下地陶器質100角タイル張り コンクリート打放し補修(B種) EP-G塗装	LS	珪酸カルシウム板t=6 EP-G塗装	2.500	塩ビ	平付	—	手摺・配管ライニングバック CB下地・トイレース 角型化粧鏡(耐食鏡)・SUS製掃除具掛け・洗面カウンター	
	男子便所	±0	RC	100角磁器質タイル張り	100角陶器質タイル	—	RC	腰壁：モルタル下地陶器質100角タイル張り コンクリート打放し補修(B種) EP-G塗装	LS	珪酸カルシウム板t=6 EP-G塗装	2.500	塩ビ	平付	—	手摺・配管ライニングバック CB下地・トイレース・汚垂石 角型化粧鏡(耐食鏡)・SUS製掃除具掛け・洗面カウンター	
	多目的便所	±0	RC	100角磁器質タイル張り	100角陶器質タイル	—	RC	腰壁：モルタル下地陶器質100角タイル張り コンクリート打放し補修(B種) EP-G塗装	LS	珪酸カルシウム板t=6 EP-G塗装	2.500	塩ビ	平付	—	手摺・配管ライニングバック CB下地・角型化粧鏡(耐食鏡)	
	倉庫	±0	RC	モルタルコテ押え	コンクリート打放し補修(B種)	—	RC	コンクリート打放し補修(B種)	RC	コンクリート打放し補修(B種)	3.240	—	平付	—	木製棚・テント立て(木製)	
	石灰庫	±0	RC	モルタルコテ押え	コンクリート打放し補修(B種)	—	RC	コンクリート打放し補修(B種)	RC	コンクリート打放し補修(B種)	3.240	—	平付	—	木製棚	
下地凡例			1階土間スラブ下ポリエチレンフィルム t=0.15敷込みとする。				すべての内装材についてはF☆☆☆☆とする。 すべての材料についてアスベスト含有建材は使用不可とする。									
RC-コンクリート LS-軽量鉄骨			断熱材													

平面図凡例				防火認定 ◎ 適用材料				施工ヶ所		共 通 事 項 ◎印は、本工事適用。	
	鉄筋コンクリート造		床上がり	・石膏ボード	GB	(ア) 12.5	不燃	NM-8619		◎	配管設備の耐震対策は、『建築設備耐震設計施工指針』による。
	コンクリートブロック造		壁付換気扇	・石膏ボード	GB	(ア) 9.5	準不燃	QM-9828			・延焼の恐れのある部分の給気口、排気口には防火設備(防火ダンパー)を設ける。
	軽量鉄骨造		天井換気扇	・シーリング石膏ボード		(ア) 9.5、12.5	準不燃	QM-9826			・延焼の恐れのある部分の壁付換気扇には、防火設備を設ける。
	軽量鉄骨造(主要な間仕切)		給気ガラリ	・化粧石膏ボード	GB-D	(ア) 9.5	不燃	NM-8613			・PS-MB内は、各階コンクリートスラブ打ち(配管後穴埋めの事)とする。
	パーティション	(FD)	防火ダンパー付き	・化粧石膏ボード		(ア) 9.5	準不燃	QM-9824			・配管が、防火区画等を貫通する場合の対策は、令129条の2の5及び、告示1422号による
			室名札	・化粧板石膏ボード		(ア) 12.5	不燃	NM-0128			・冷媒配管の防火区画貫通措置は、原則として(財)日本建築センター防災性能評定済工法とする。
MB	メーターボックス		縦型ドレイン	・化粧板石膏ボード		(ア) 9.5	準不燃	QM-9824			・換気その他のダクトは、不燃材料とする。
PS	パイプシャフト		コーナードレイン	・石綿スレート(平板)(フレキシブル板)			不燃	NM-8576			・換気扇ダクトのFD取付ヶ所には、天井点検口を設ける。
	床下改め口		樋	◎ 珪酸カルシウム板素地		(ア) 6.0	不燃	NM-1217	男子便所、女子便所、多目的便所		・ジュウタン、カーテン等は、防災加工品を使用の事。(特定防火対象物)
	避難器具		丸環(ステンレス製)	・ロックウール化粧吸音板			不燃	NM-8599		◎	雨水配管には、トラップまたは配管トラップを設ける。
	建具符号		消火器10型(本工事)	・ロックウール化粧吸音板(軒天)			準不燃	QM-9817		◎	排水配管には、通気管を設ける。
塗装種別略号表		仕上塗材略号表		◎ 塗装			不燃	NM-8585	男子便所、女子便所、多目的便所		・排水用耐火二層管は、国土交通省大臣認定 PS060FL-9433/PS060WL-9434により施工する。
OP	油性調合ペイント	SP	薄付け仕上塗材(リシン)	・ビニルクロス張り 無機質壁紙			不燃	NM-0861		◎	シックハウス対応の内装仕上げ材及び下地材は全て、「F☆☆☆☆」又は「規制対象外」を使用する。
SOP	合成樹脂調合ペイント	BC	厚付け仕上塗材(スタッコ)	・高性能フェノールフォーム断熱材			不燃	NM-8610		◎	シックハウス対応として、クロロピリオスは使用しないこと。
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	MC	複層仕上げ塗材(吹付タイル)	・フネンエース			不燃	NM-1196			・避難経路となる開口部には、内部から開錠が可能な構造とする。
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	LC	軽量骨材仕上塗材								
WP	木材保護塗料										
DP	耐候性塗料										

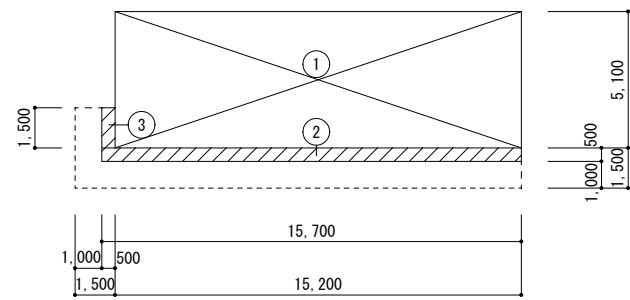


敷地面積求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	21.834	3.362	73.405908	36.7029540
2	25.587	5.067	129.649329	64.8246645
3	36.150	8.757	316.565550	158.2827750
4	40.176	2.193	88.105968	44.0529840
5	55.646	4.797	266.938862	133.469310
6	57.757	0.868	50.133076	25.0665380
7	74.481	20.278	1,510.325718	755.1628590
8	62.118	4.628	287.482104	143.7410520
9	70.210	12.287	862.670270	431.3351350
10	75.915	6.843	519.486345	259.7431725
11	70.391	0.661	46.528451	23.2642255
12	74.481	15.554	1,158.477474	579.2387370
13	8.617	1.552	13.373584	6.6867920
14	8.730	0.507	4.426110	2.2130550
15	79.811	8.292	661.792812	330.8964060
16	80.645	7.157	577.176265	288.5881325
17	81.611	4.623	377.287653	188.6438265
18	74.823	9.684	724.585932	362.2929660
19	1.989	0.251	0.499239	0.2496195
20	83.130	1.901	158.030120	79.0150650
21	82.591	2.624	216.719784	108.3593920
22	82.940	2.469	204.778890	102.3894300
23	77.523	8.772	680.031756	340.0158780
24	83.651	3.760	314.527760	157.2638800
25	83.959	2.853	239.535027	119.7675135
26	83.959	1.980	166.238820	83.1194100
27	83.955	1.118	93.861690	46.9308450
28	81.032	4.960	401.918720	200.9593600
29	83.827	5.705	478.233035	239.1165175
30	83.130	12.405	1,031.227650	515.6138250
31	86.707	2.072	179.656904	89.8284520
32	86.049	10.590	911.258910	455.6294550
33	85.278	1.983	169.106274	84.5531370
34	85.827	6.004	515.305308	257.6526540
35	83.261	21.453	1,786.198233	893.0991165
36	12.744	0.246	3.135024	1.5675120
37	14.319	0.850	12.171150	6.0855750
38	16.258	2.450	39.832100	19.9160500
39	19.989	0.936	18.709704	9.3548520
40	21.356	0.471	10.058676	5.0293380
41	22.887	0.748	17.119476	8.5597380
42	82.369	2.157	177.699333	88.8349665
43	24.048	0.856	20.850888	10.4254440
44	86.707	17.981	1,559.078567	779.5392335
45	25.523	1.303	33.256469	16.6282345
46	26.688	1.168	31.171584	15.5857920
47	27.802	1.213	33.723826	16.8619130
48	28.741	1.445	41.530745	20.7653725
49	31.873	4.673	148.942529	74.4712645
50	32.954	1.329	43.796866	21.8979330
51	34.033	1.112	37.844696	18.9223480
52	35.546	1.175	41.766550	20.8832750
53	85.827	25.874	2,220.687798	1,110.3438990
54	66.679	1.351	90.083329	45.0416645
55	65.287	1.691	110.400317	55.2001585
56	64.104	2.730	175.003920	87.5019600
57	62.841	3.237	203.416317	101.7081585
58	61.734	20.121	1,242.149814	621.0749070
59	44.309	15.953	706.861477	353.4307385
60	30.003	17.342	520.312026	260.1560130
61	22.079	5.147	113.640613	56.8203065
合 計				11,434.2405525
敷地面積				11,434.24 m ²



敷地面積求積図 S=1/400



申請建物求積図 S=1/200 凡例 : 建築面積算入部分を示す。

□ 1階床面積算定

① $15.2 \times 5.1 = 77.52 \text{ m}^2$

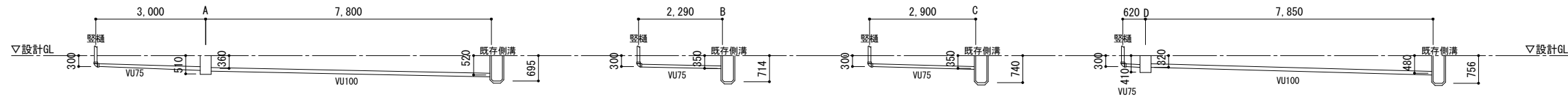
□ 建築面積算定

② $15.7 \times 0.5 = 7.85$

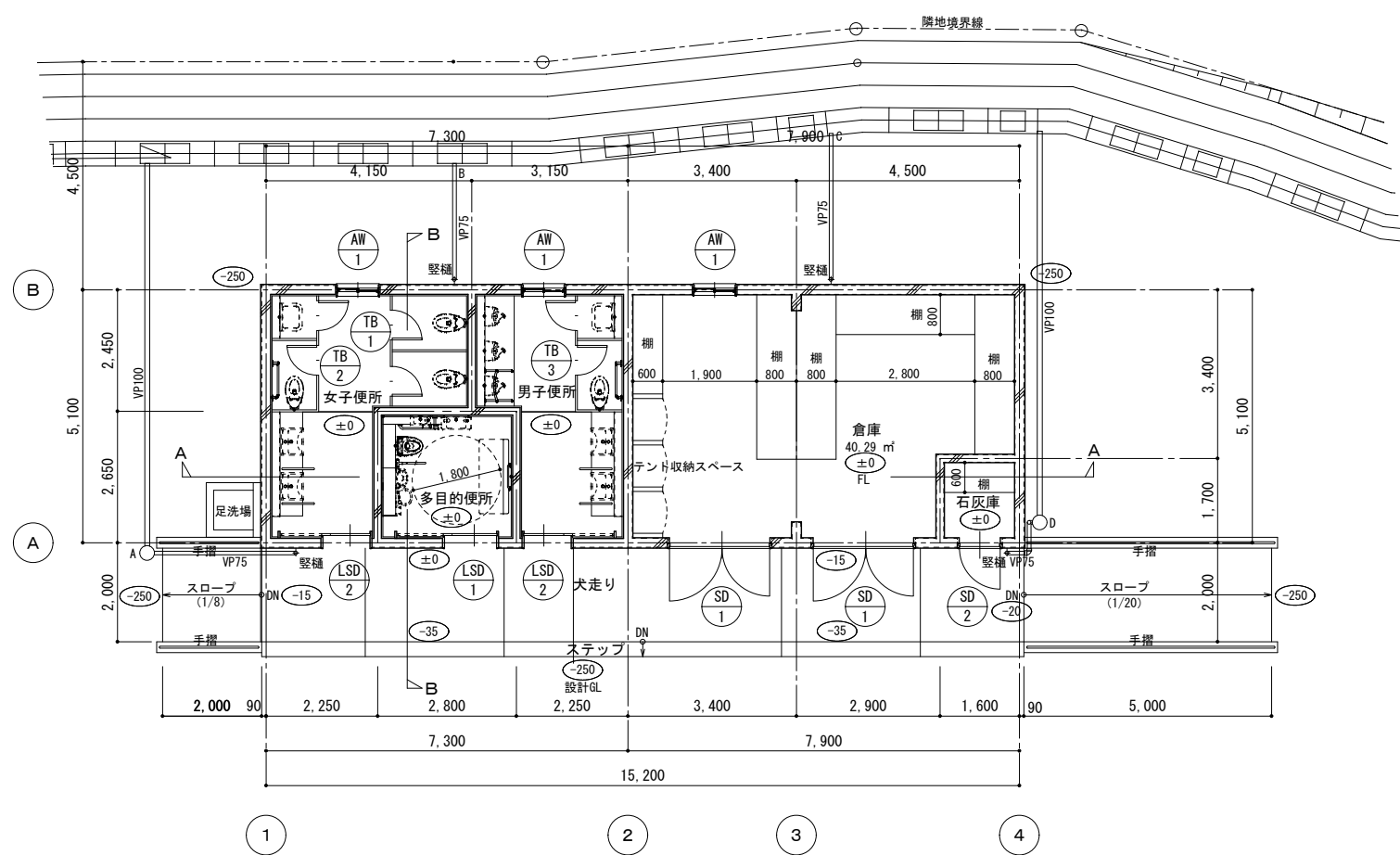
③ $1.5 \times 0.5 = 0.75$

計 ① + ② + ③ = 86.12 m^2

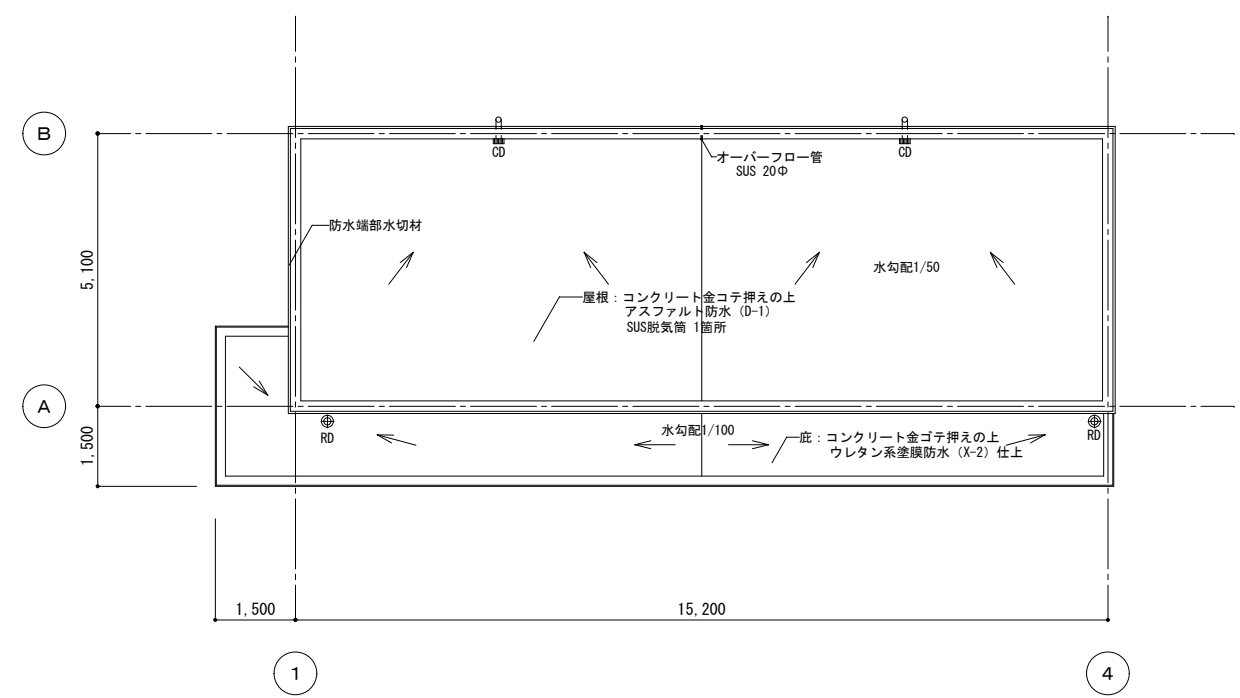
申請建物 面積表	
敷地面積	11,434.24 m^2
建築面積	86.12 m^2
延べ面積	77.52 m^2



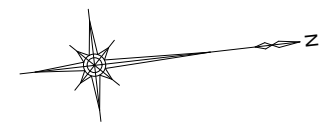
雨水排水 勾配図 S=1/100
雨水掛 300φ レジコン
雨水排水勾配1/50



1階平面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



凡例	
RD	鑄鉄製縦型ルーフトレイン 75φ
CD	鑄鉄製コーナードレイン 75φ

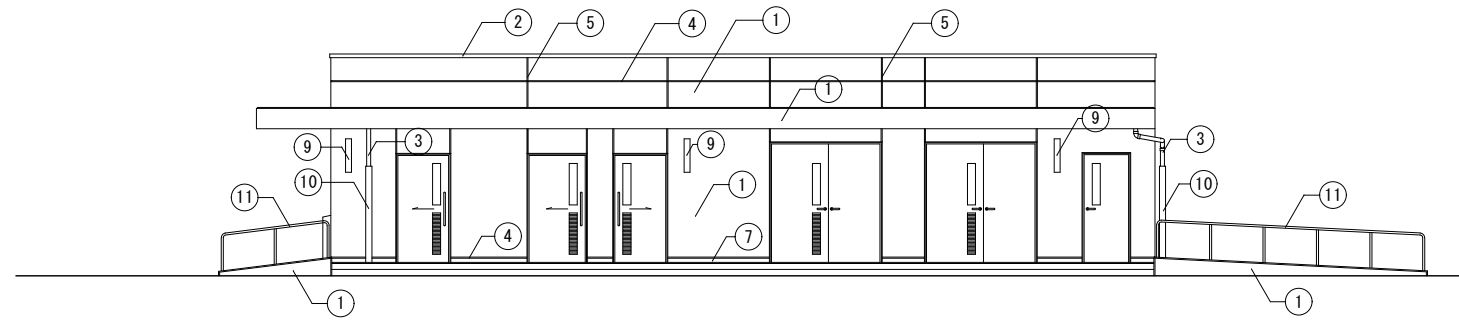
有限会社 MasMas 一級建築士事務所
一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者	
意匠	構造

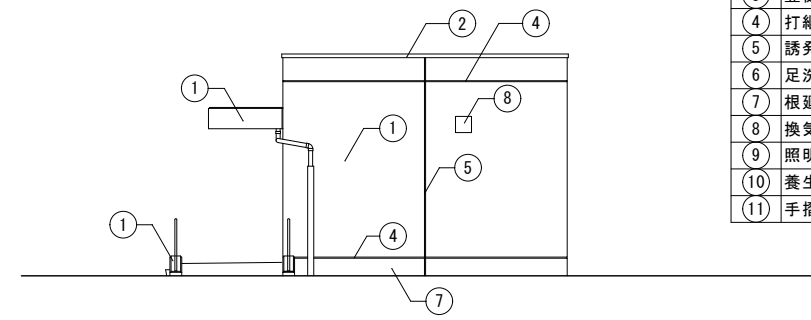
令和8年度 小学校施設整備事業
川上小学校屋外便所新築工事 (建築)
平面図・屋根伏図 S=1/100

A-14
A2: 100%
A3: 71%

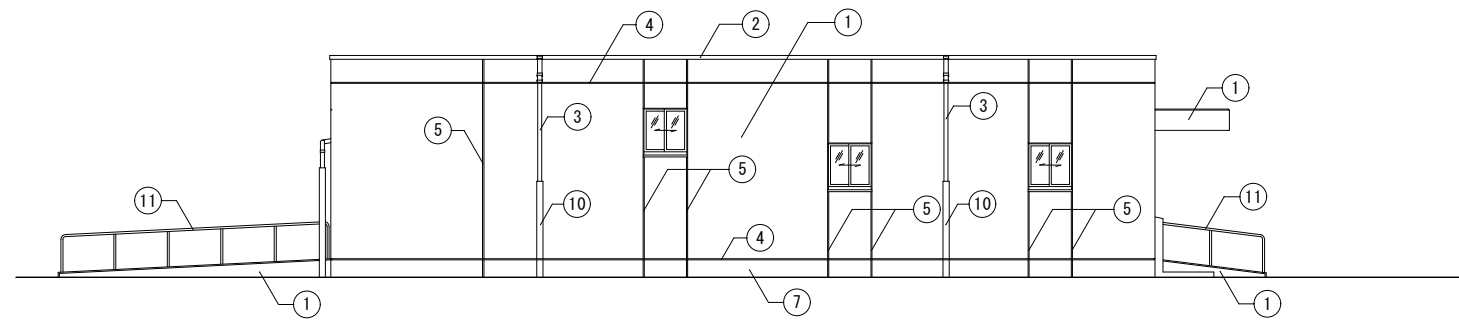
記号	凡例
①	コンクリート打放し補修の上 複層塗材 E
②	防水端部水切材:アルミ製
③	堅樋: 硬質塩ビカラーパイプ75φ・ステンレス掴み金物
④	打継目地: ポリウレタン系シーリング(PU-2) 20×15
⑤	誘発目地: ポリウレタン系シーリング(PU-2) 20×15
⑥	足洗: モルタル金鍍押え
⑦	根廻り: コンクリート打放し補修そのまま H=350
⑧	換気設備(設備工事)
⑨	照明
⑩	養生管: 白ガス管100φ DP塗装 (H=1800)
⑪	手摺: ステンレスパイプ SUS304 38.0φ H=800



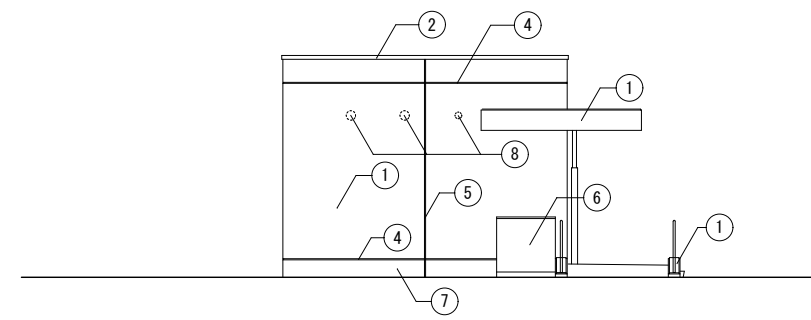
東側立面図 S=1/100



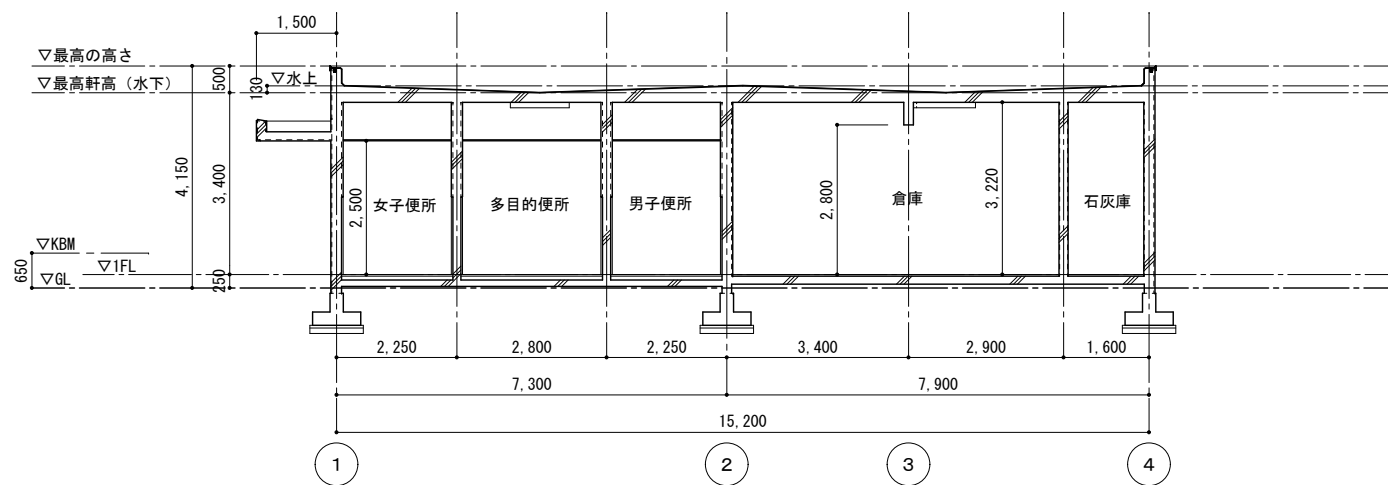
北側立面図 S=1/100



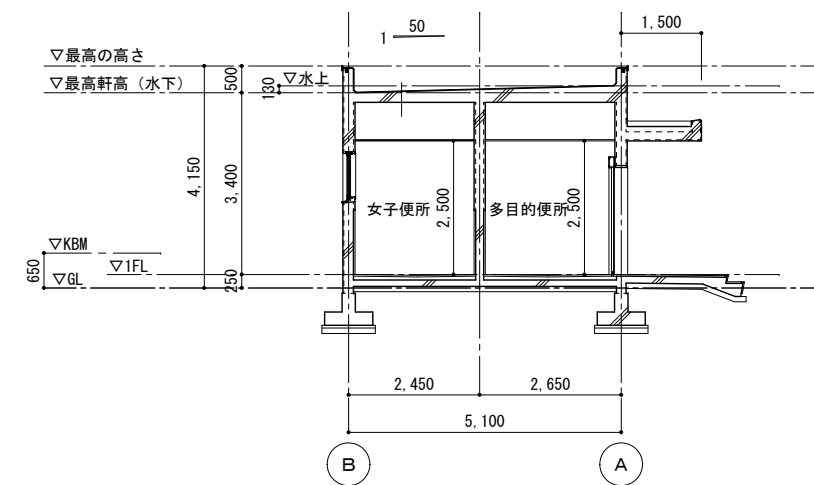
西側立面図 S=1/100



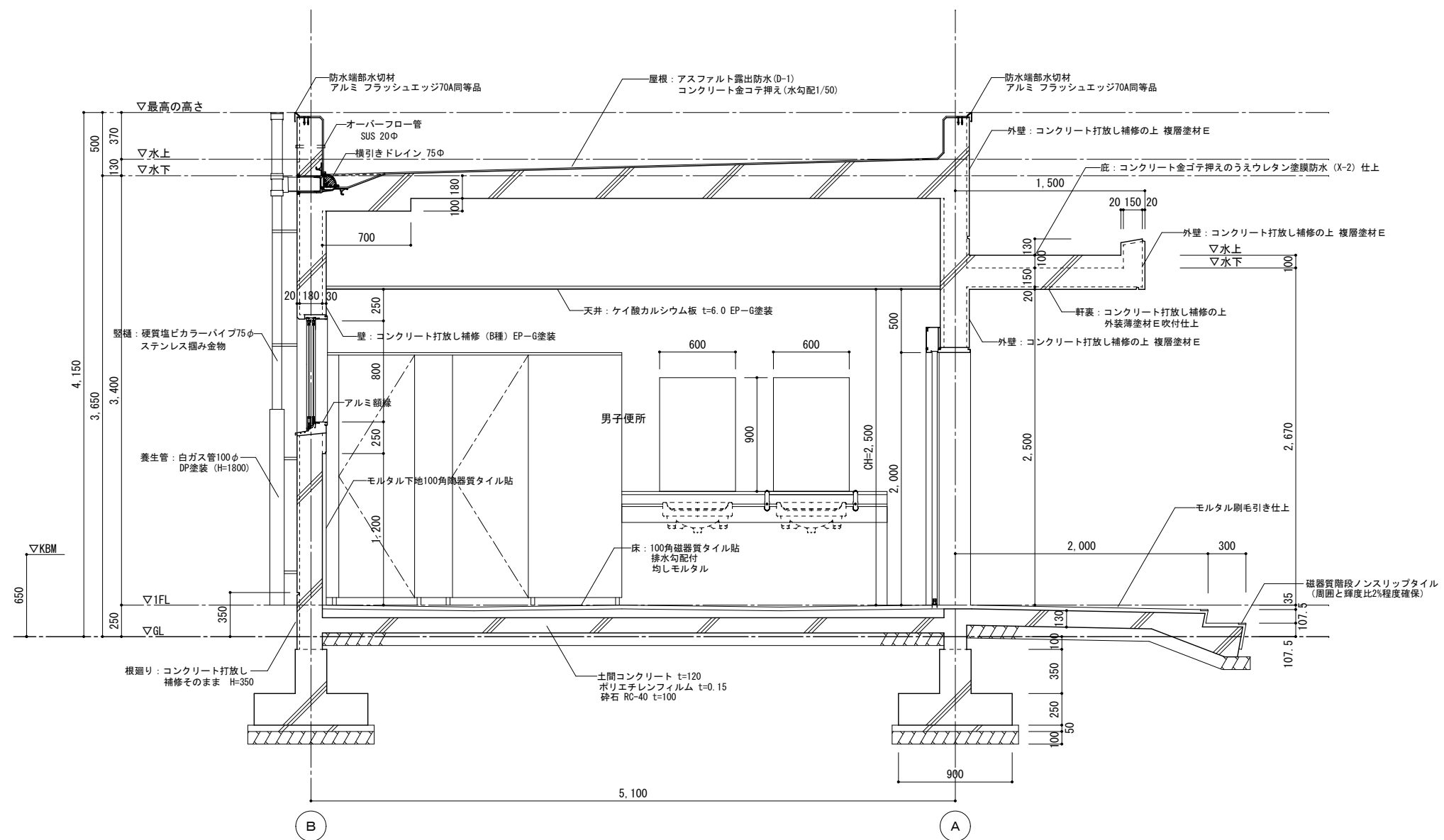
南側立面図 S=1/100



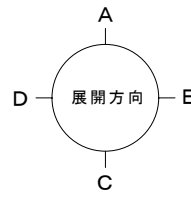
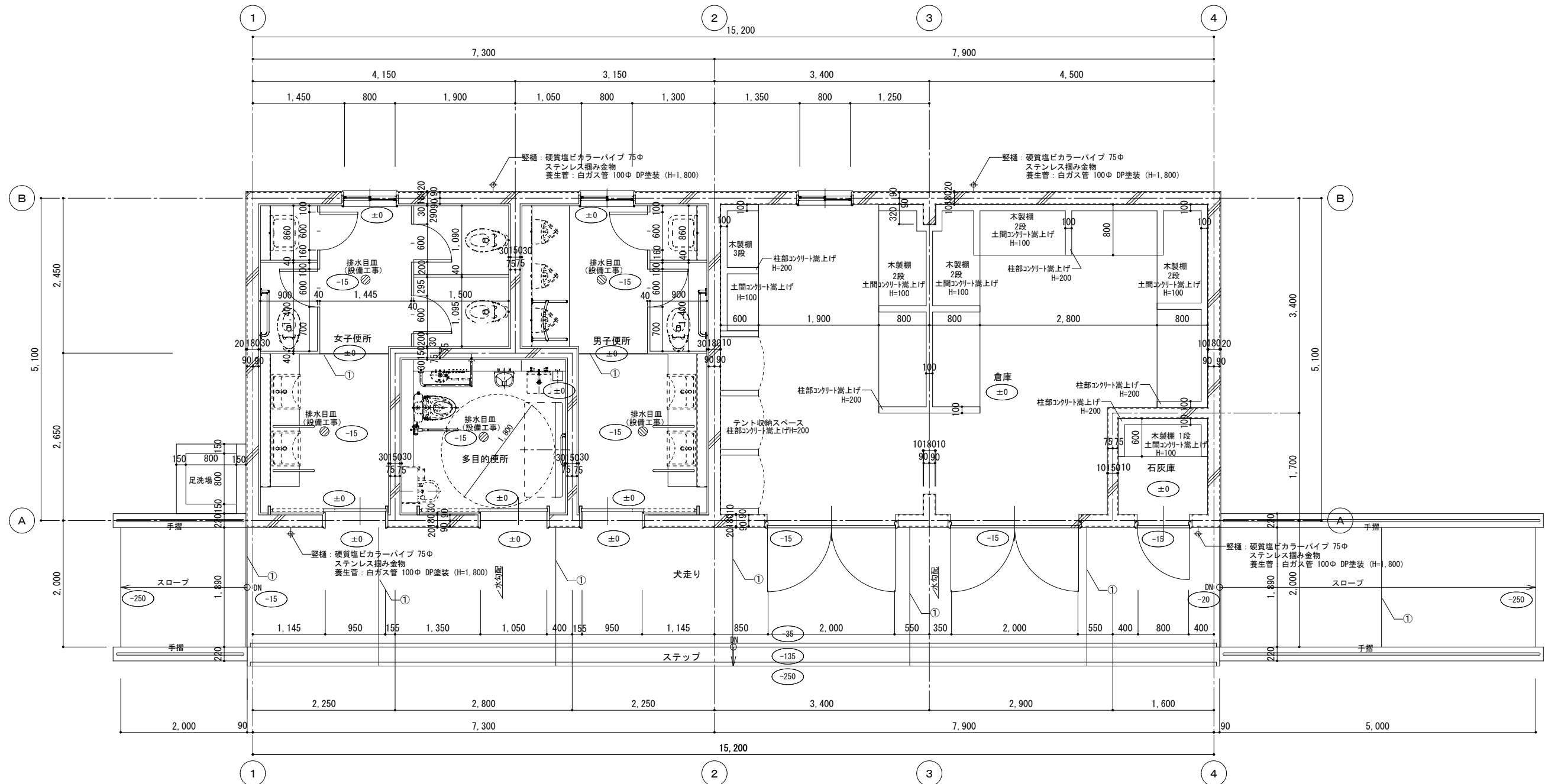
A-A断面図 S=1/100



B-B断面図 S=1/100



記号	凡例
①	伸縮目地 (最大目地間隔3000程度) : 変成シリコン系 (MS-2) 20×15 コンクリート・モルタル共

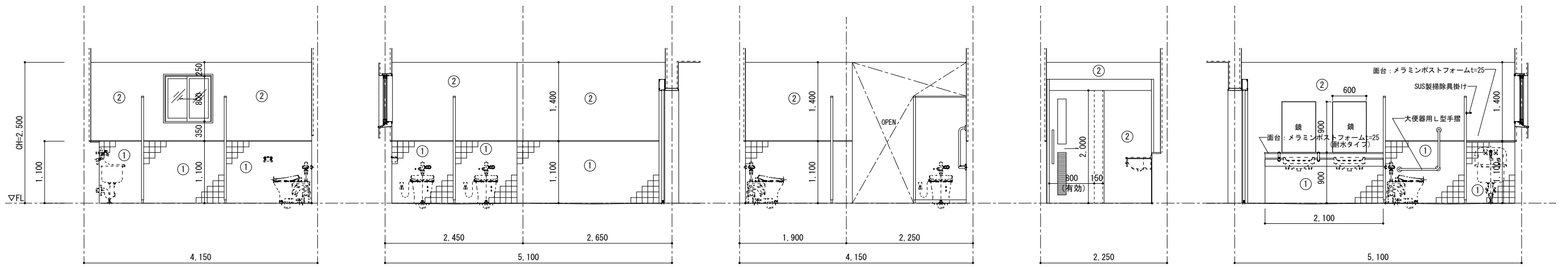


有限会社 MasMas 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
 一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者	
意匠	構造

令和8年度 小学校施設整備事業
 川上小学校屋外便所新築工事 (建築)
 平面詳細図 S=1/50

A-17
 A2: 100%
 A3: 71%



1

女子便所

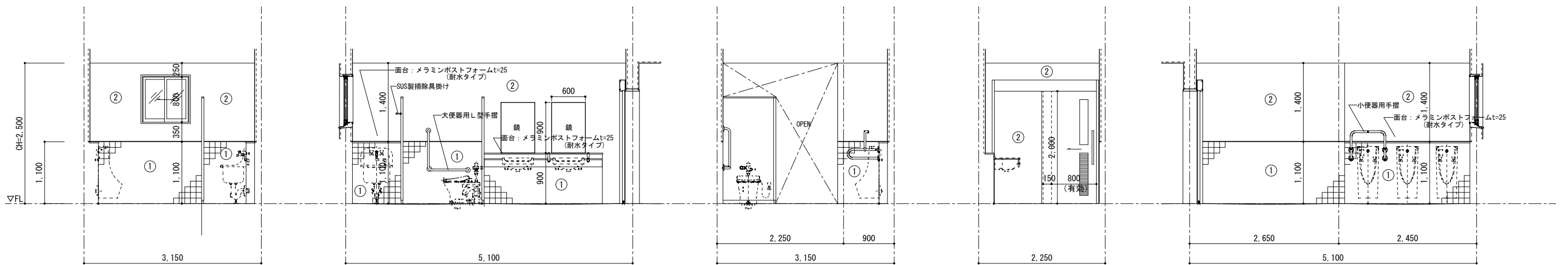
[A]

[B]

[C]

[C]

[D]



1

男子便所

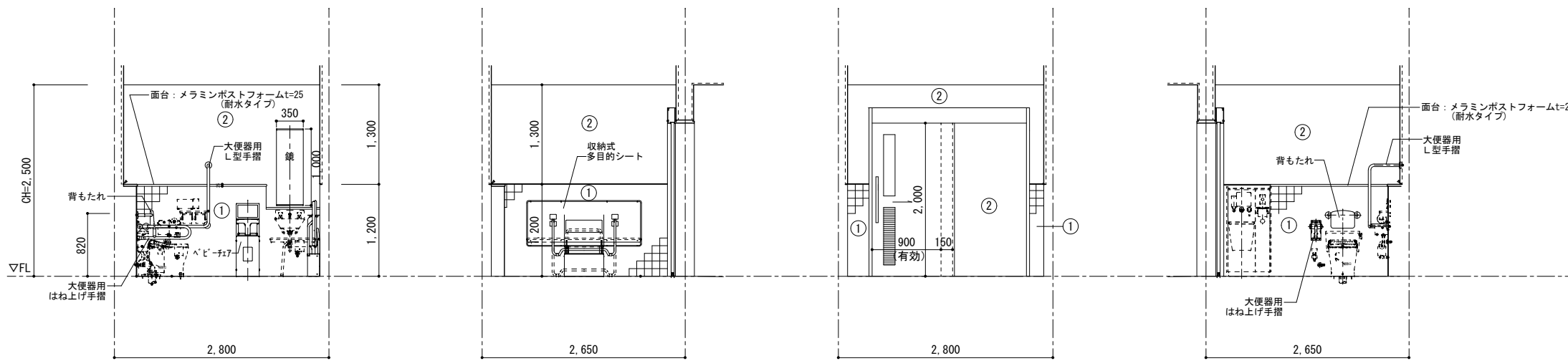
[A]

[B]

[C]

[C]

[D]



1

多目的便所

[A]

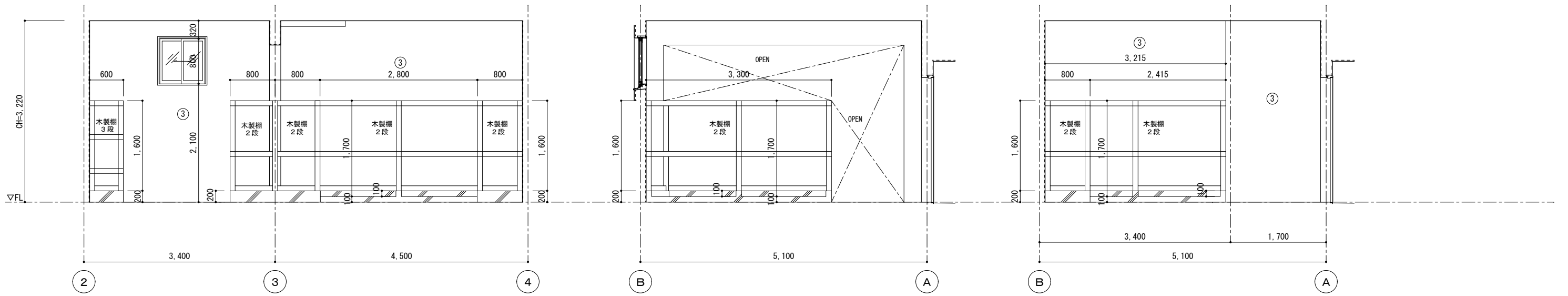
[B]

[C]

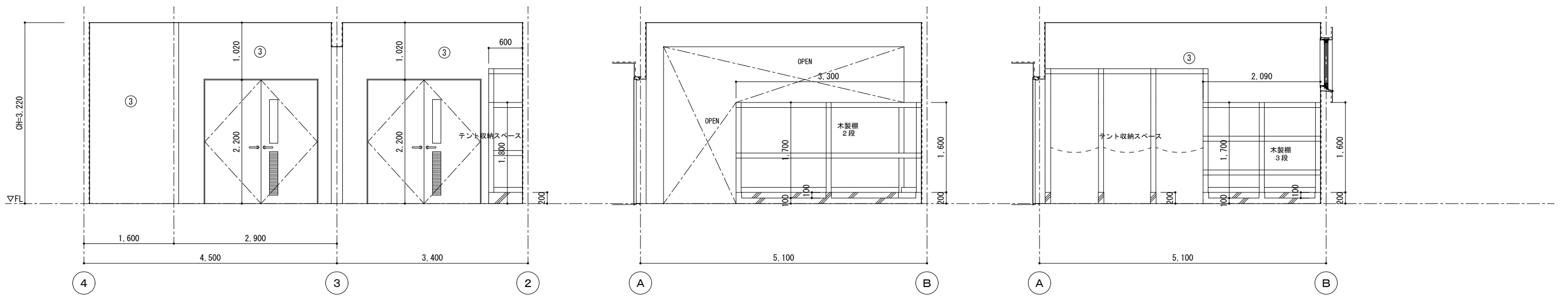
[D]

凡例

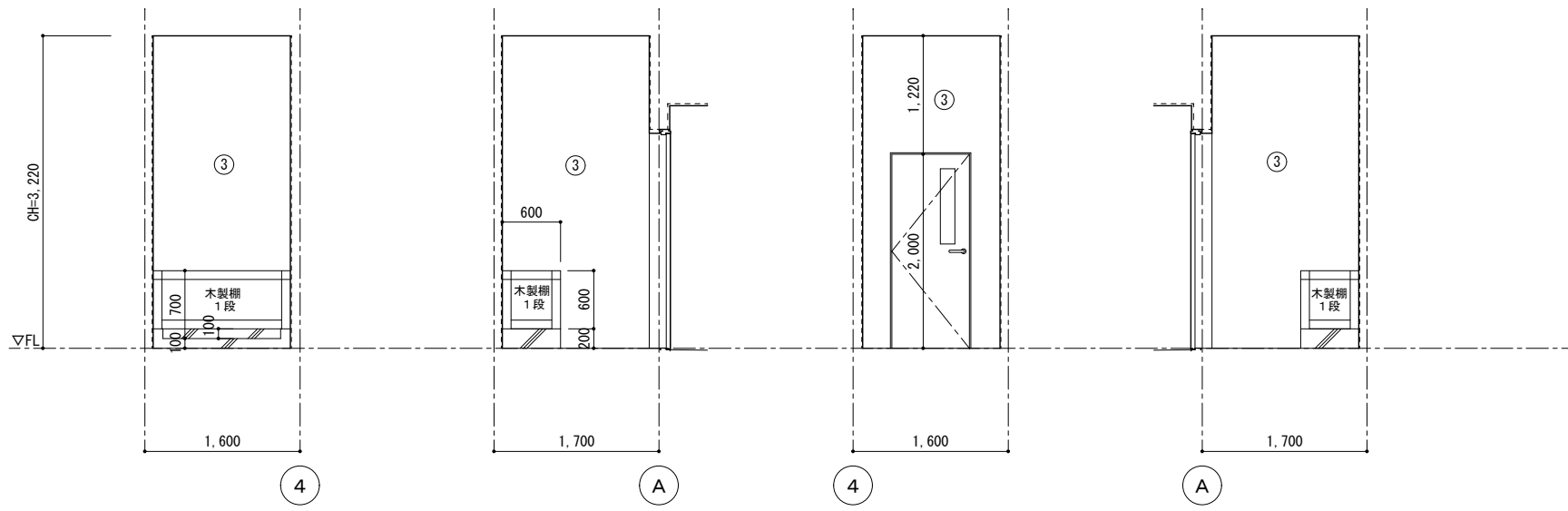
①	モルタル下地陶器質100角タイル張り
②	コンクリート打放し補修(B種) EP塗装



倉庫 [A] [B] [B]

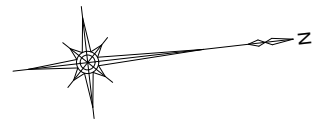
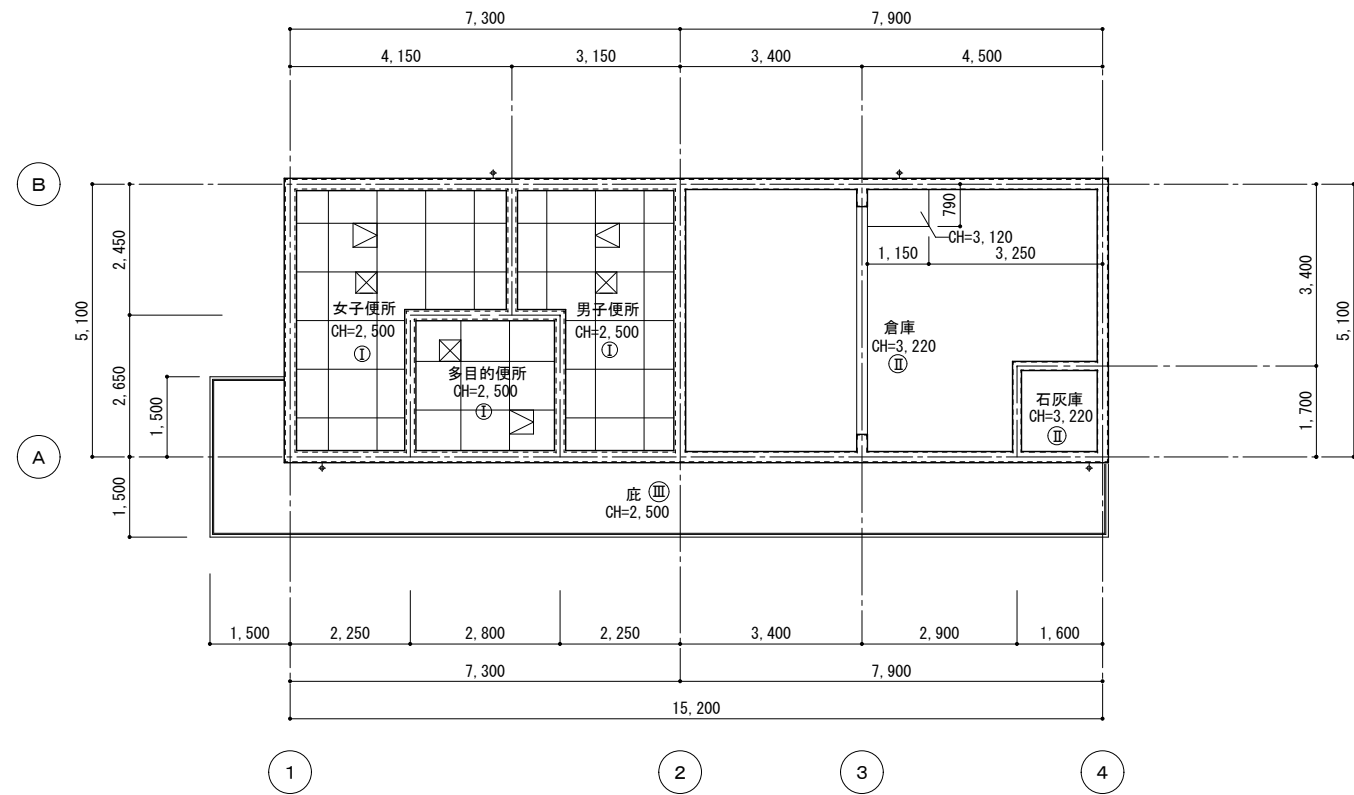


倉庫 [C] [D] [D]



石灰庫 [A] [B] [C] [D]

凡例
 ③ コンクリート打放し補修(B種)



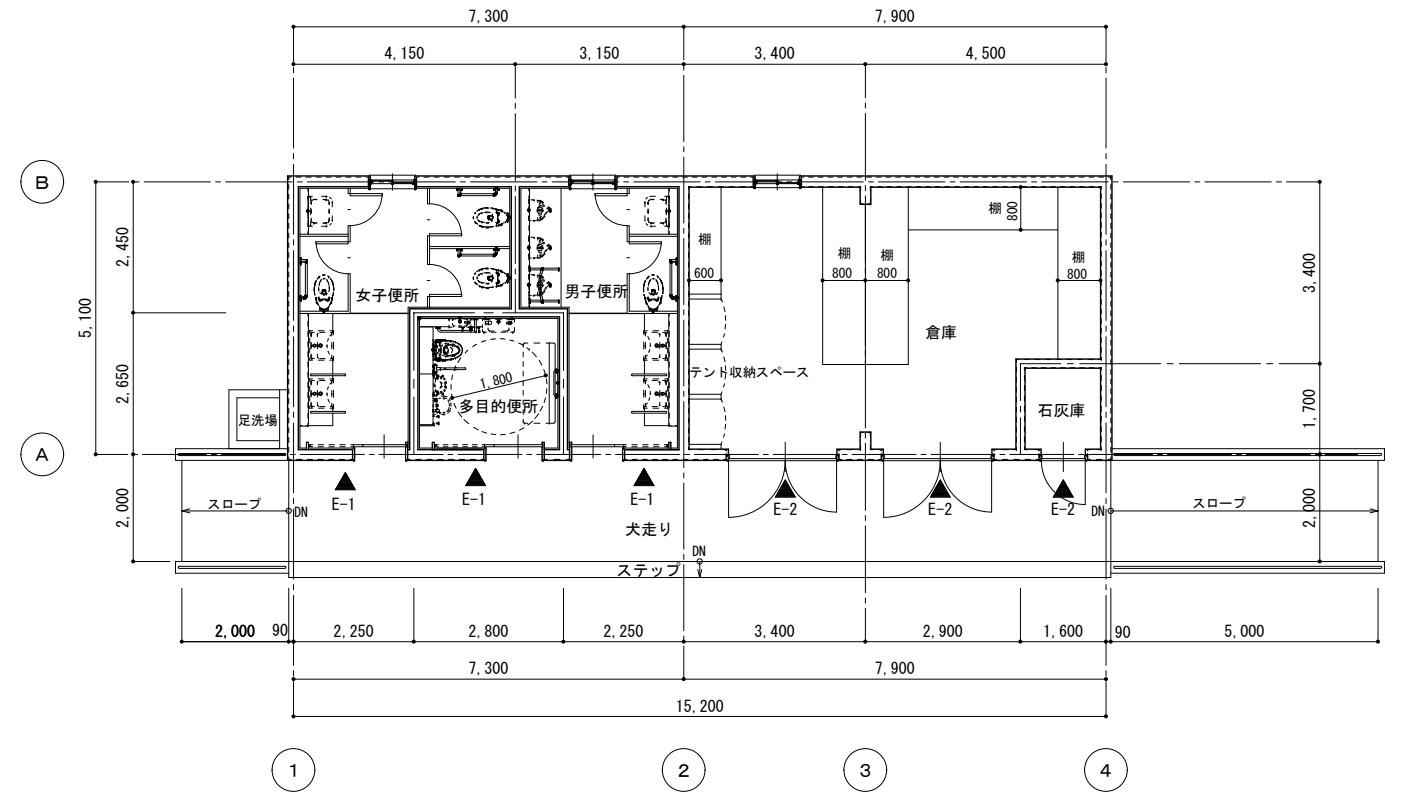
1階天井伏図 S=1/100

凡例 (仕上)

①	珪酸カルシウム板t=6 EP塗装
②	コンクリート打放し補修 (B種)
③	コンクリート打放し補修の上 外装薄塗材Eローラー仕上げ

凡例

	アルミ製天井点検口 450×450
	天井扇開口補強 400×400

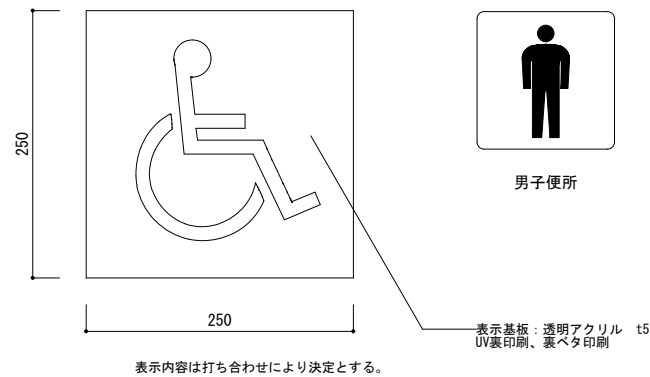


サインキープラン S=1/100

▲ E-1

ピクトサイン (平付)

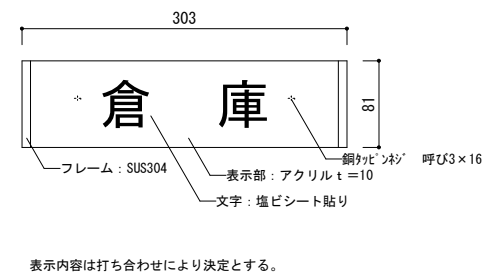
数量 3

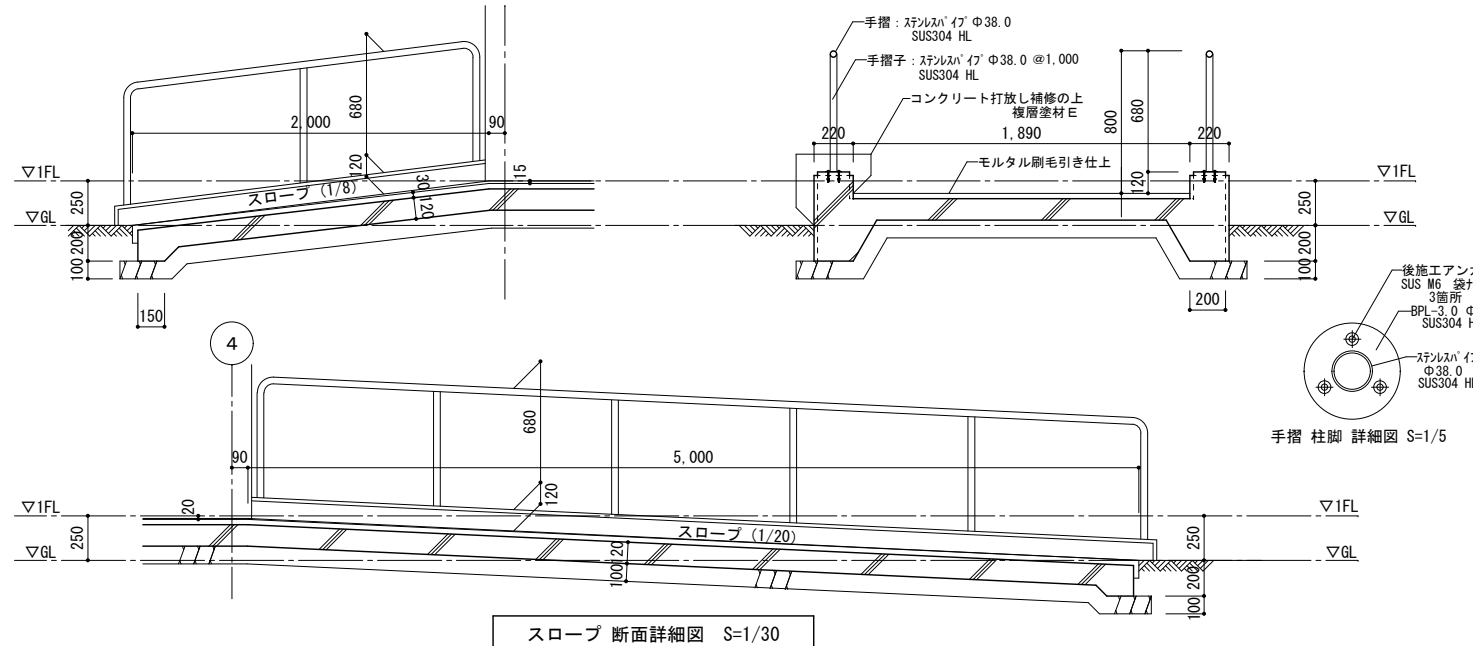
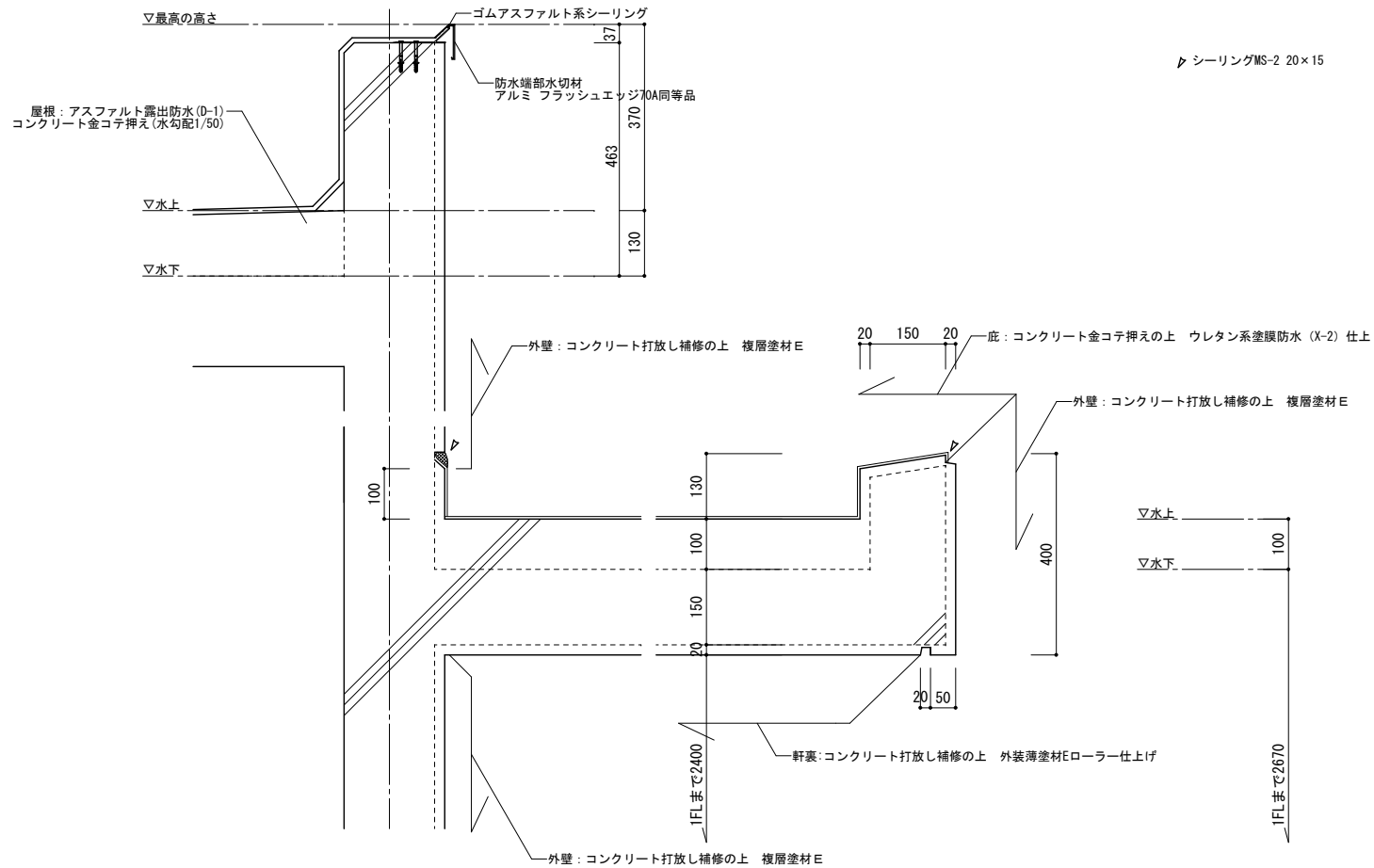
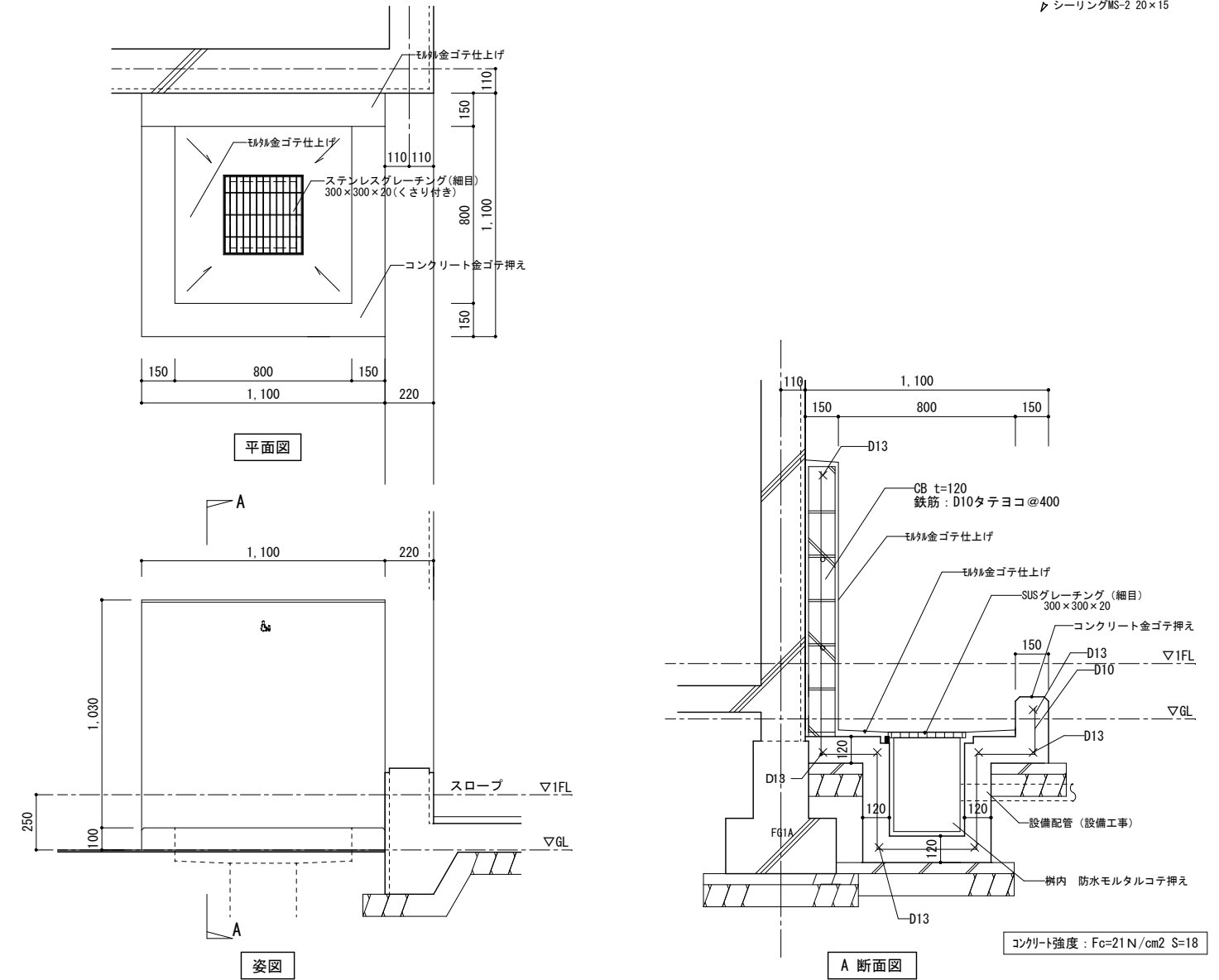
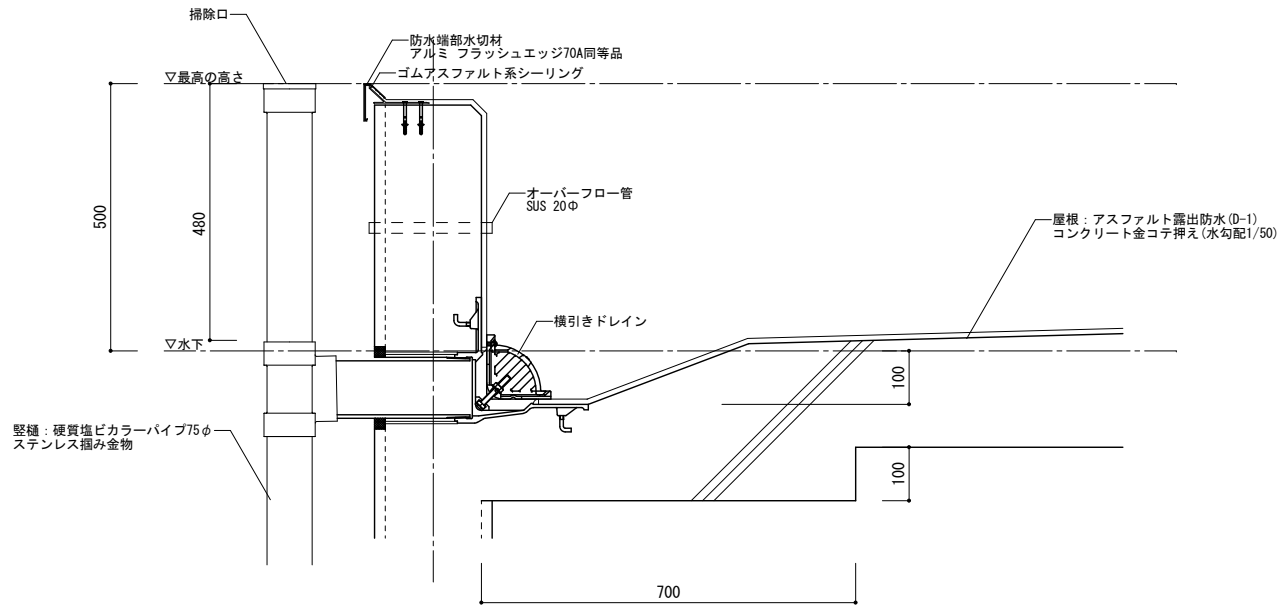


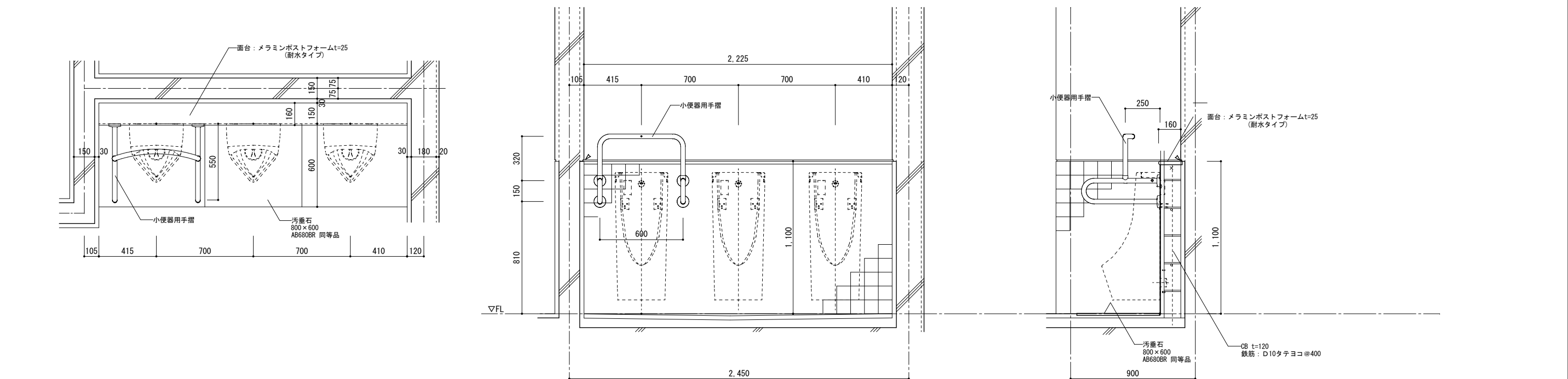
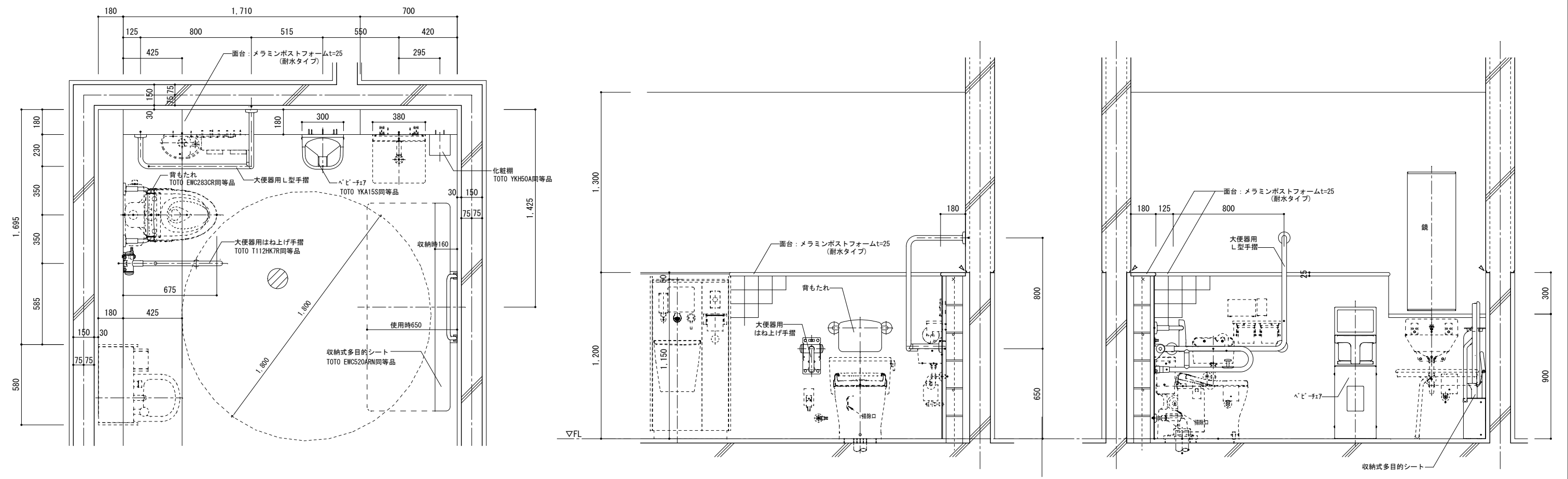
▲ E-2

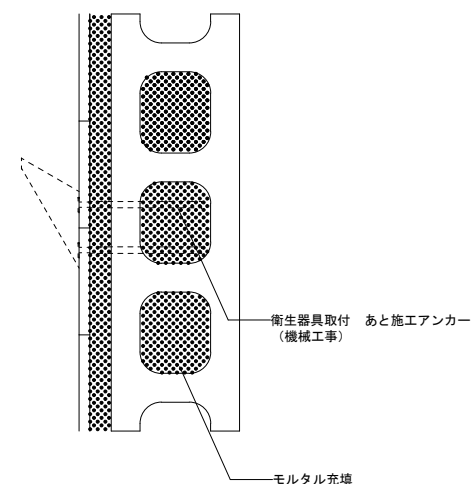
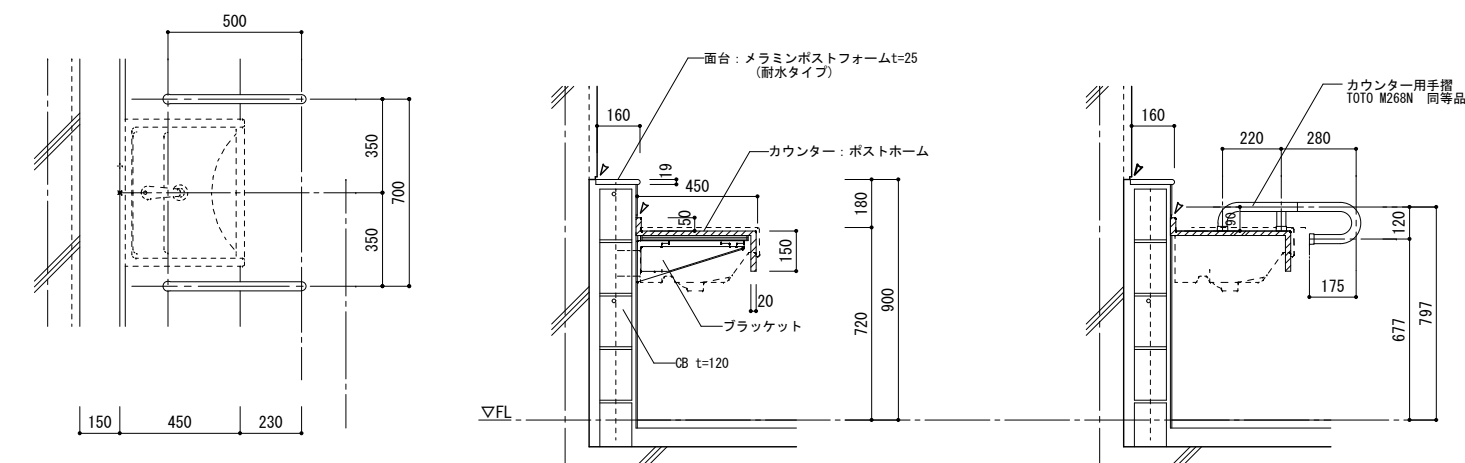
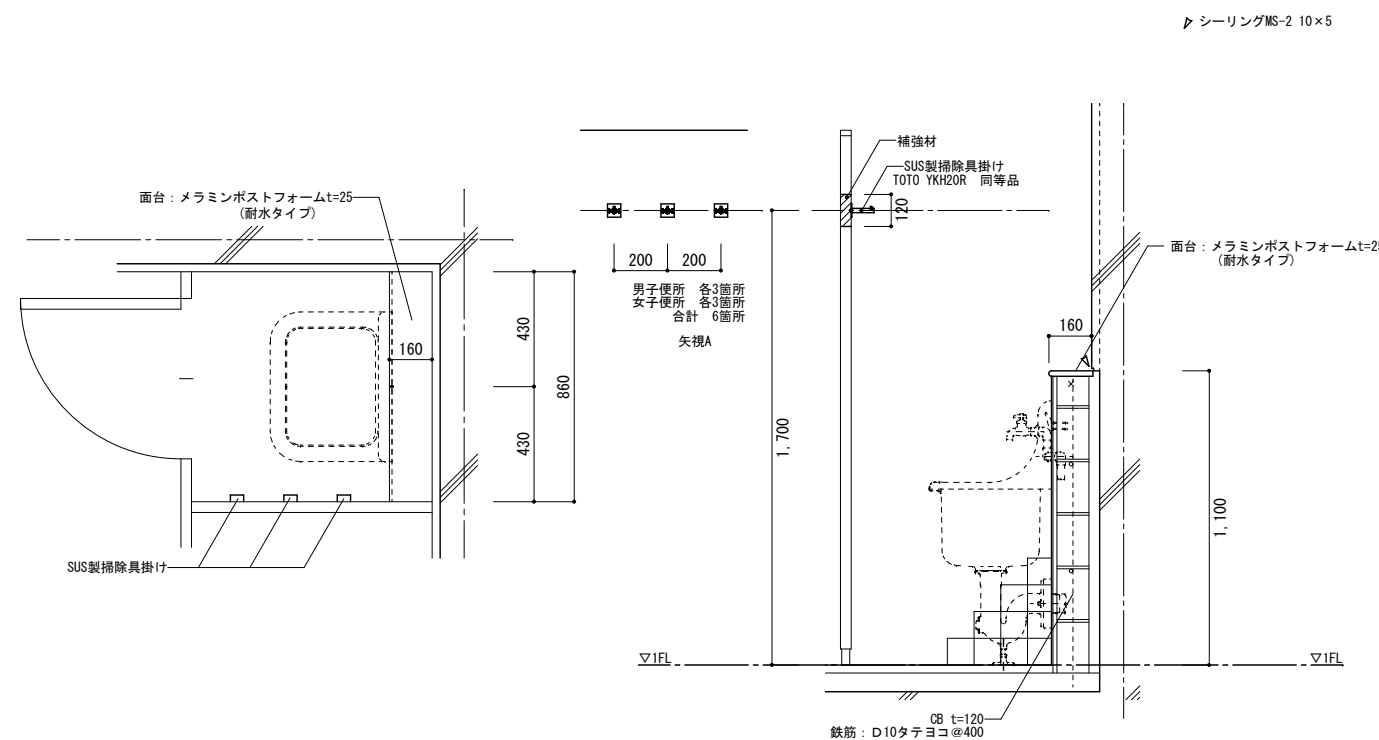
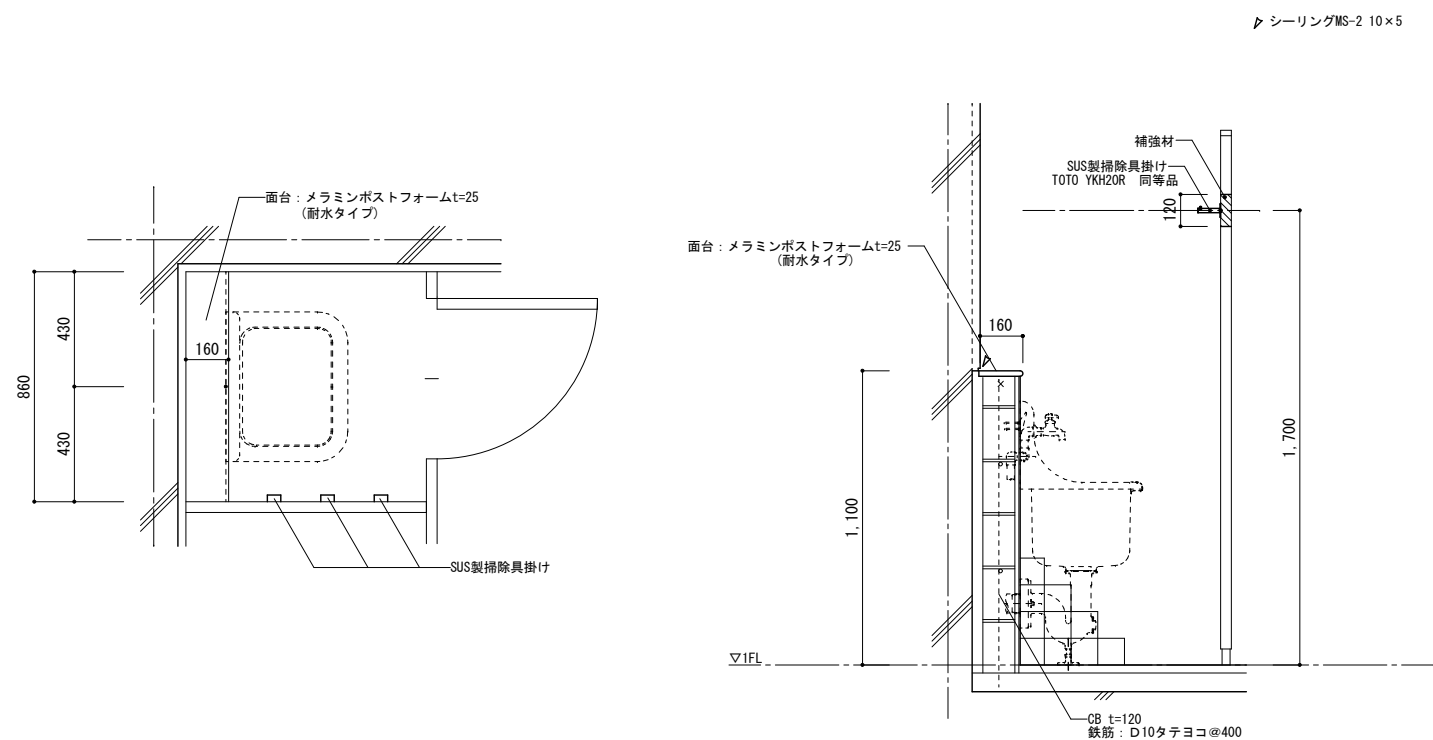
ピクトサイン (平付)

数量 3

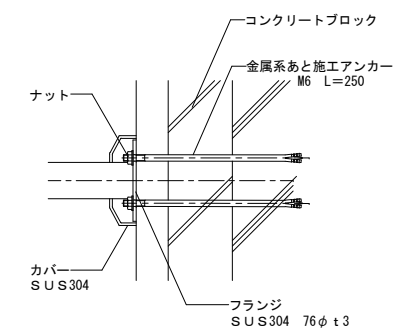




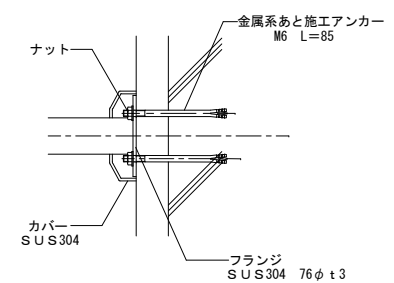




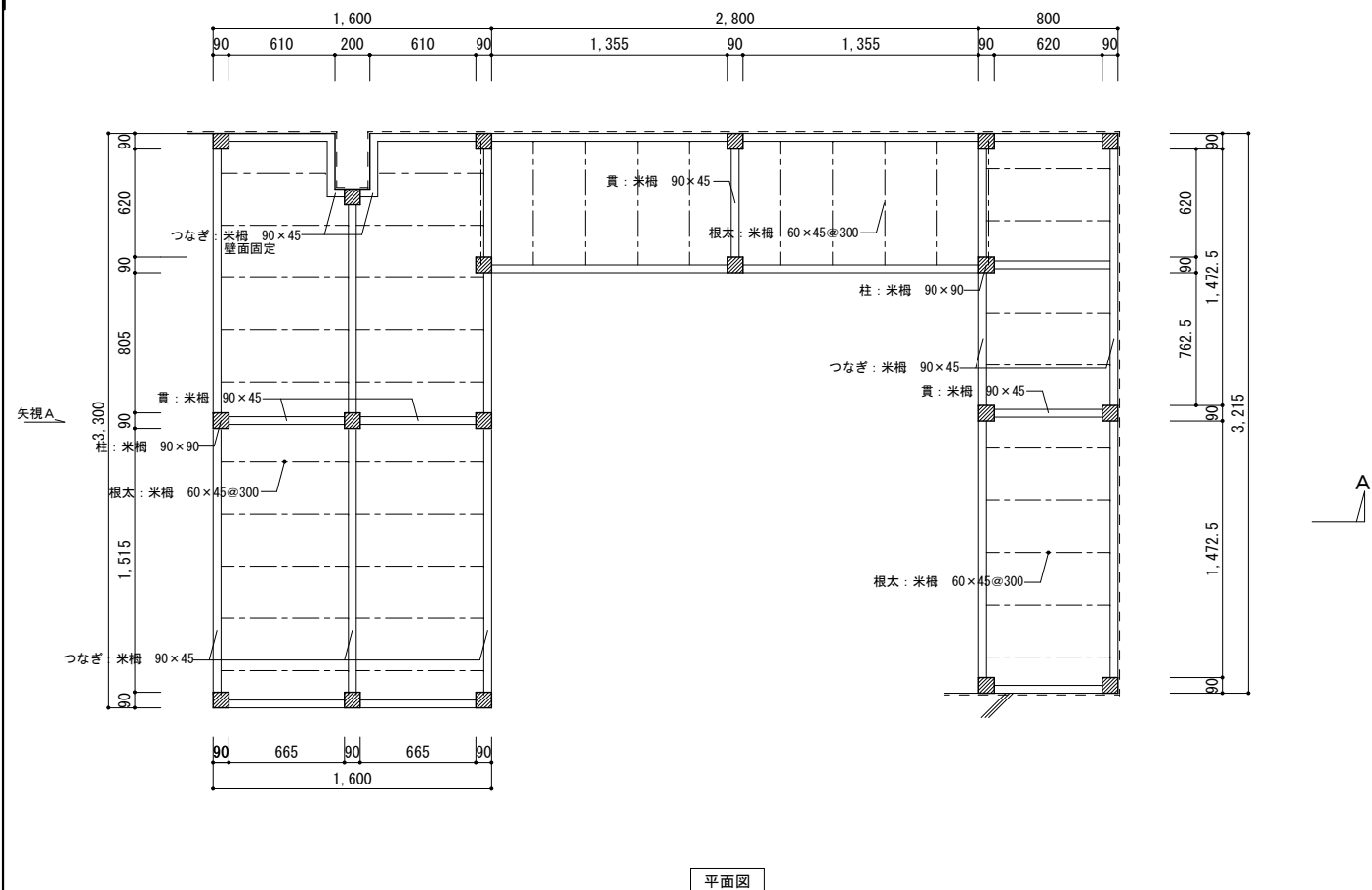
※衛生器具取付：機械工事



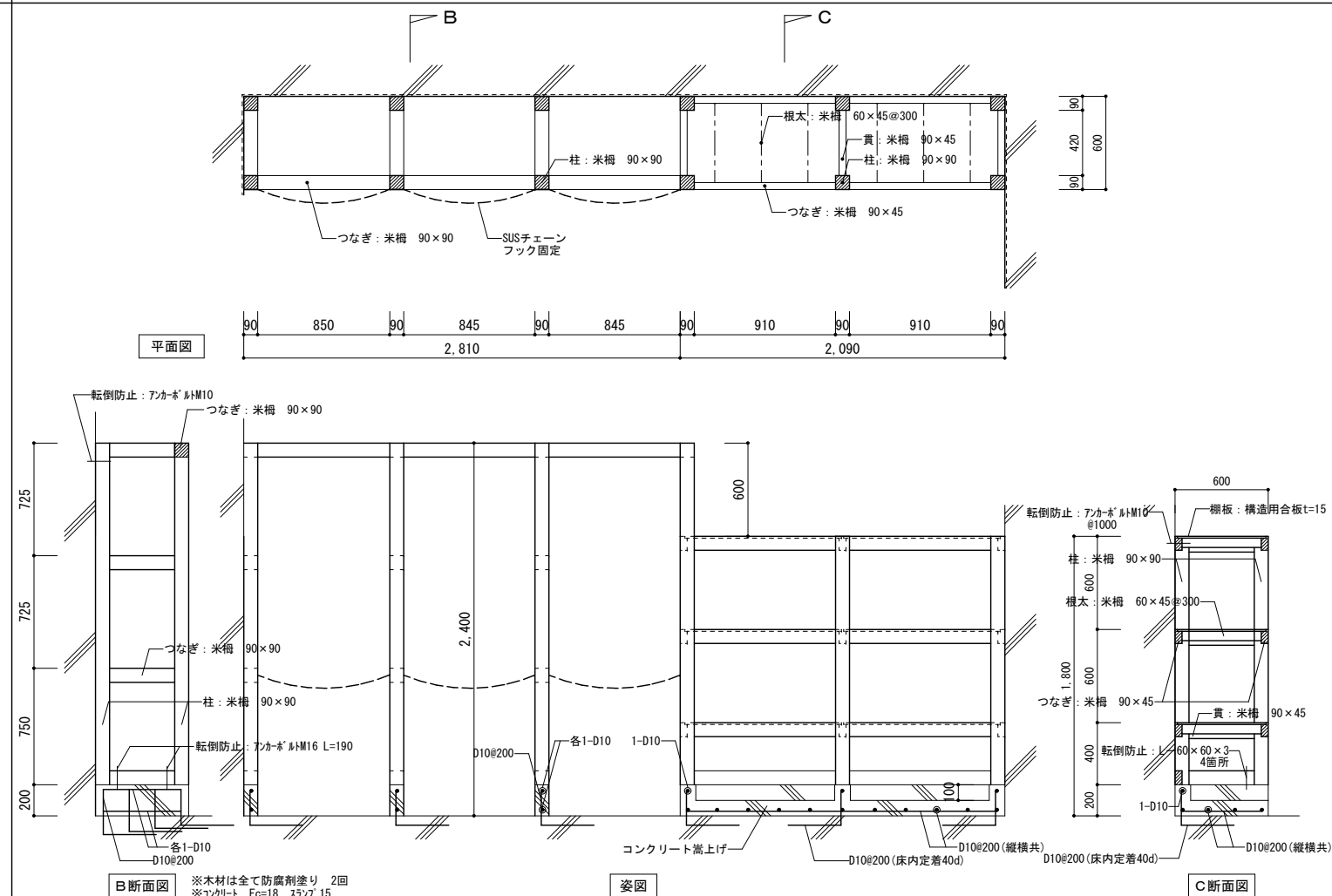
(コンクリートブロック下地の場合)



(コンクリート下地の場合)



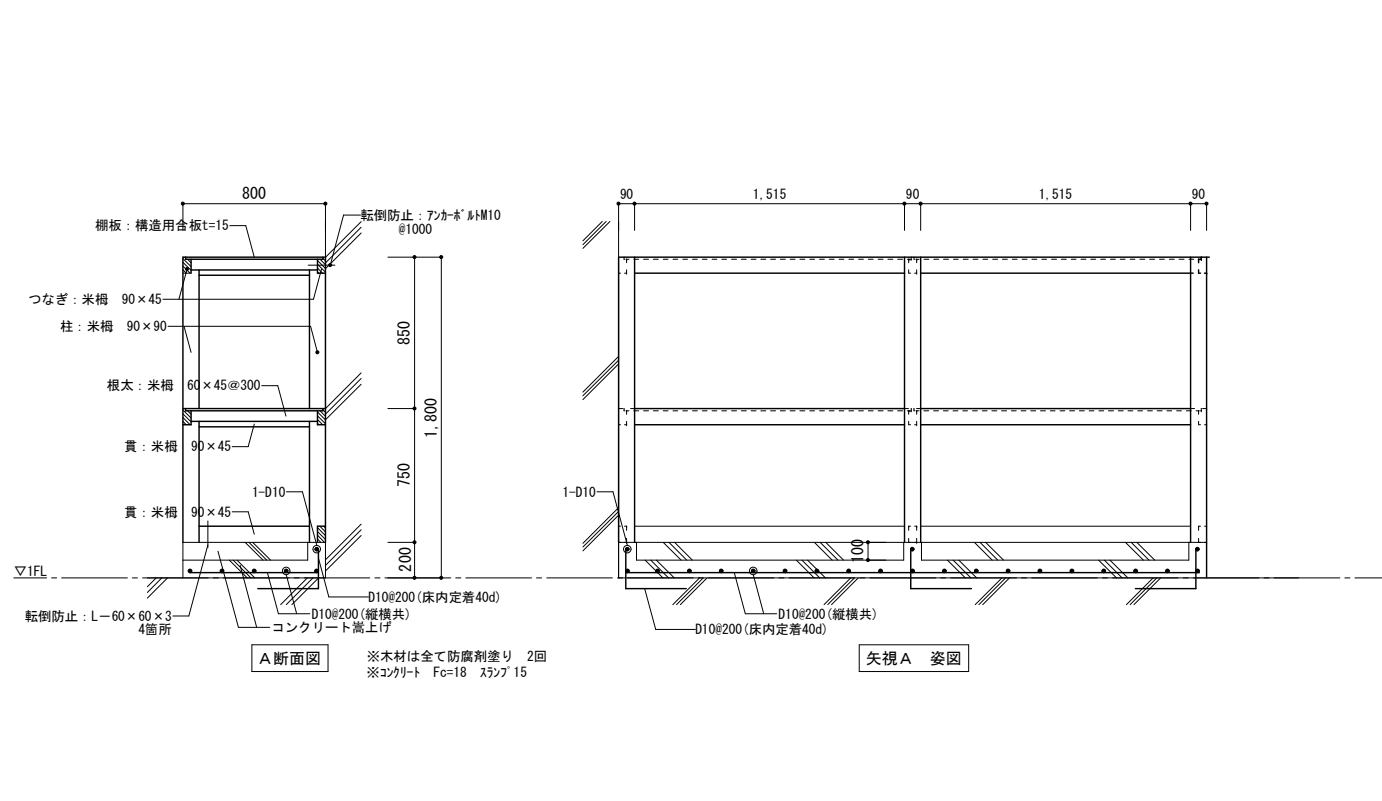
平面図



B断面図

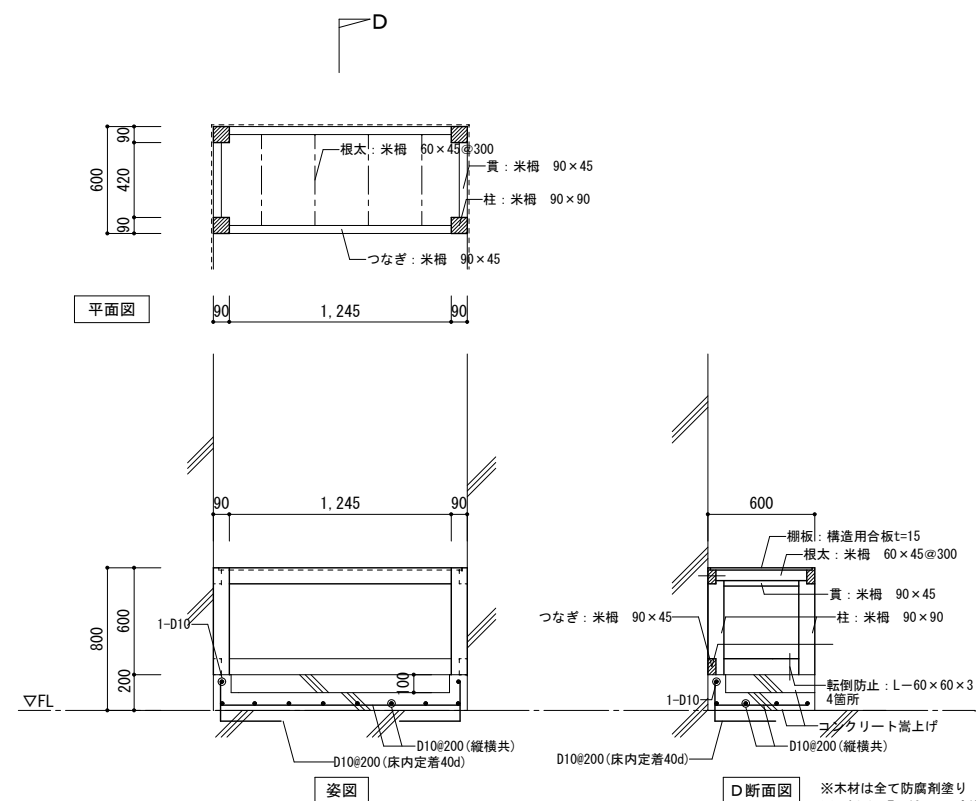
姿図

C断面図



A断面図

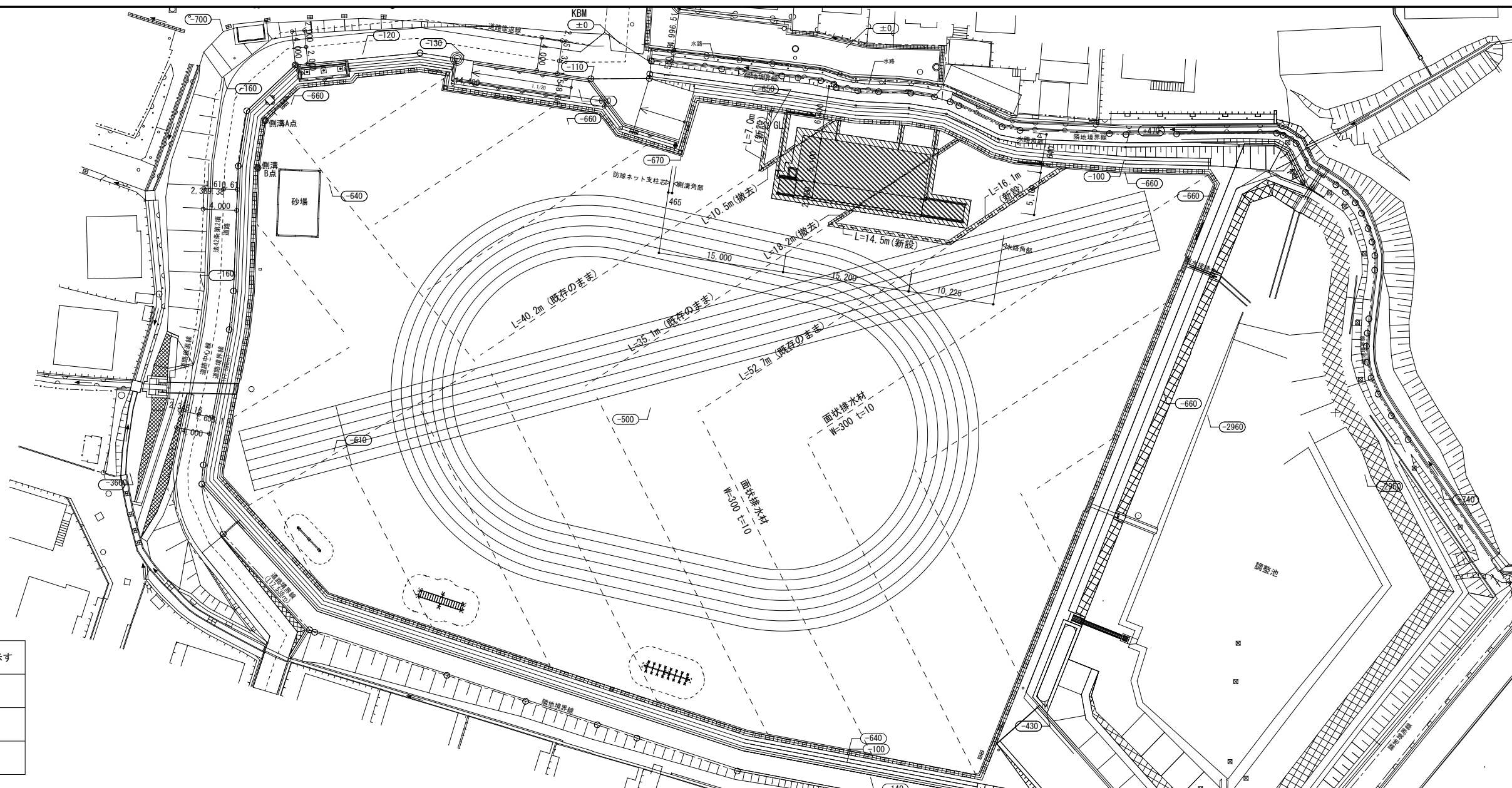
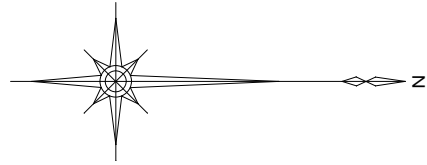
矢視A 姿図



平面図

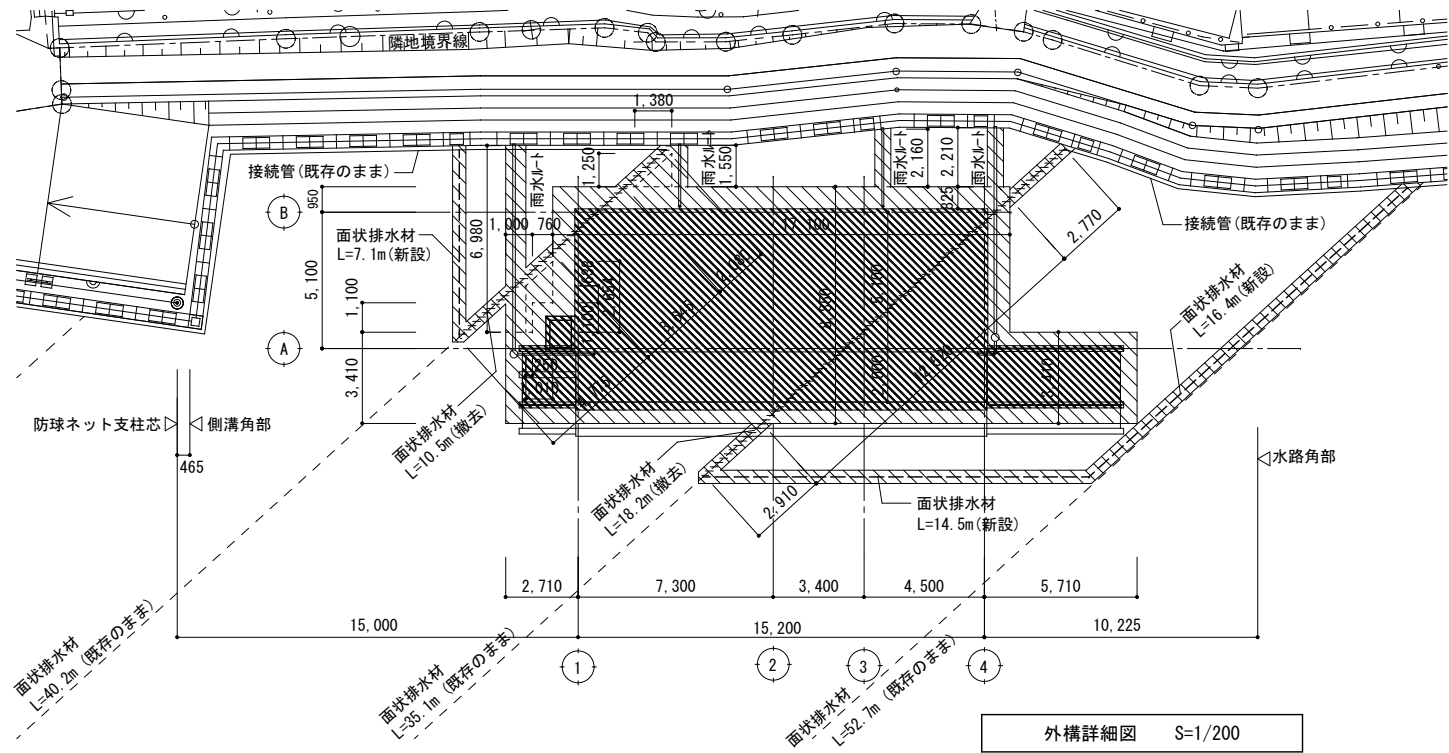
姿図

D断面図



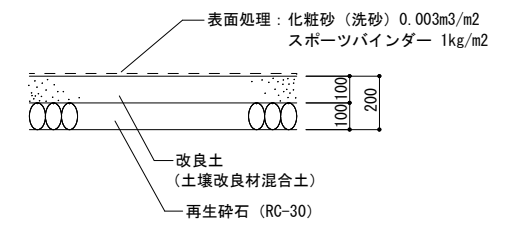
凡例

	準全天候型クレイ系舗装(撤去・新設)範囲を示す
	準全天候型クレイ系舗装(撤去)範囲を示す
	面状排水材(撤去)範囲を示す
	面状排水材(新設)範囲を示す



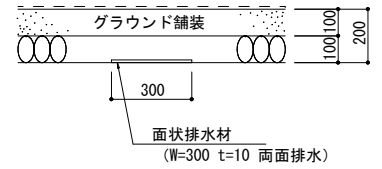
外構詳細図 S=1/200

外構図 S=1/400



(参考) 改良土の混合割合: 購入土50%+洗い砂20%+改良材30%

グラウンド舗装 詳細図 S=1/20
(準全天候型クレイ系舗装)

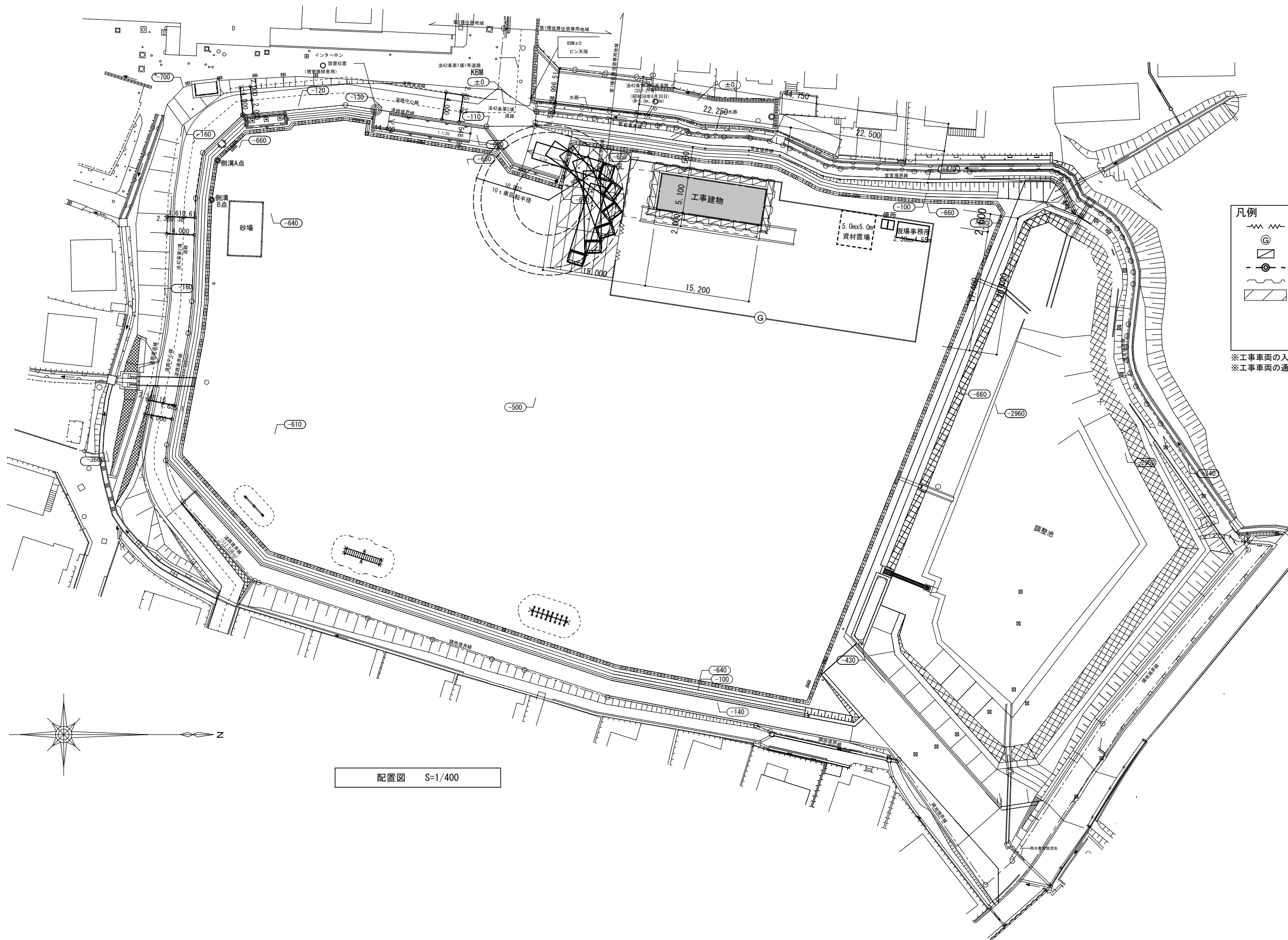


面状排水材標準図 詳細図 S=1/20

有限会社 MasMas 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
 一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者	意匠	構造

令和8年度 小学校施設整備事業
 川上小学校屋外便所新築工事(建築)
 図面名称 外構図 S=1/20 1/200 1/400



- 凡例**
- キャストゲート W=5400 H=1800 (指定)
 - ⊕ 成形鋼板 H=3000 L=124m (指定)
 - ⊗ くさび緊結足場 W=900
 - ⊙ - 交通誘導警備員 常時配置すること (指定)
 - メッシュシート貼 (指定)
 - ▨ 仮設敷鉄板 t=22 (指定) 167m²

※工事車両の入退場は、登下校時間外とすること
 ※工事車両の通行ルートは監督職員と協議のうえ決定すること

配置図 S=1/400

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 令和8年度 小学校施設整備事業
川上小学校屋外便所新築工事 (建築)

建築場所 広島県広島市八本町飯田五丁目

(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築

(3) 構造種別 木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
 鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
 プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)

(4) 階数 地下 階 地上 1階 塔屋 階

(5) 主要用途 屋外便所

(6) 屋上付属物 () 内基礎重量
 広告塔 室外機 機械 kN
 煙突 キュービクル プール kN

(7) 増築計画 有 無

(8) 付帯工事 門扉 擁壁 玄関庇 外構工事

(9) 特別な荷重
 エレベータ 人乗 (ロープ式 油圧式) リフト ton ホイスト ton
 倉庫積載床用 kg/m² 受水槽 ton

(10) 構造計算ルート X方向ルート - (1) Y方向ルート - (1)

2. 使用構造材料 法第37条に適合の事

(1) コンクリート 構造体強度補正係数(S)は公共建築工事標準仕様書による

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質管理強度 F _q =N/mm ²	スラブ cm	備考
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	18	15	15	比重
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	21	21+(S)	15	比重
1階床 (土間)	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	21	21+(S)	15	比重
1階壁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	21	21+(S)	18	比重
屋根スラブ	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	21	21+(S)	18	比重
	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量				比重
	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量				比重
	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量				比重

(2) コンクリートブロック (CB)
 A種 B種 C種 厚 100 120 150 190

(3) 鉄筋

異形鉄筋	種類	径	使用箇所	継手工法
	<input checked="" type="checkbox"/> S225	D10~D16		<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 D16以下
<input type="checkbox"/> S335	D19~D25		<input type="checkbox"/> ガス圧継手 D19以上	
<input type="checkbox"/> S390	D29~			
丸鋼	<input checked="" type="checkbox"/> S225 <input checked="" type="checkbox"/> S375	φ6 S13 (SRB-0036)		<input type="checkbox"/> 特殊継手

(4) 鉄骨

鋼材	種類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
	<input type="checkbox"/> S400 <input type="checkbox"/> SM400A <input type="checkbox"/> S400B	梁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F
<input type="checkbox"/> S355 <input type="checkbox"/> S355K400 <input type="checkbox"/> S355K400	柱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	
<input type="checkbox"/> S400C <input type="checkbox"/> SM400C	梁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	
<input type="checkbox"/> S400D	梁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	

(5) ボルト
 高力ボルト F10T F8T S10T 認定品 (M12 M14 M20 M22
 中ボルト φ=12 高力ボルトすべり係数試験 要 否
 アンカーボルト M=L ナット (シングル、ダブル)
リストによる φ=L ナット (シングル、ダブル)
φ=L ナット (シングル、ダブル)
φ=L ナット (シングル、ダブル)

頭付スタットボルト φ=19 L=100 mm

(6) 屋根、床、壁 使用箇所

鋼板 H=166 t=0.8
 折版 厚 1.2 mm
 デッキプレート 型式 QL99-50-12
 キーストンプレート 型式
 ガルバリウム鋼板 型式

3. 地盤

(1) 地盤調査資料
 有 (敷地内 近隣) 標準貫入試験 平板載荷試験 液状化判定
 無 (調査予定 有 無) サウンディング

(2) 地盤調査計画
 ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
 土質試験 物理探査 平板載荷試験

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を变化する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること) ※別紙による

深度	土質	N値	標準貫入試験 (Bor No.1)						調査番号
			10	20	30	40	50	60	
0									
5									○ 位置図
10									○ 支持地盤、地層及び深さについてのコメント
15									
20									○ 孔内水位
									○ 近隣データの調査地帯と設計地帯とは、約 mの距離がある
									○ 備考

4. 地業工事

(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さGL-0.70m、-0.80m 支持層-砂礫 載荷試験 有 無
長期許容支持力度 75 kN/m²

(2) 杭基礎 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> CPRC <input type="checkbox"/> RC	CPRC (<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み (アースオーガー併用)	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み (セメントミル工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 鋼杭	鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/> Hyper-MEGA工法 (同等以上)	
<input type="checkbox"/>	RC <input type="checkbox"/> II種	<input type="checkbox"/> ATCコラム工法	
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c =27 N/mm ² スラブ 18 cm セメント量 330 kg/m ³ 鉄筋 主筋 S390 HOOP S225A	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡張杭 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション <input type="checkbox"/> NewAGE (同等) <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深掘 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 掘削機	

杭仕様 施工計画承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷)

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

施工記録 施工結果はすべての杭について下記事項の内容を記載した施工記録をまとめて提出とする。詳細については監理員の指示による。

記載事項 JASS4. 地業および基礎スラブ工事内、4.4.9. 施工記録に準じて記載する。

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
 コンクリートは、JIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。(2022年版)
 セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 割合計画は、工事開始前に監督職員の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で、(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み区ごととする。
また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25°C未満の場合は150分、25°C以上の場合は120分以内とする。
 コンクリート養生は建築基準法施工令第75条に準拠する。

(2) 鉄筋
 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または、「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
 D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は、5本以上とする。
外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、 H型 (タグ型) W型 (溶接型) S型 (スパイラル型) とする。

(3) 型枠
 材料 合板厚 12 mm/m を標準とする。
 型枠存置期間

種別	位置	せき板		支柱				
		基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下		
セメント 貯留 期間 の 均 温 度	150°C以上	2	3	4	6	8	17	28
	50~150°C	3	5	6	10	12	25	28
	50°C未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの 圧縮強度		SN/mm ²		設計基準強度の50%				設計基準強度の 85% 100%

注) 1 片持り、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。
注) 2 大はり、支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監督者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監督者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 作図 施工計画書
 認定または登録工場 (Mグレード 都登録 ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタットボルト
 社内検査表

(3) 工事監督者が行う検査項目
(印以外の公務区の結果については、工事監督者に報告すること。)
 現状検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること
 東京都アーク溶接工事管理基準 (建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」

(5) 接合部の検査
 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監督者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監督者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	超音波探傷試験	100 %	30 %	%	
	外観 (目視) 検査	100 %	30 %	%	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名		未定 (CIW認定機関とする)			
第三者検査機関とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					
注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。					
<input type="checkbox"/> 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは、発生しないままでよい。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。					
(6) 防錆塗装 <input type="checkbox"/> 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、1回塗りを標準とする。 <input type="checkbox"/> 現場における高力ボルト接合部及び接合部の赤錆調整は、入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。					
(7) 耐火被覆の材料 <input type="checkbox"/> 半湿式吹付、ケイカル板 (厚25mm) <input checked="" type="checkbox"/> 耐火断熱材による					

7. 設備関係

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

令第129条の2の3の事項
・建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
・建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、以下の構造方法による。
風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動および衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
「給湯設備※は、満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法とする。
※「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの」建築物の部分を通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等当該貫通部分に伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 D…部材の成 R…直径
 @…間隔 r…半径 L₀…中心線 b…部材間の内法距離 φ_h…部材間の内法高さ
 ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S.HOOP…補強帯筋 φ…直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブ・同時打ち込むT形および影響のキャップタイにのみ用いる。 *片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(*4d以上)	8d以上(*4d以上)	

鉄筋は、SD295、SD345を使用する。
 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用面所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法の寸法L ₁ R
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295、SD345	D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SD295、SD345	D16以下	4d以上
			D19~D25	6d以上

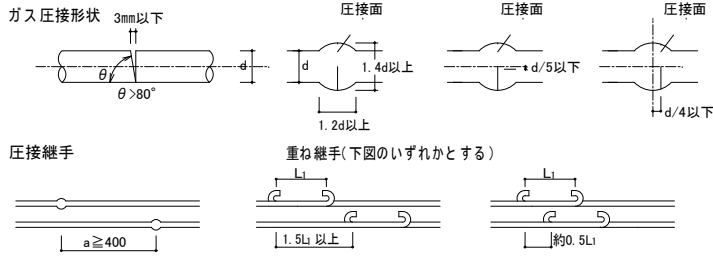
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₂)	下ば筋(L ₃) 小梁 スラブ	
SD295	21~27	35dまたは25dフックつき	25dまたは10dかつ150mm以上	40dまたは30dフックつき
SD345	18	40dまたは30dフックつき	15dフックつき	45dまたは35dフックつき

コンクリートは普通F_c=18N/mm²以上36N/mm²以下、軽量F_c=18N/mm²以上22.5N/mm²以下。
 ※梁主筋の定着は40dとする。

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長とする。



(4) 鉄筋のかぶり厚さ(単位: mm)

構造部分	最小かぶり厚さ(mm)	設計かぶり厚さ(mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持スラブ**・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分基礎つなぎ梁	40	50
基礎(掘削コンクリート部分を除く)	60	70

[注] * 耐久性上有効な仕上げがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 ** 片持スラブの先端は、最小かぶり30mmとする。 [8-(1)の参照]

(5) 鉄筋のあき

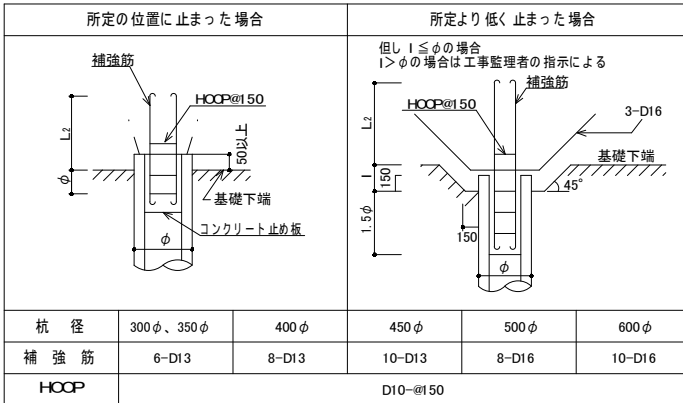
- 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)

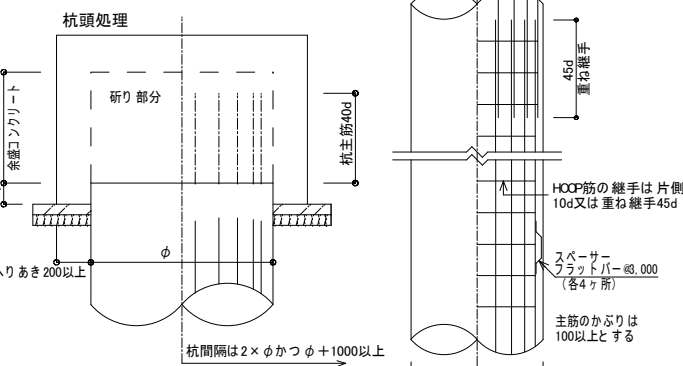
- 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

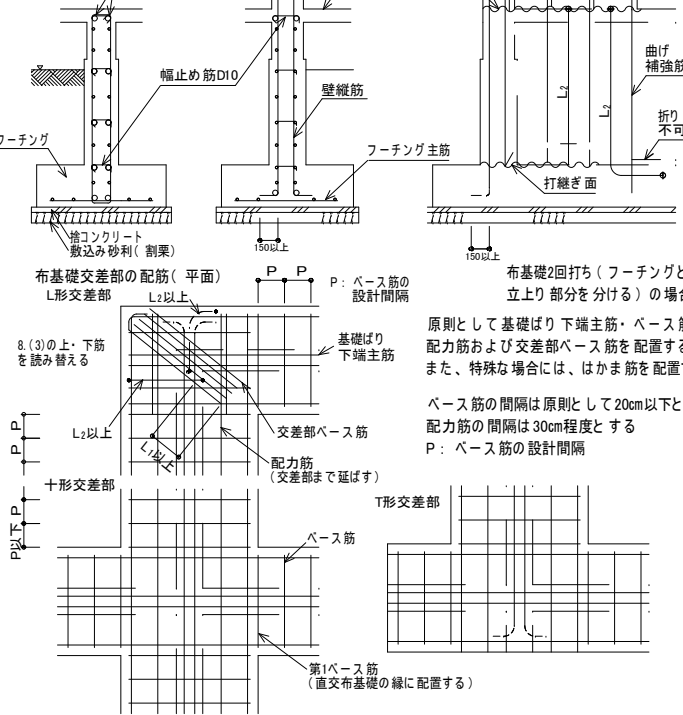


(2) 現場打ちコンクリート杭

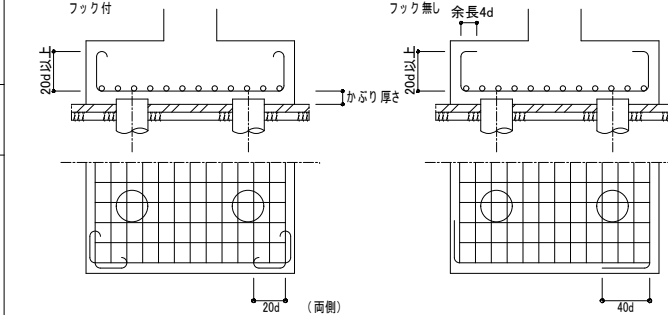


4. 基礎

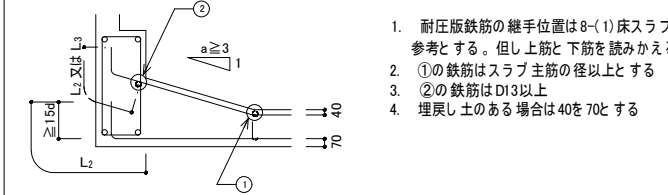
(1) 布基礎



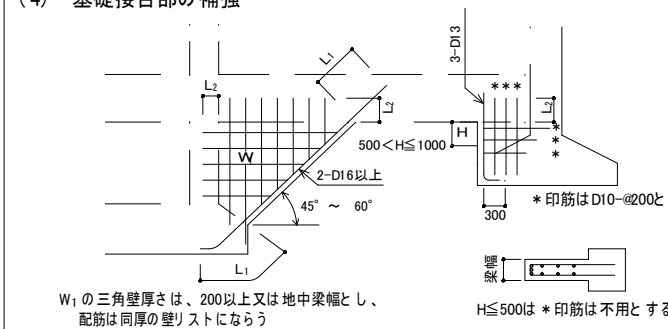
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎

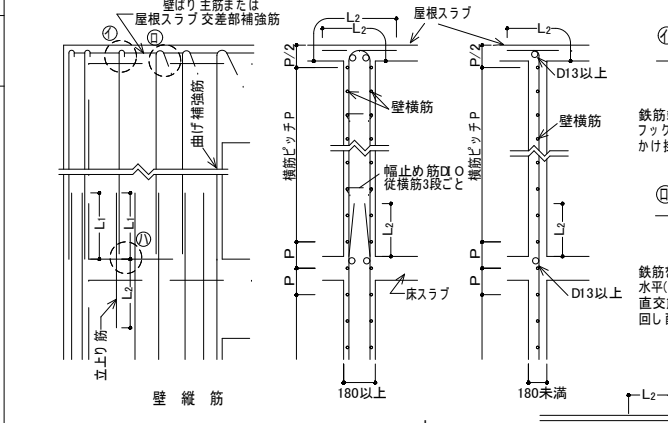


(4) 基礎接合部の補強

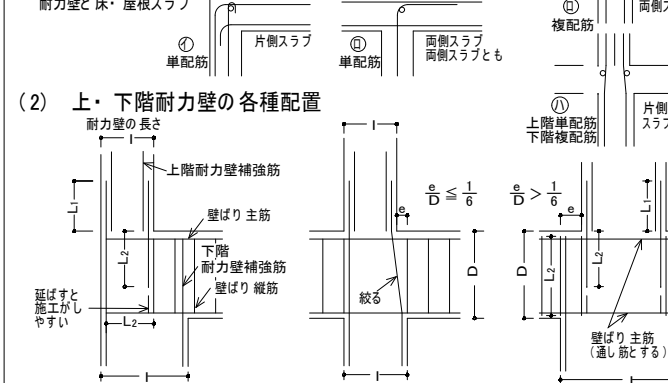


5. 耐力壁

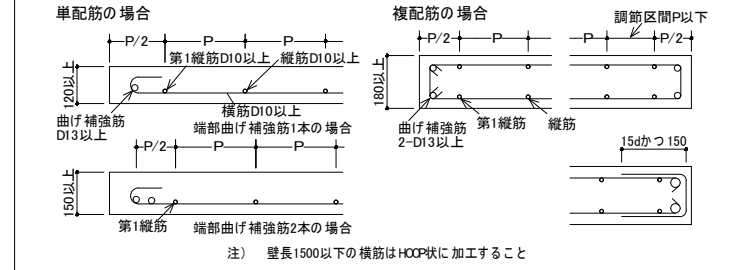
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



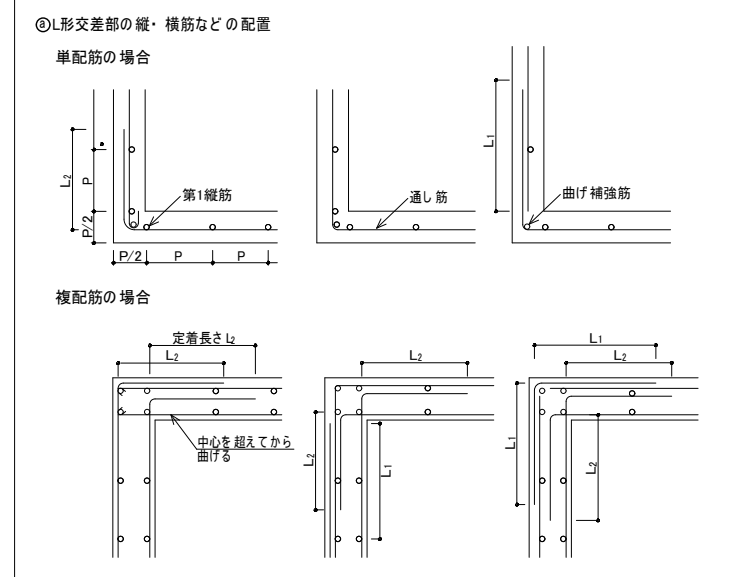
(2) 上・下階耐力壁の各種配置



(3) 耐力壁の縦・横筋の配置



(4) 耐力壁が交差する場合(平面)



(5) 耐力壁及び壁のスリーブ補強について

耐力壁及び壁のスリーブ貫通孔部は、貫通孔補強として斜め補強筋4-D16(両面/定着L₁)を配筋する。また、壁筋を切った場合は、切った本数だけ開口の両端(定着L₁)に追加する。

6. 使用可能な鉄筋の最大径(標準)

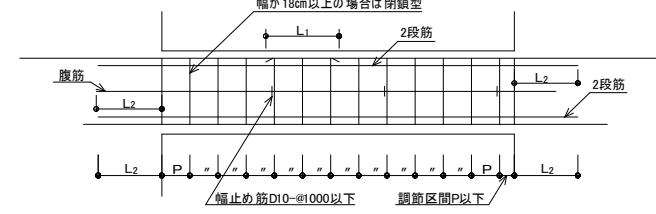
部位	耐力壁	壁梁 がりょう 小梁	布基礎 基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
構造種別	耐力壁	D22	D22	D25	D16	D16
壁式鉄筋						
コンクリート造						

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

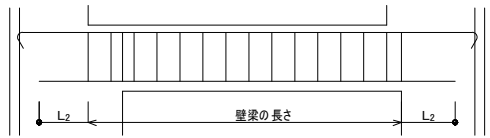
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

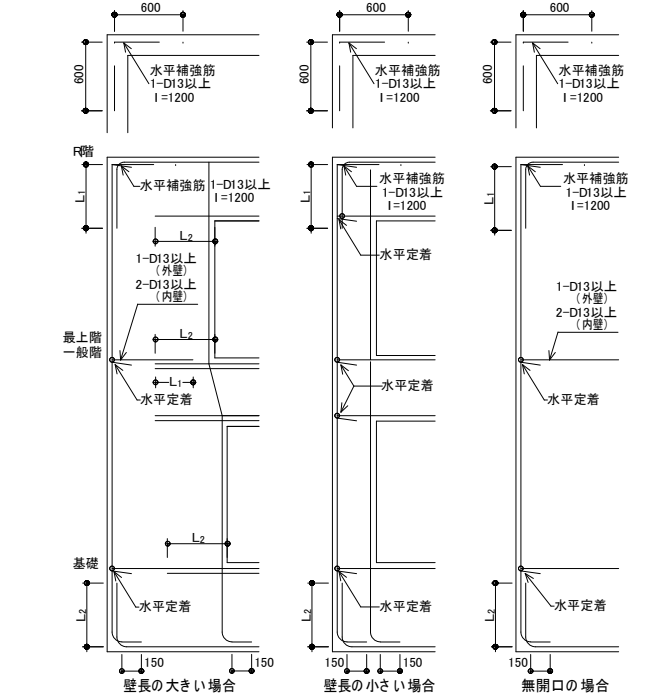


(2) 壁梁の範囲

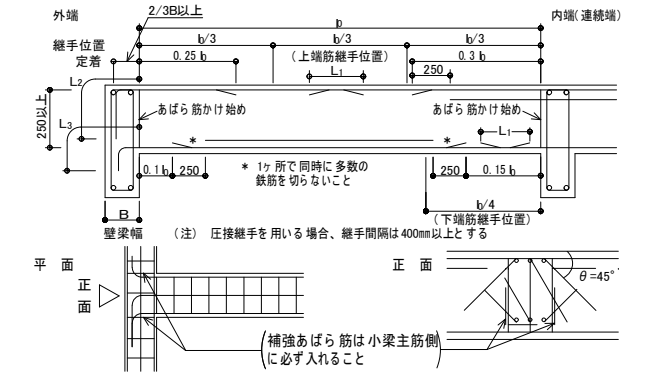


(3) 定着

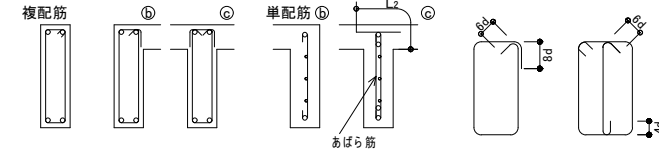
◎ 壁梁



◎ 小梁の定着・継手位置およびトップの筋長さ



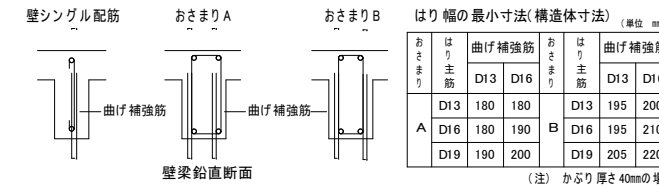
(4) あばら筋の型



(イ) 原則として(イ)のフック先曲げとする
片側床版付(L型)梁で(イ)、
両側床版付(T型)梁で(イ)とする
(ロ) フックの位置は(イ)にあつては交互、
(イ)にあつてはスラブ側とする

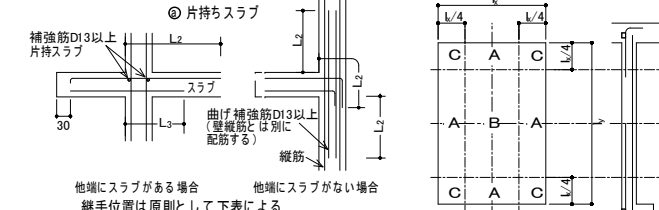
(5) 壁梁と壁のおさまり

壁梁の幅は耐力壁の厚さ以上とする

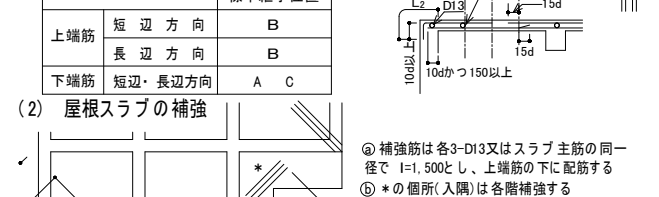


8. 床板

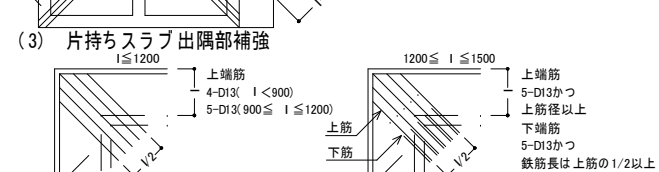
(1) 定着および継手



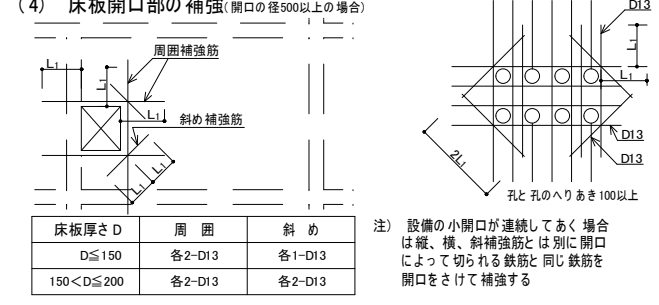
(2) 屋根スラブの補強



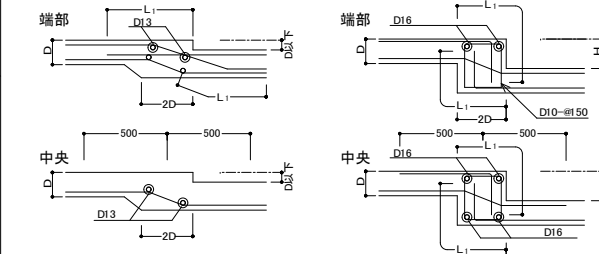
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



(4) 床板開口部の補強(開口の径500以上の場合)

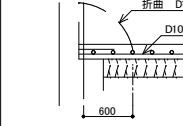


(5) 床板段差

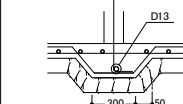


(6) 土間コンクリート

◎ 軽作業の土間

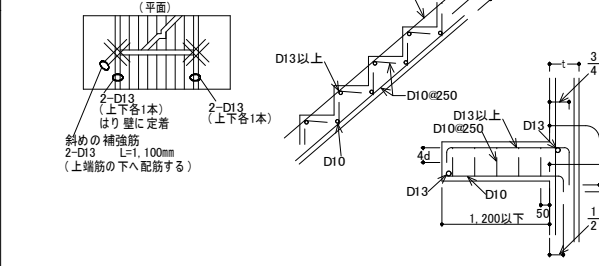


◎ 間仕切壁との交叉部



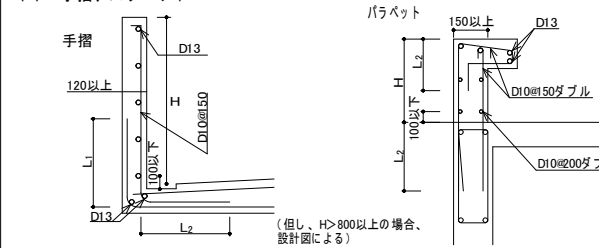
9. 階段

(1) 片持ち階段

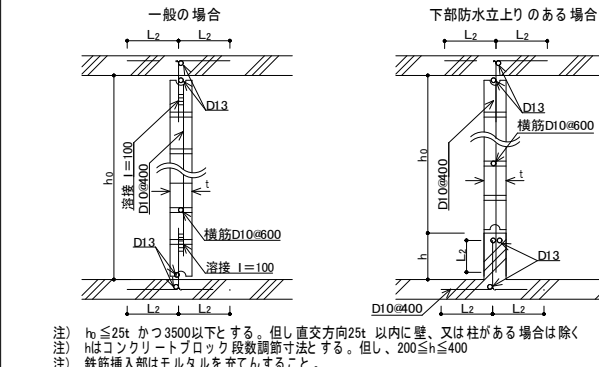


10. その他

(1) 手摺、パラベット



(2) コンクリートブロック帳壁

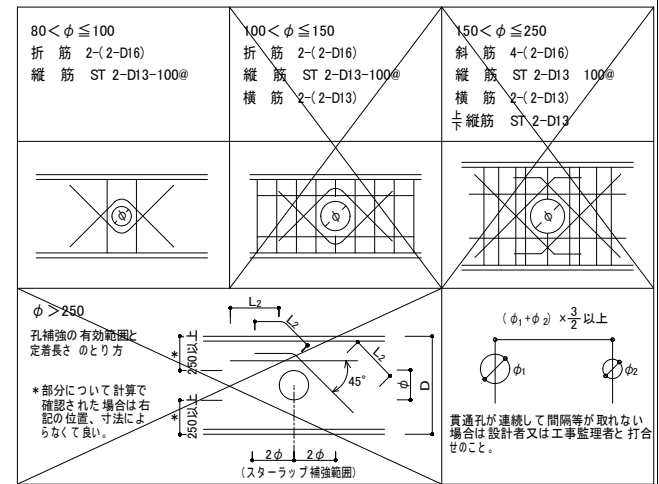


11. 梁貫通孔補強

(1) 既製品 梁貫通孔補強は原則として既製品(認定品)を用いる。

◎リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

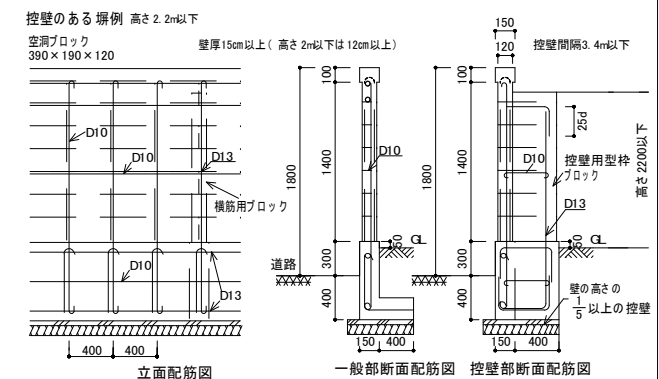
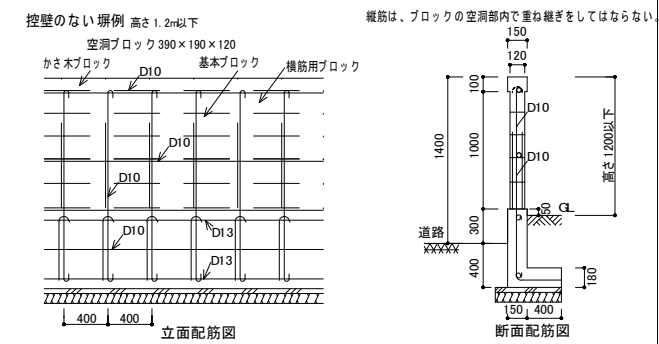
(2) 鉄筋標準配筋 但し φ ≤ D/3とする
設置可能範囲 梁端部(スパン1/10以内かつ2D以内)は避ける



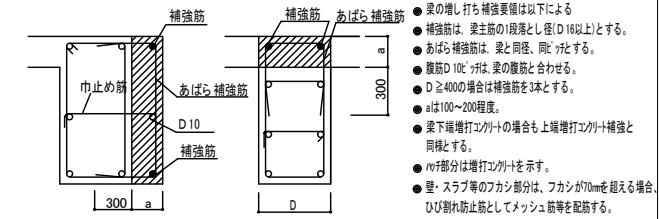
12. コンクリートブロック塀

(1) ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

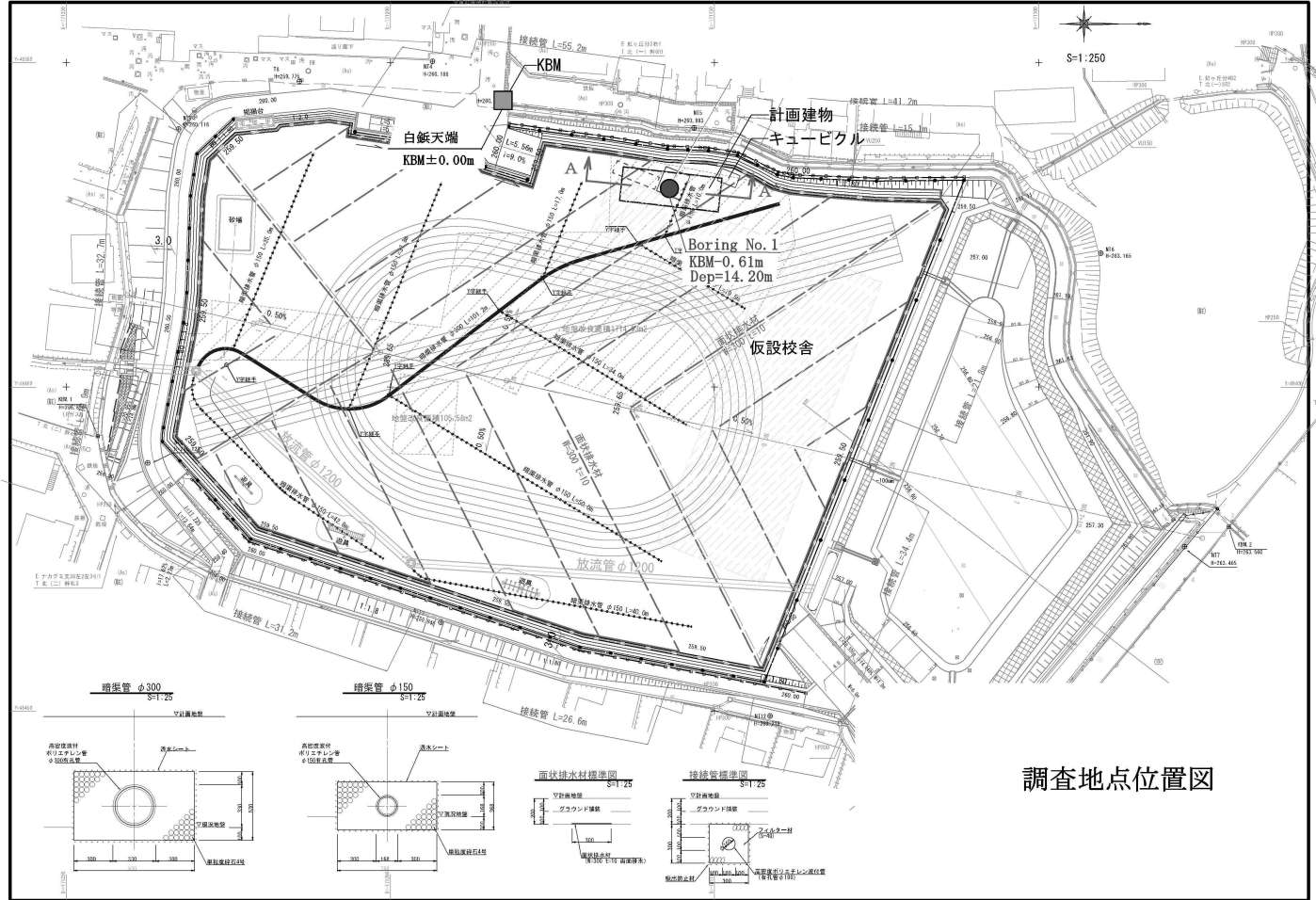
a. 塀の高さ(地盤面に高低差のある場合は低い方による)は2.2m以下
b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合には12cm以上、2mを超える場合には15cm以上。
c. 地盤が液状化のある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。
d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。



13. 増打コンクリート補強



ボーリング柱状図



調査地点位置図

調査名 令和7年度小学校施設整備事業川上小学校屋外便所新築及びグランド屋外放送設備設計業務

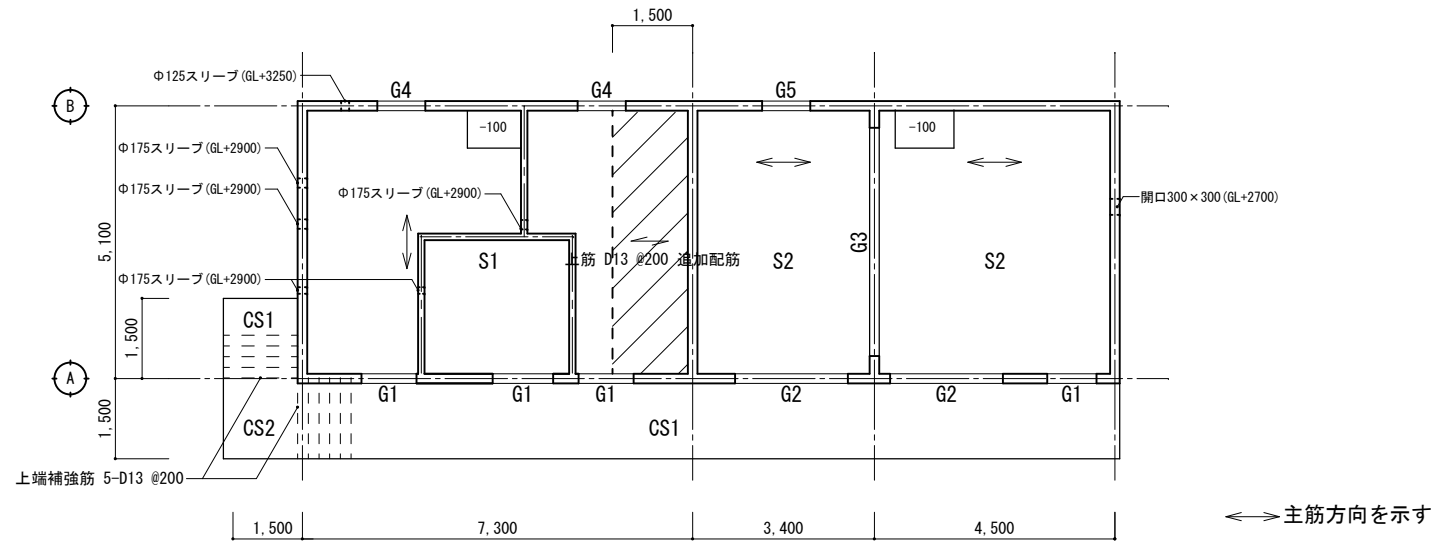
ボーリングNo	
---------	--

事業・工事名

シートNo

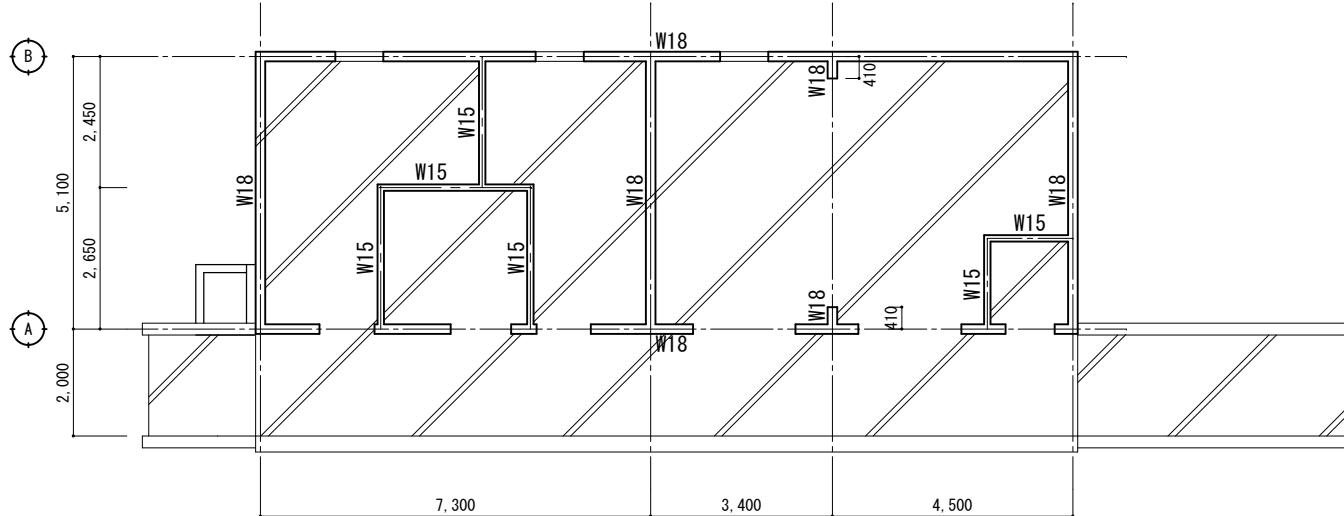
ボーリング名	No. 1	調査位置	広島県東広島市八木松飯田五丁目	北緯	34° 27' 22.38"
発注機関	東広島市	調査期間	令和7年12月2日 ~ 7年12月5日	東経	132° 42' 15.05"
調査業者名	有限会社 MasMas 電話 (082-506-0707)	主任技師	小松木 靖之	現代理人	藤本 博己
孔口標高	KBM -0.61m	角	180° 上 90° 方	コ 鑑 定 者	祇園 正治
総掘進長	14.20m	度	下 0° 向	試錐機	東邦 D-1
				ハンマー	落下用具
				エンジン	ヤンマー NFD-13
				ポンプ	東邦 BG-3C

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対対	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験			原位置試験	試験採取	室内試験	掘進	
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)					
-1.41	0.80	0.80	粘土質シルト	褐色	緩い	中位の	マサ土からなる軟地盤土。所々5~20mm程度の礫を混入する。	1.15	3	3	9				
-3.31	1.90	2.70	粘土質シルト	褐色	緩い	中位の	全般にシルトを混入する。所々5~20mm程度の角礫及び雲母片を混入する。	1.45	5	5	15				
-11.41	8.10	10.80	花崗岩・軟岩 I	褐色	非常に密な		花崗岩の風化土からなり、マサ土状を呈する。コアは指先でポロポロに壊れ、砂礫から砂状を呈する。岩級区分は硬級の軟岩 I 分類される。	12.30	22	26	12				
-14.81	3.40	14.20	花崗岩・軟岩 I	褐色	非常に密な		花崗岩の風化土からなり、マサ土状を呈する。コアは指先でポロポロに壊れ、砂礫から砂状を呈する。岩級区分は硬級の軟岩 I 分類される。	14.20	22	38	60				



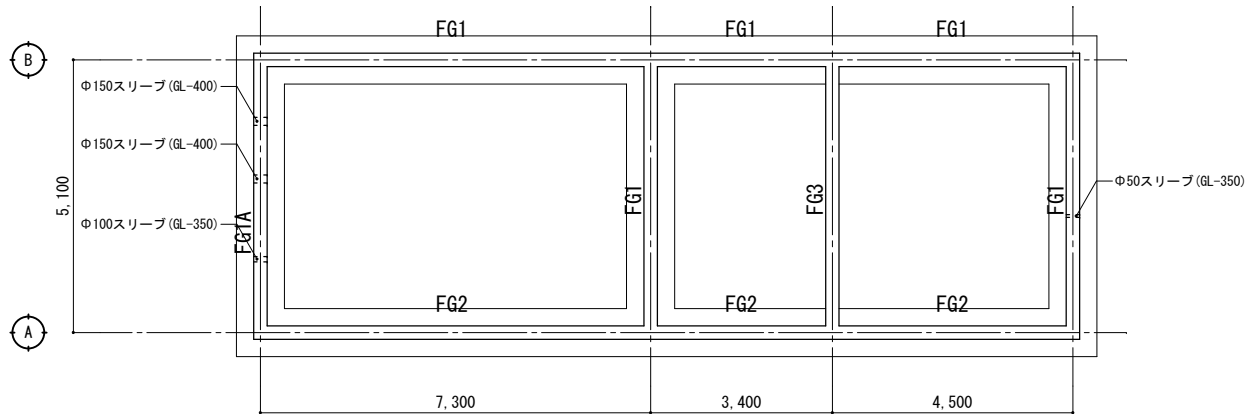
屋根伏図 S=1/100

屋根面増打ち部について、厚みが80mmを超える部分には溶接金網Φ6@150を配置すること



1階壁床伏図 S=1/100

土間コンクリートt=120 D10@200 (シングル)



基礎伏図 S=1/100

符号	FG1	FG1A	FG2	FG3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
梁断面				
上端筋	2-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16
下端筋	2-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16
S T	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
腹筋	2-D10	4-D10	2-D10	2-D10

梁リスト S=1/30

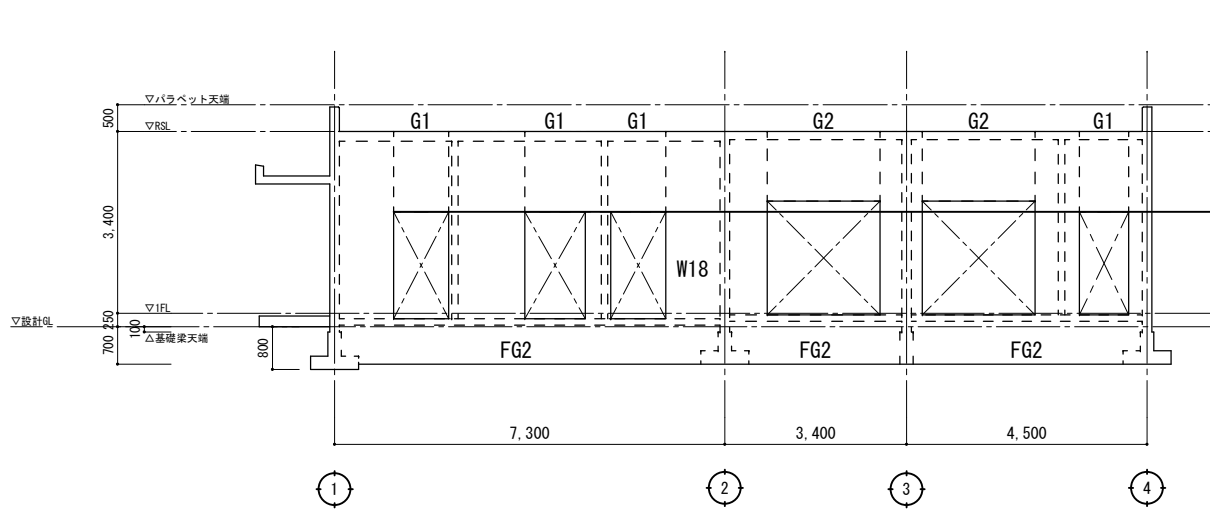
符号	G1	G2	G3	G4	G5
位置	全断面	全断面	両端 中央	全断面	全断面
梁断面					
B × D	180 × 1350	180 × 1150	180 × 600	180 × 1100	180 × 425
上端筋	2-D13	2-D13	2/2-D13	2-D13	2-D13
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13/2-D16	2-D13
S T	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150	D10 @150
腹筋	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200

スラブリスト

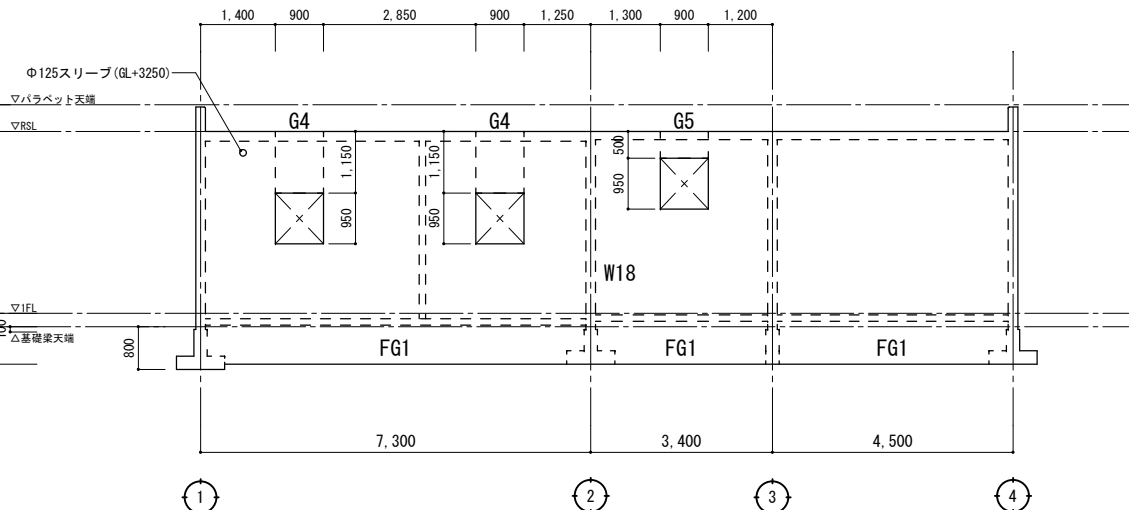
符号	スラブ厚	位置	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)	備考
S1	180	上端筋	D13 @200	D10 D13 @200	
		下端筋	D13 @200	D10 D13 @200	
S2	150	上端筋	D13 @200	D10 D13 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS1	150	上端筋	D13 @200	D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS2	150	上端筋	D10 @100	D10 @100	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	

壁リスト S=1/30

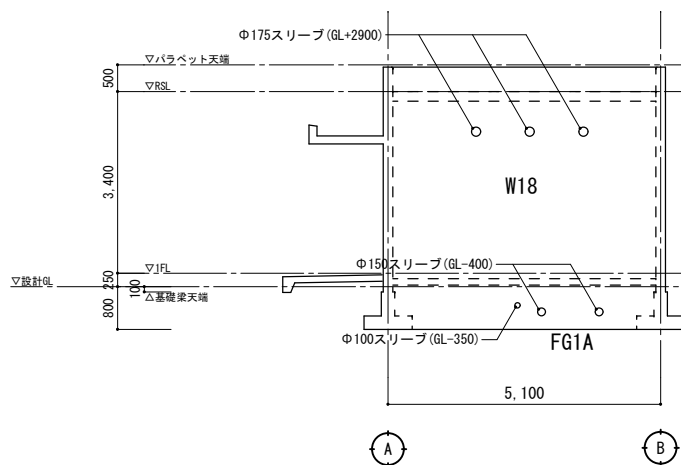
符号	W15	W18	
壁厚	150	180	
配筋図 (縦断面)			
	縦筋	D10-@200	D10-@150
開口補強筋	縦	D10-@200	D10-@200
	横	1-D13	2-D13
巾止め筋	縦	1-D13	2-D13
	横	1-D13	2-D13
巾止め筋	—	D10-1000	
備考			



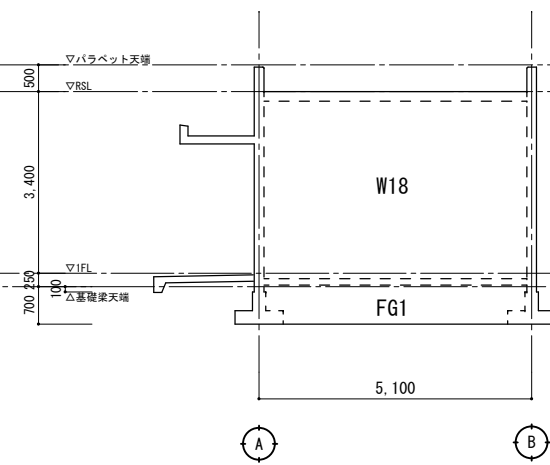
A通り軸組図 S=1/100



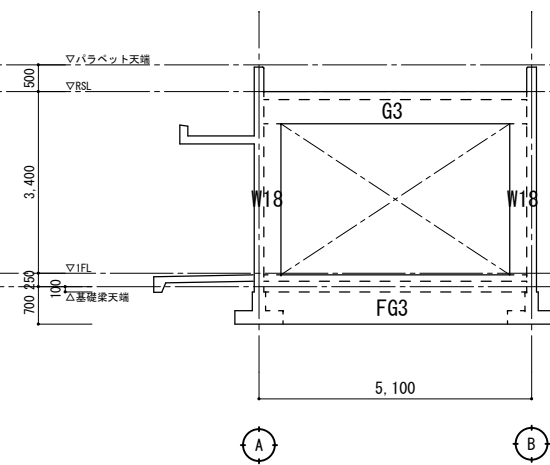
B通り軸組図 S=1/100



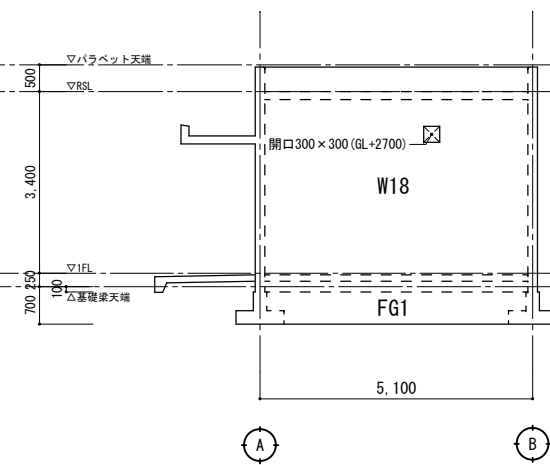
1通り軸組図 S=1/100



2通り軸組図 S=1/100

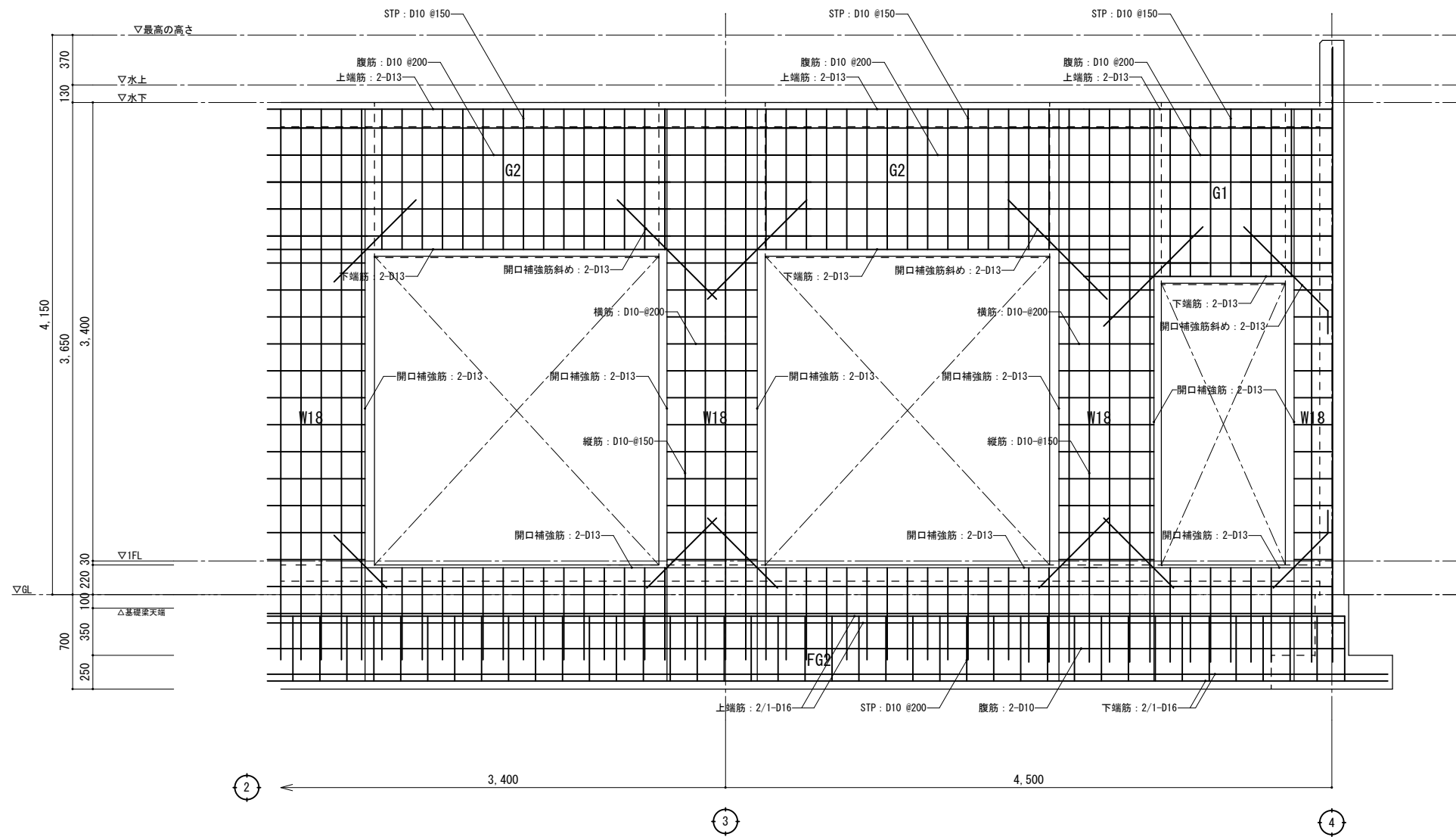


3通り軸組図 S=1/100



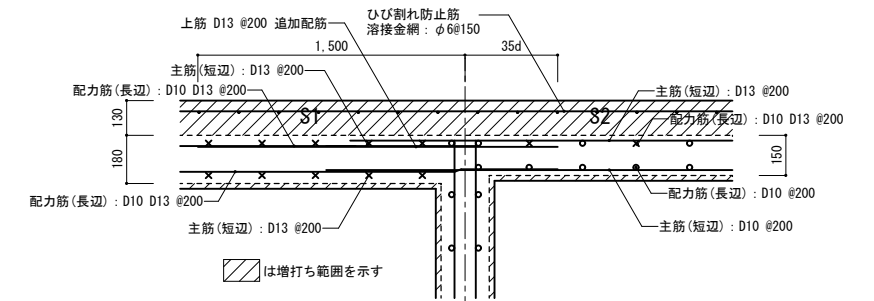
4通り軸組図 S=1/100

屋根面増打ち部について、厚みが90mmを超える部分には溶接金網Φ6@150を配置すること

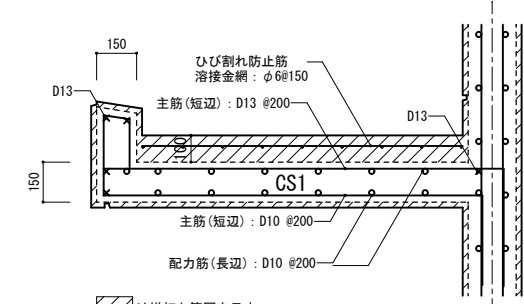


A通り架構配筋詳細図 S=1/30

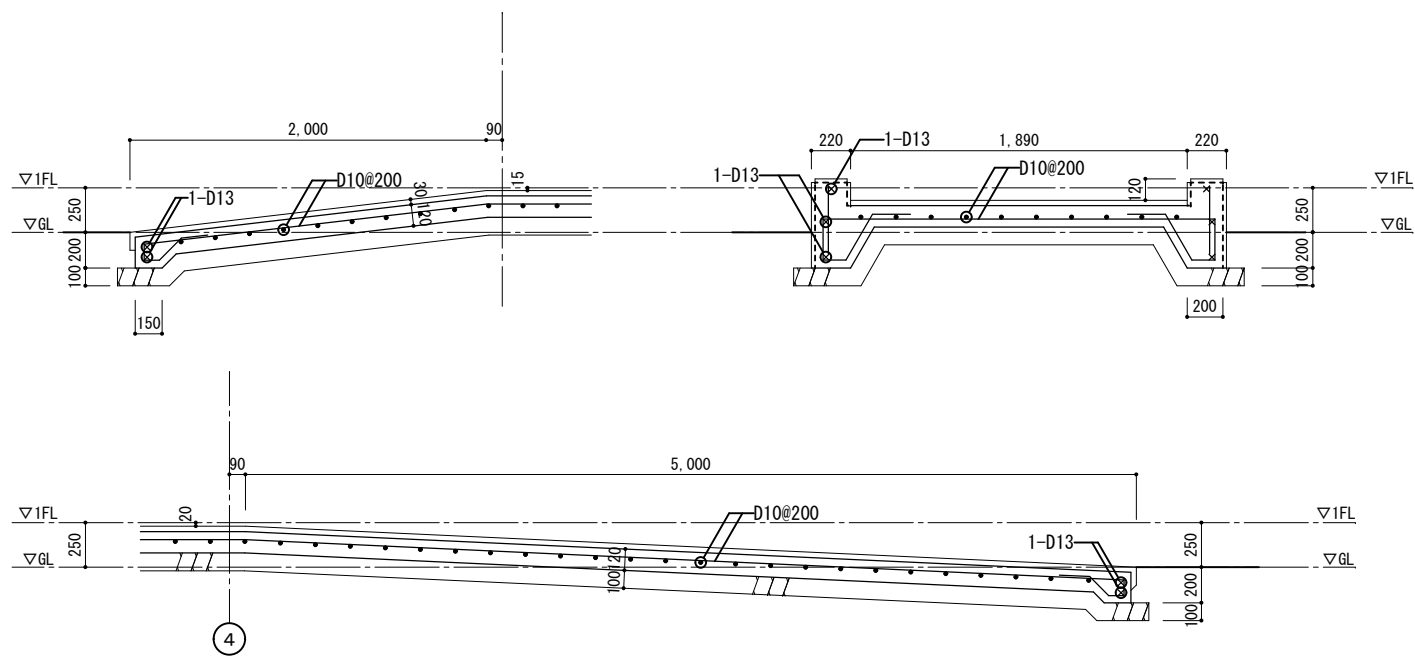
屋根面増打ち部について、厚みが80mmを超える部分には溶接金網φ6@150を配置すること



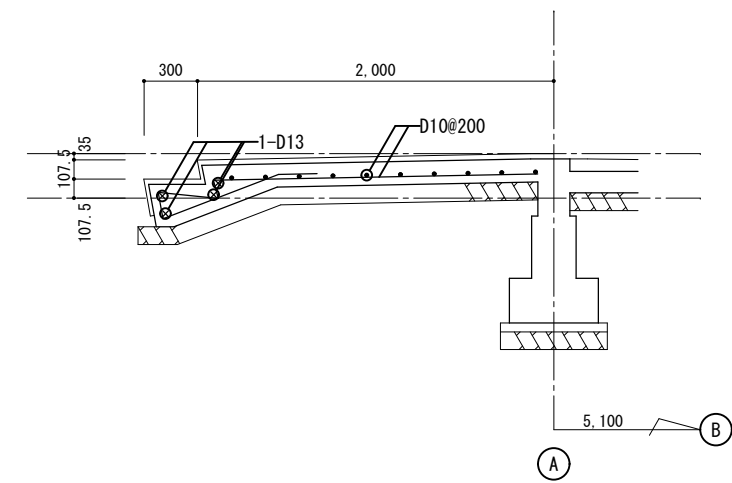
上筋追加配筋部分詳細図 S=1/20



片持ちスラブ部分詳細図 S=1/20



スロープ 配筋詳細図 S=1/30



犬走り 配筋詳細図 S=1/30

1. 工事概要等
1. 工事名称 令和8年度 小学校施設整備事業 川上小学校屋外便所新築工事（建築）
2. 工事場所 広島県市八木町松原田五丁目
3. 建築物表
4. 工事項目

5. 指定部分 ※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日)
II. 工事仕様
1. 共通仕様
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）」...

III. 一般共通事項
1. 施工図等
2. 施工条件
3. 工事安全計画書
4. 施工調査
5. 発生材の処理
6. 構材の品質等

一般共通事項
1. 完成時の提出書類等
2. 足場
3. 工事用電力、水、その他
4. 建設養生の処理
5. 非破壊検査
6. 既存躯体への穿孔
7. あと施工アンカー
8. 電気工事士
9. 新築施工

表: 設計用標準水平風速
設置場所: 上層階, 屋上及び塔屋, 中間階, 地下及び1階
機器種別: 機器, 水櫃類
重要機器, 一般機器, 重要機器, 一般機器

表: 機器の取付け及び取付け
設計用標準水平風速
設置場所: 上層階, 中間階, 地下及び1階
機器種別: 機器, 水櫃類

18. 電線類
19. 電線本数・管径等
20. 露出配管の塗装
21. 屋外露出配管の仕上り
22. ケーブルの種類

表: 埋地配管の仕様
埋設(埋設)
埋設(埋設)
埋設(埋設)

表: 埋地配管の仕様
埋設(埋設)
埋設(埋設)
埋設(埋設)

表: 埋地配管の仕様
埋設(埋設)
埋設(埋設)
埋設(埋設)

一般共通事項
1. 配線図等
2. 配線図等
3. 配線図等
4. 配線図等

1. 照明制御の照度測定等
2. 照明制御装置設置
3. アドレス設定器
4. 点検用リモコン
5. 配線器具
6. 照明器具

表: 配線器具の仕様
1. 10V→設置の規約効率
2. 10V→設置の規約効率
3. 10V→設置の規約効率

表: 配線器具の仕様
1. 10V→設置の規約効率
2. 10V→設置の規約効率
3. 10V→設置の規約効率

表: 配線器具の仕様
1. 10V→設置の規約効率
2. 10V→設置の規約効率
3. 10V→設置の規約効率

表: 配線器具の仕様
1. 10V→設置の規約効率
2. 10V→設置の規約効率
3. 10V→設置の規約効率

1. 大地抵抗の測定
2. 接地システム
3. 電気設備
4. 電気設備

表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別

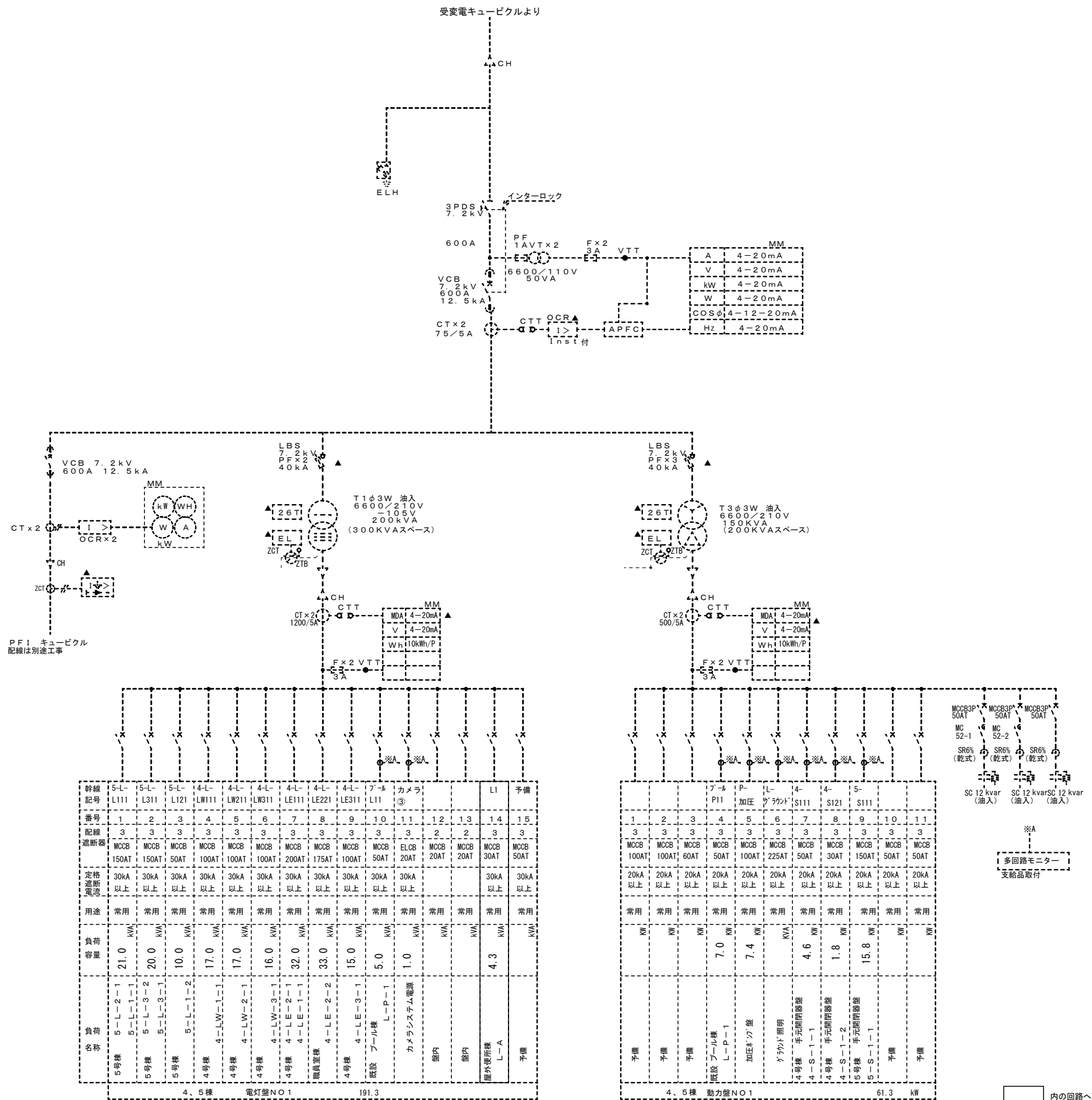
表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別

表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別

表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別

表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別

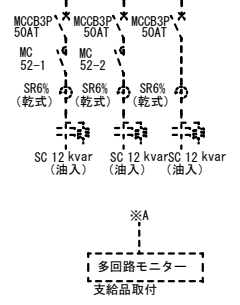
表: 電気設備の仕様
1. 電気方式
2. 電気機器等
3. 燃料小出機
4. 燃料種別



PF1 キュービクル
配線は別途工事

幹線 記号	5-L- L111	5-L- L311	5-L- L121	4-L- LW111	4-L- LW211	4-L- LW311	4-L- LE111	4-L- LE221	4-L- LE311	7-φ L11	カメラ ③	予備				
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
配線	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	3	
遮断器	MCCB 150AT	MCCB 150AT	MCCB 50AT	MCCB 100AT	MCCB 100AT	MCCB 100AT	MCCB 200AT	MCCB 175AT	MCCB 100AT	MCCB 50AT	ELCB 20AT	MCCB 20AT	MCCB 20AT	MCCB 30AT	MCCB 50AT	
定格 遮断 電流	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	30kA 以上	
用途	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	
負荷 容量	21.0 kVA	20.0 kVA	10.0 kVA	17.0 kVA	17.0 kVA	16.0 kVA	32.0 kVA	33.0 kVA	15.0 kVA	5.0 kVA	1.0 kVA			4.3 kVA		
負荷 名称	5号棟 5-L-2-1 5-L-1-1 5-L-1-1	5号棟 5-L-3-2 5-L-3-1 5-L-3-1	5号棟 5-L-1-2	4号棟 4-L-1-1	4号棟 4-L-2-1	4号棟 4-L-3-1	4号棟 4-L-2-1 4-L-1-1	4号棟 4-L-2-2	4号棟 4-L-3-1	既設 プール棟 カメラシステム電源 廊内	廊内	廊内	廊内	廊外 便所棟 L-A	予備	
	4、5棟				電灯盤NO1				191.3							

幹線 記号	7-φ PT1	P- 加圧	L- グランド	4- S111	4- S121	5- S111	予備					
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
配線	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
遮断器	MCCB 100AT	MCCB 100AT	MCCB 60AT	MCCB 50AT	MCCB 100AT	MCCB 225AT	MCCB 50AT	MCCB 30AT	MCCB 150AT	MCCB 50AT	MCCB 50AT	
定格 遮断 電流	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	20kA 以上	
用途	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	常用	
負荷 容量			7.0 kVA	7.4 kVA	4.6 kVA	1.8 kVA	15.8 kVA					
負荷 名称	予備	予備	既設 プール棟 L-P-1	加圧 ポンプ	グランド 照明	4号棟 手元照明器	4号棟 手元照明器	5号棟 手元照明器	予備	予備		
	4、5棟 動力盤NO1											61.3 kW

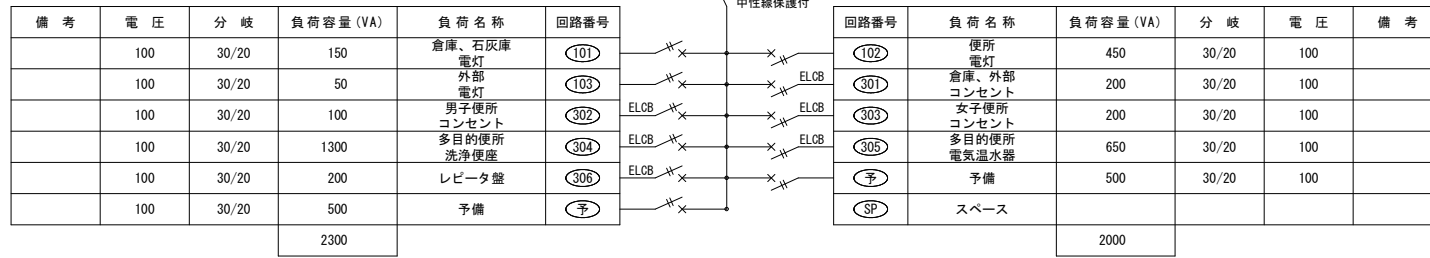
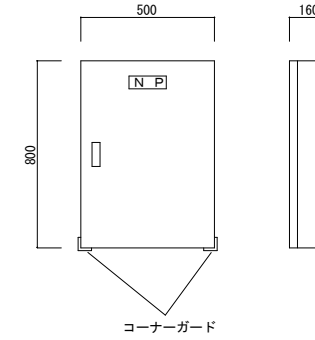


内の回路へ配線を接続すること。

第二変電キュービクル単線結線図

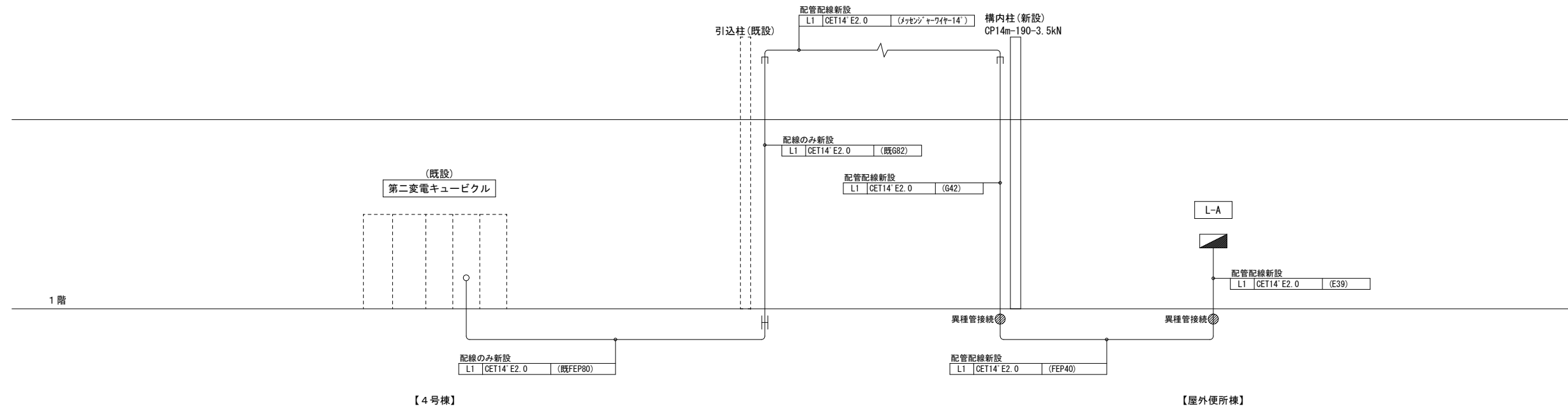
分電盤名称	L-A	
キャビネット型式	屋内壁掛型	
電気方式	種別	常用回路
	相線	単相3線式
	電圧	100/200V
負荷容量	4,300VA	
主幹器具	定格電流	50/30
備考	幹線	CET14
	入線方向	下方向より

分電盤仕様	
形式	屋外壁内型
面板	鋼板 1.6t 以上
扉板	鋼板 1.6t 以上
把手	平面ハンドル(キー付)No.200
螺番	裏面
ベース	鋼板 3.2t
塗装	指定色メラミン焼付
備考	記入寸法・形状は参考とする
	扉裏面に施工者銘板取付とする

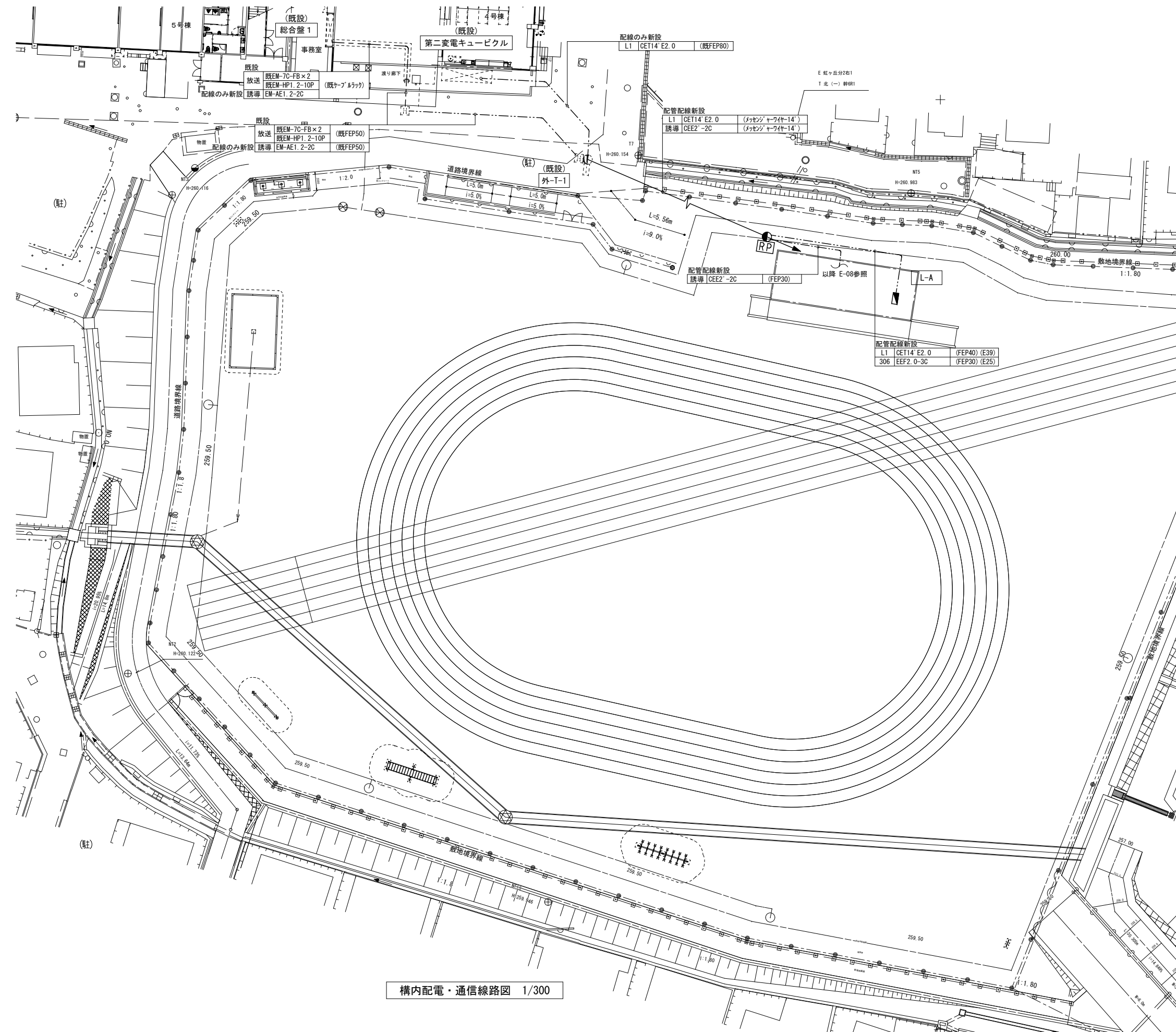


分電盤結線図

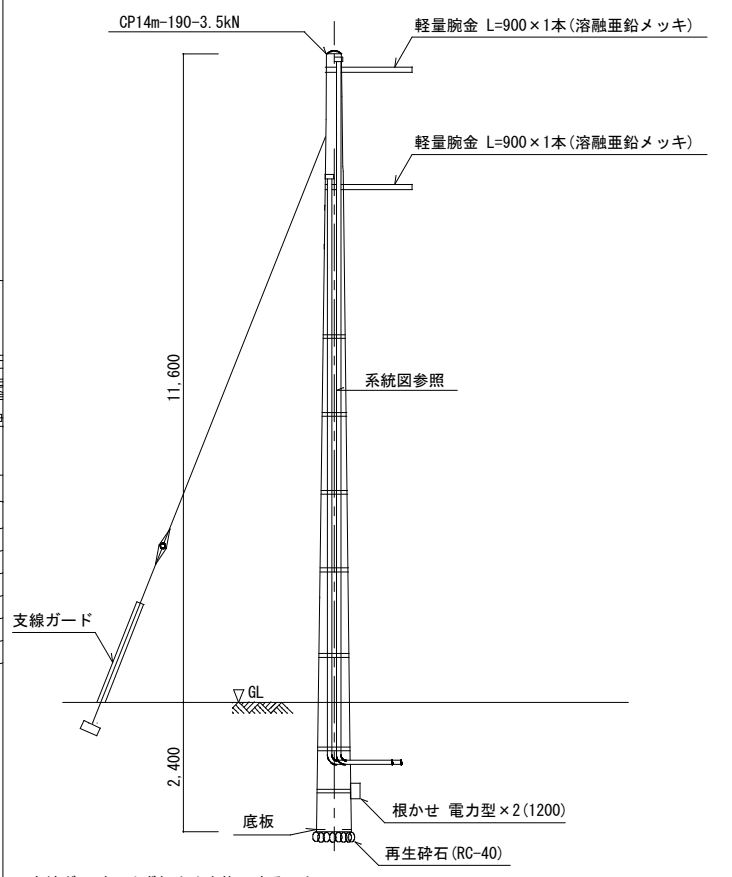
分電盤 (L-A) 参考姿図



幹線系統図

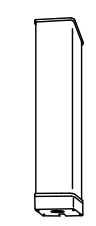


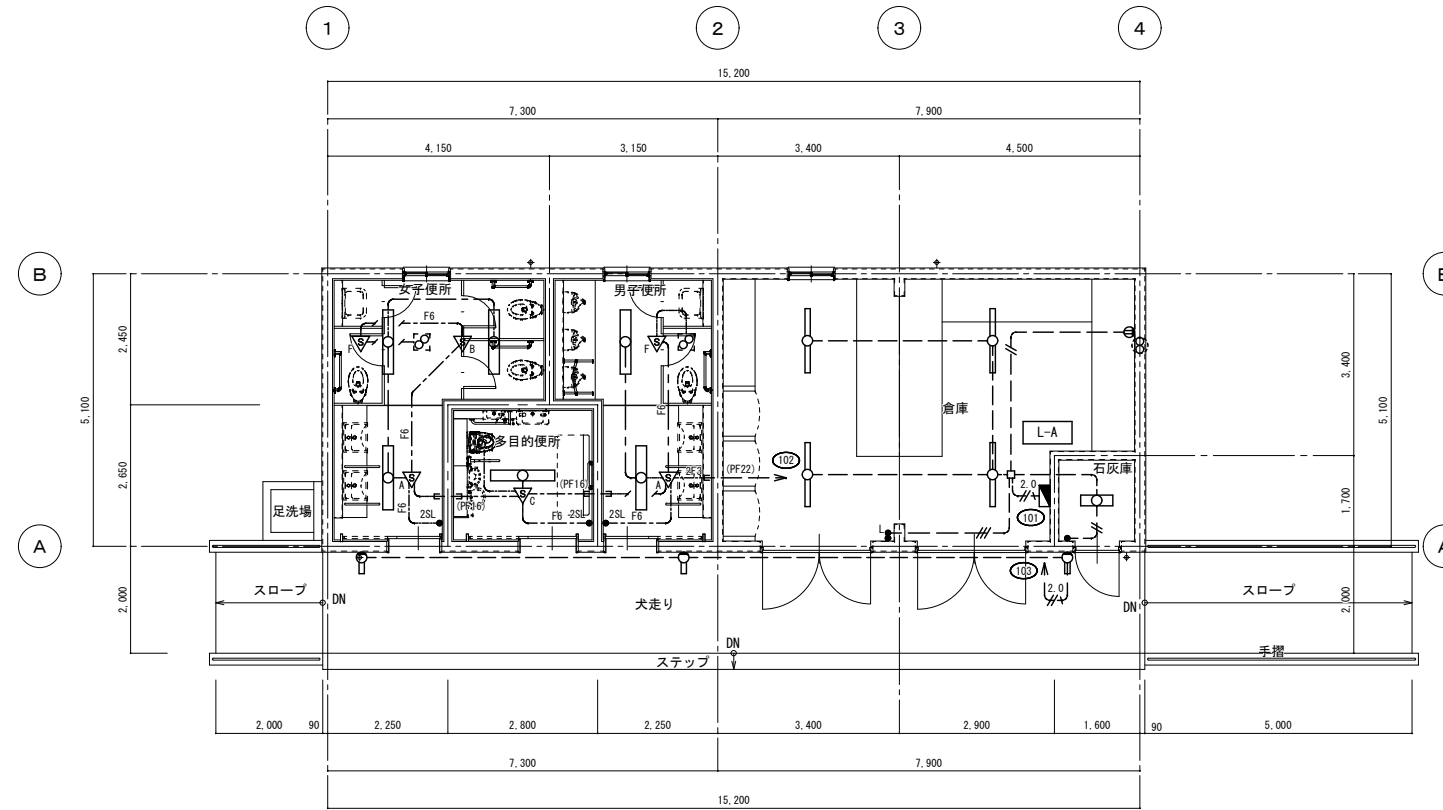
構内配電・通信線路図 1/300



※支線ガードにはずれ止めを施工すること。
コンクリート柱姿図 1/50 参考図

凡例		
記号	名称	備考
▲	電灯分電盤	
●	構内柱 CP14m-190-3.5kN	
[RP]	屋外レベーター盤	

(公)	LSS1-4-30 (ガード付)	倉庫 (4ヶ所)	(公)	LSS9-2-15	石灰庫 (1ヶ所)	(公)	LSS9-4-37	女子便所 (3ヶ所)	SP-1	LEDウォールライト 20形 センサ付	外壁 (3ヶ所)
						(公)	LSS9-4-48	男子・多目的便所 (計3ヶ所)			
										 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型 5,000K、Ra83、光源寿命40,000時間(光束維持率85%) 器具光束1,470lm以上、消費電力16W以下、電圧100~242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート 壁直付型、保護等級：IP23 明るさセンサ・人感センサ付</p>	
		(参)パナソニック XFX430NENLE9+FK41533		(参)パナソニック XFX210AENLE9		LSS9-4-37: (参)パナソニック XFX440AENLE9 LSS9-4-48: (参)パナソニック XFX450AENLE9				(参)パナソニック NNF521812C	



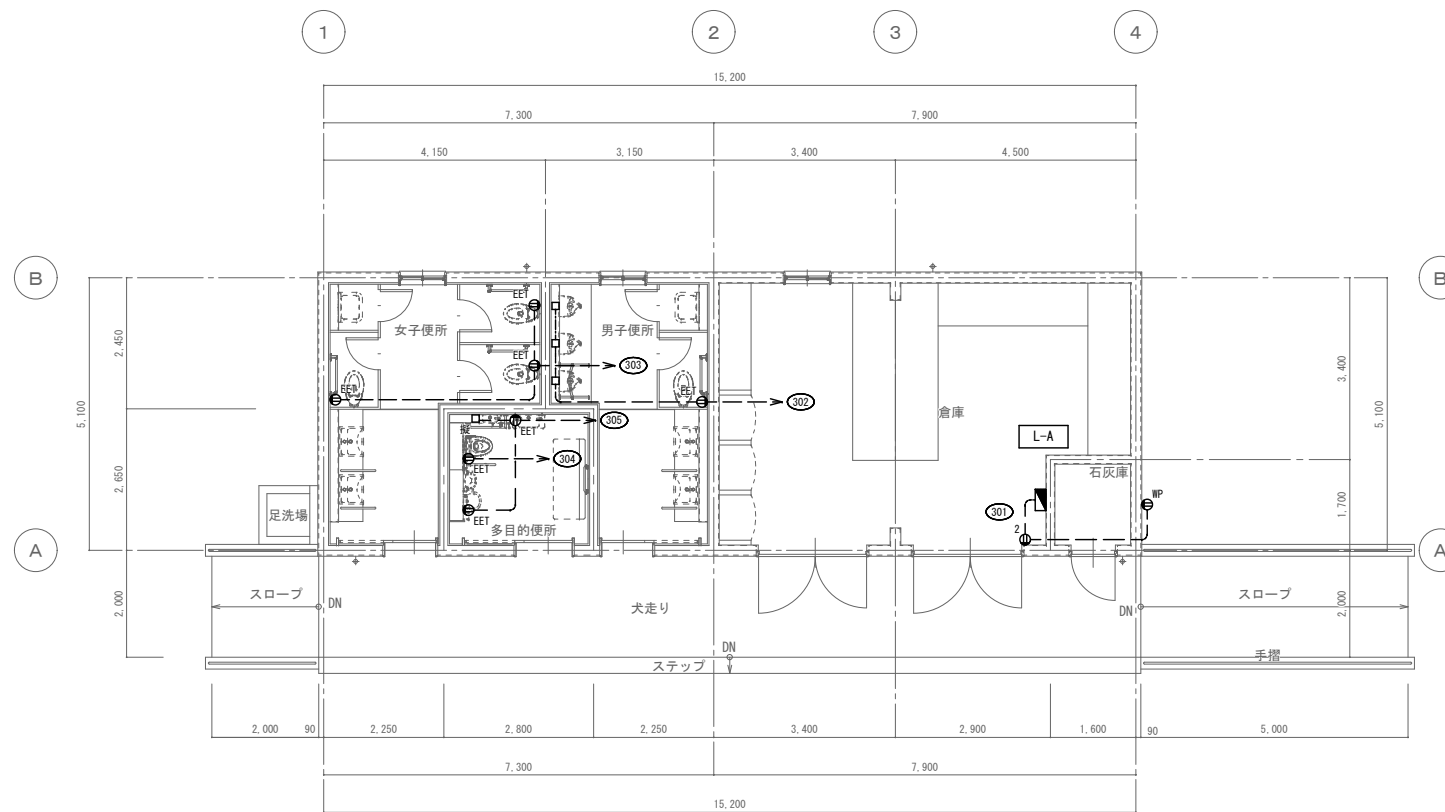
女子便所	多目的便所	男子便所	倉庫	石灰庫
LSS9-4-37	LSS9-4-48	LSS9-4-48	LSS1-4-30 (ガード付)	LSS9-2-15
3	1	2	4	1
外壁				
SP-1				
3				

電灯設備平面図 1/100

1. 特記の無い配線配管は下記による。

---	EEF1. 6-3C	(天井内ころがし) (PF16)
---	EEF1. 6-3C×2	(天井内ころがし) (PF22)
---	EEF2. 0-3C	(天井内ころがし) (PF22)
---	IE1. 6×2	(PF16)
---	IE1. 6×3	(PF16)
---	IE1. 6×3 (1芯接地)	(PF16)
---	IE2. 0×3 (1芯接地)	(PF16)

凡例		
記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	LEDベースライト	
	LEDベースライト	
	LEDブラケットライト	
●	タンブラスイッチ 1P15A×1	
●L	タンブラスイッチ 1P15A×1	確認表示灯付
▽A	熱線センサ付自動スイッチ	観音
▽B	熱線センサ付自動スイッチ	子機
▽C	熱線センサ付自動スイッチ	観音 換気扇連動
▽F	熱線センサ付自動スイッチ	子器 換気扇連動
●2SL	熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット	2回路用
□	アウトレットボックス	
Ⓜ	壁付コンセント 2P15A×1	
	天井付換気扇	別途機械設備工事
	壁付換気扇	別途機械設備工事



コンセント設備平面図 1/100

1. 特記の無い配線配管は下記による。		
----	EEF2.0-3C	(PF22)
----	IE2.0×3 (1芯接地)	(PF16)
2. コンセントの取付け高さはFL+500とする。		

凡例		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
Ⓜ	壁付コンセント 2P15A×2	
ⓂEET	壁付コンセント 2P15A×1 接地極接地端子付	
ⓂFP	防雨コンセント 2P15A×2 接地極接地端子付	
□	アウトレットボックス	
□壁	アウトレットボックス	擬音装置用


MasMas 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 広島県知事登録 第24(1)4585号
 一級建築士 第325897号 小松木 靖之

設計者
 意匠 構造

名称
 令和8年度 小学校施設整備事業
 川上小学校屋外便所新築工事(建築)
 図面名称
 コンセント設備平面図 1/100

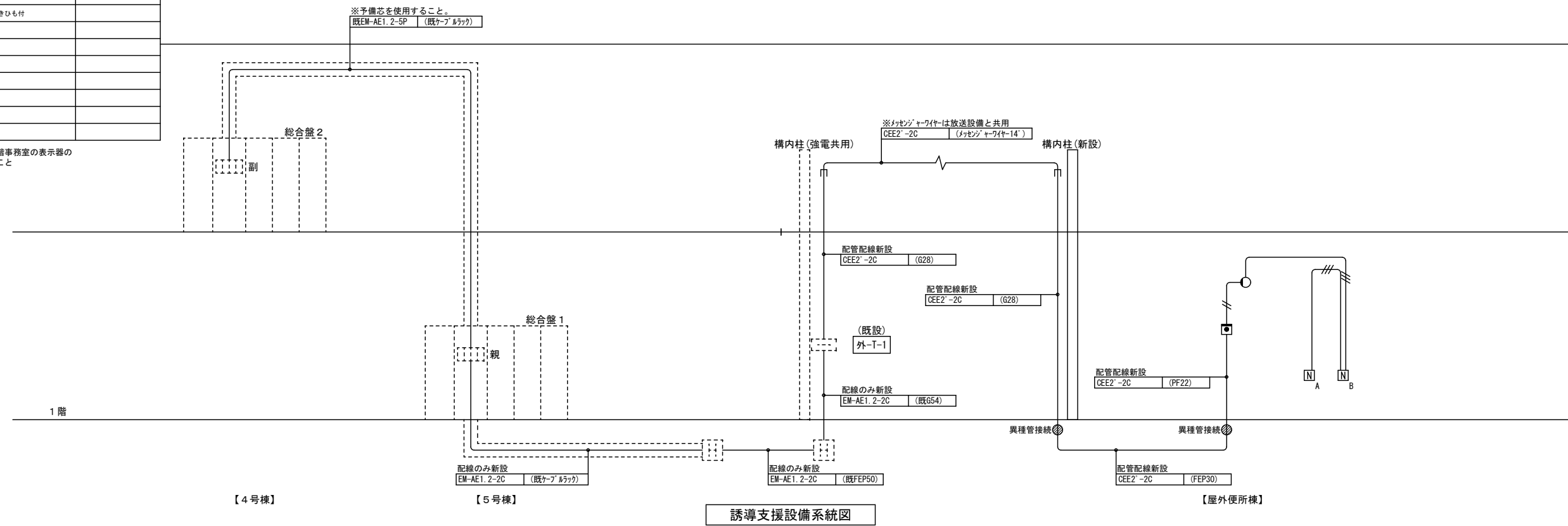
E-06
 A2: 100%
 A3: 71%

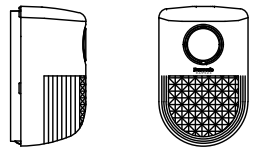
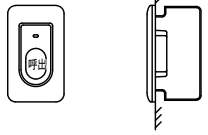
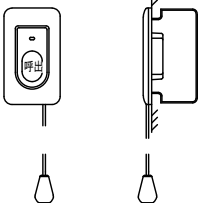
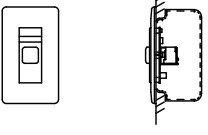
凡例		
記号	名称	備考
□□□	トイレ呼出し表示機	
○	警報ランプ付プザー 屋外用	
NA	トイレ呼出ボタン	
NB	トイレ呼出ボタン 引きひも付	
■	復旧ボタン	
●	構内柱	
H	ハンドホール	
—	ケーブルラック	
----	既設	

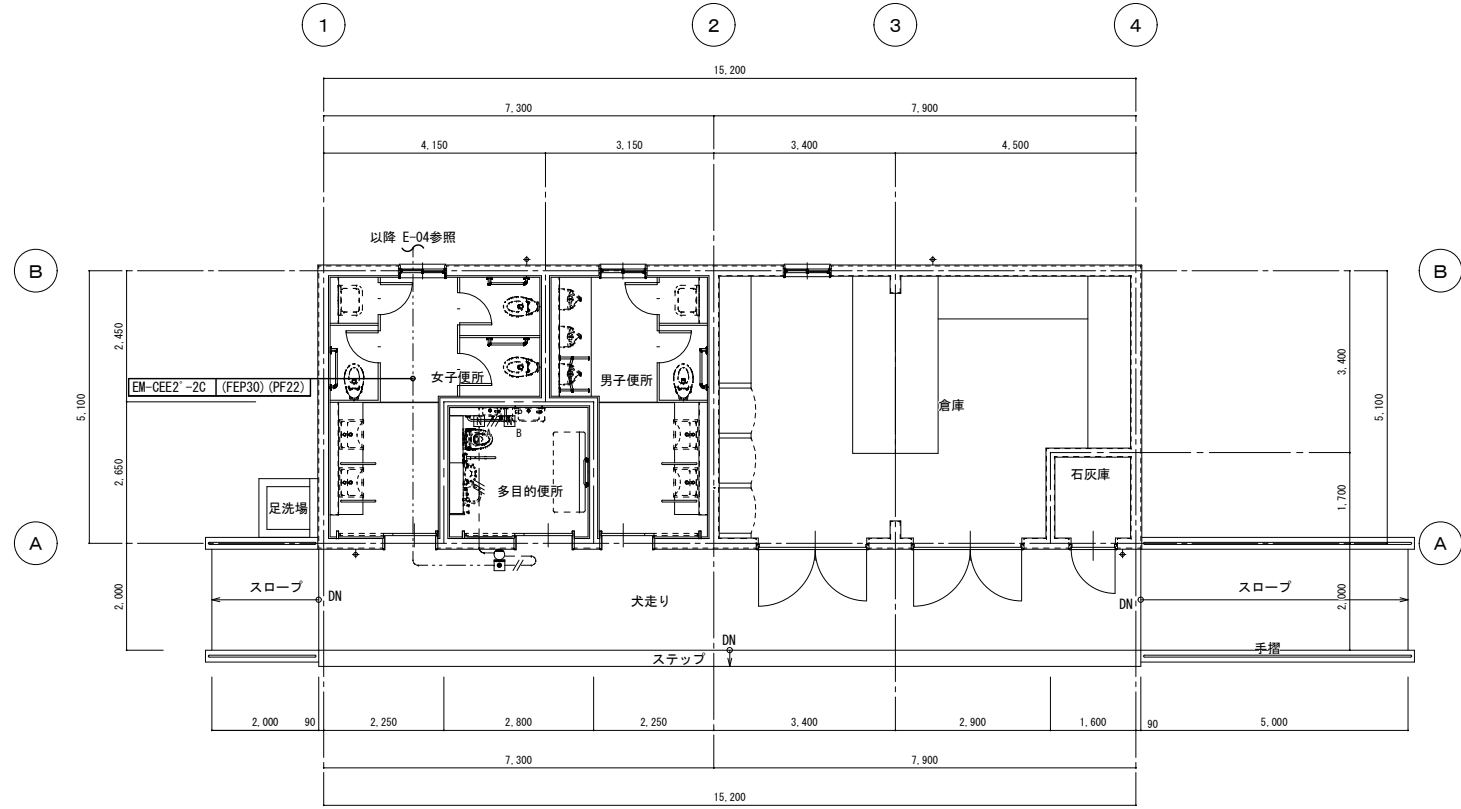
1. 特記の無い配線配管は下記による。

---//---	EM-AE1.2-2C	(天井内ころがし) (PF16)
---//---	EM-AE1.2-3C	(天井内ころがし) (PF16)

※4号棟2階職員室2、5号棟1階事務室の表示器の予備表示を屋外便所に更新すること



<p>○ 警報ランプ付プザー 屋外用</p> <p>パナソニックEA5501</p>  <table border="1"> <tr> <td>定格容量</td> <td>AC12V 6VA DC12V 3VA (250mA)</td> </tr> <tr> <td>操作電圧</td> <td>DC5V</td> </tr> <tr> <td>使用周囲温度</td> <td>-10℃~+50℃</td> </tr> </table>	定格容量	AC12V 6VA DC12V 3VA (250mA)	操作電圧	DC5V	使用周囲温度	-10℃~+50℃	<p>□A トイレ呼出ボタン</p>  <table border="1"> <tr> <td>形状</td> <td>壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>自己消火性樹脂</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考		<p>□B トイレ呼出ボタン 引きひも付</p>  <table border="1"> <tr> <td>形状</td> <td>壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>自己消火性樹脂</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>引きひも式、押ボタン式両用</td> </tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、押ボタン式両用	<p>□ 復旧ボタン</p>  <table border="1"> <tr> <td>形状</td> <td>壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>樹脂</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>防滴プレート(金属製)取付</td> </tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	樹脂	備考	防滴プレート(金属製)取付
定格容量	AC12V 6VA DC12V 3VA (250mA)																										
操作電圧	DC5V																										
使用周囲温度	-10℃~+50℃																										
形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)																										
材質	自己消火性樹脂																										
備考																											
形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)																										
材質	自己消火性樹脂																										
備考	引きひも式、押ボタン式両用																										
形状	壁埋込型 (JIS1 専用スイッチボックス)																										
材質	樹脂																										
備考	防滴プレート(金属製)取付																										



誘導支援設備平面図 1/100

参 考 数 量 書

工事名称：令和8年度 小学校施設整備事業
川上小学校屋外便所新築工事（建築）

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 この参考数量書の内容に疑義のある場合は、設計図書に対する質疑書とは別に、別添様式の「数量に関する参考質問応答書」を提出すること。なお、提出期間、閲覧期間及び提出・閲覧方法は、入札公告の質問書提出期間、回答書閲覧期間に掲げる期間及び提出・閲覧方法とする。

数量に関する参考質問応答書

番号	質 問 事 項	回 答
工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 川上小学校屋外便所新築工事（建築）	
見積者名	印	
東広島市 都市交通部 営繕課		

工事名称 令和8年度 小学校施設整備事業
川上小学校屋外便所新築工事（建築）
工事場所 東広島市八本松飯田五丁目

- ・単価適用年月日 令和8年春号
- ・営繕工事市場単価 令和8年3月労務
- ・営繕工事複合単価
- ・刊行物
- ・建設物価 2026-4月号
- ・積算資料 2026-4月号
- ・建築コスト情報 2026-4月号（春号）
- ・建築施工単価 2026-4月号（春号）
- ・公共工事設計労務単価 (令和8年3月)
- ・広島県 令和7年～8年度 建設発生土処分先一覧表 (令和8年4月改定)
- ・広島県 令和7年度 再資源化施設一覧表
- ・【コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊】 (令和8年2月一部改定)
- ・広島県 令和7年度 再資源化施設一覧表
- ・【建設発生木材】 (令和8年1月一部改定)

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事 中科目別内訳

10

建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
既製コンクリート	内部	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

11

建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
石	内部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
タイル	内部	1	式		
計					
木	内部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		

建築工事 中科目別内訳

12

建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	鋼製建具	1	式		
建具	鋼製軽量建具	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

13

外構工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構改修		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					
雨水排水	雨水樹工事	1	式		
計					

屋外便所					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
電灯設備	コンセント分岐	1	式		
計					
誘導支援設備	トイレ等呼出	1	式		
計					

屋外					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
受変電設備		1	式		
計					
構内配電線路	電力引込み	1	式		
計					
構内通信線路	通信	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

建築工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
外部足場		1	式			別紙 00-0005
災害防止		1	式			別紙 00-0006
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0007
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0008
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		土工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
根切り	つぼ、布掘り 深さ2.5m程度	81.5	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	3.5	m3			
床付け	つぼ、布掘り	171	m ²			
埋戻し(D種)	再生コンクリート砂	34	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 土砂 DID区間無し 7.5km以下	85	m3			
建設発生土処分		153	t			
土工機械運搬	根切り、埋戻し	1	往復			
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		地業				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
砂利地業	再生ワッサラン	17.1	m ³			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	70.1	m ²			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	2.5	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 S15～S18 圧送費、基本料別途	2.5	m ³			
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途加算	2.5	m ³			
コンクリートポンプ圧送基本料金		1	回			
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	4.9	t			
鉄筋コンクリート用異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	1.4	t			
鉄筋コンクリート用異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.4	t			
溶接金網敷	径6.0 150×150	48	m ²			
鉄筋加工組立(基準単価)	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	6.3	t			
鉄筋運搬費	10t車	6.3	t			
スクラップ控除		1	式			別紙 00-0009
計						

建築工事		コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【基礎】						
普通コンクリート	基礎 JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	16.6	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 S15～S18 圧送費、基本料別途	16.6	m3			
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途加算	16.6	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金		1	回			
構造体強度補正	基礎コンクリート 補正值6N/mm2 S=15cm (27N/mm2 - 21N/mm2)	16.6	m3			
【1階床(土間)】						
普通コンクリート	1階床(土間) JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	17.2	m3			
コンクリート打設手間	ポンプ打設 S15～S18 圧送費、基本料別途	17.2	m3			
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途加算	17.2	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金		1	回			
構造体強度補正	補正值6N/mm2 S=15cm (27N/mm2 - 21N/mm2)	17.2	m3			
【躯体】						
普通コンクリート	躯体 JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	65.2	m3			
コンクリート打設手間	ポンプ打設 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	65.2	m3			

建築工事		コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途加算	65.2	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金		2	回			
構造体強度補正	躯体コンクリート 補正值6N/mm2 S=18cm (27N/mm2 - 21N/mm2)	65.2	m3			
【倉庫】						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	1.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18	1.3	m3			
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途加算	1.3	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金		1	回			
計						

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
大便器用L型手摺	樹脂製 L=700 (TOTO T112CL10同等)	1	か所			
大便器用L型手摺	取付費	1	か所			
掃除具掛け	SUS製 (TOTO YKH20R同等)	3	か所			
掃除具掛け	取付費	3	か所			
(トイレ器具)	男子便所					
カウンター	ホースフォーム W2100×D450 ブラケット共	1	か所			
かか-用手摺	樹脂製 (TOTO M268N同等)	2	か所			
かか-手摺	取付費	1	組			
鏡	W600×H900 (TOTO YM6090A同等)	2	か所			
鏡	取付費	2	か所			
大便器用L型手摺	樹脂製 L=700 (TOTO T112CL10同等)	1	か所			
大便器用L型手摺	取付費	1	か所			
小便器用手摺	樹脂製 L=600 (TOTO T112CU22同等)	1	か所			
小便器用手摺	取付費	1	か所			
掃除具掛け	SUS製 (TOTO YKH20R同等)	3	か所			

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
掃除具掛け	取付費	3	か所			
(トイレ器具)	多目的便所					
大便器用L型手摺	樹脂製 L=800 前出上部：410 前出下部：230 (イージーオーダー品)	1	か所			
大便器用L型手摺	取付費	1	か所			
大便器用 はね上げ手摺	樹脂製 L=700 (TOTO T112HK7R同等)	1	か所			
大便器用 はね上げ手摺	取付費	1	か所			
大便器用背もたれ	(TOTO EWC283CR同等)	1	か所			
大便器用L型手摺	取付費	1	か所			
収納式多目的シート	(TOTO EWC520ARN同等)	1	か所			
収納式多目的シート	取付費	1	か所			
ベンチア(平面設置タイプ)	(TOTO YKA15S同等)	1	か所			
ベンチア(平面設置タイプ)	取付費	1	か所			
鏡	W350×H1000 (TOTO YM511同等)	1	か所			
鏡	取付費	1	か所			
化粧欄	(TOTO YKH50A同等)	1	か所			

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
化粧棚	取付費	1	か所			
(木製棚ﾌﾝﾄ立て)						
木製棚(倉庫) 3300×1600		1	式			別紙 00-0013
木製棚(倉庫) 2800×800		1	式			別紙 00-0014
木製棚(倉庫) 3215×800		1	式			別紙 00-0015
木製棚(倉庫) 2090×600		1	式			別紙 00-0016
木製ﾌﾝﾄ立て (倉庫) 2810×600		1	式			別紙 00-0017
木製棚(石灰庫) 1425×600		1	式			別紙 00-0018
SUSﾌﾞﾚｰｸ (ﾌﾝﾄ立て)		1	式			別紙 00-0019
計						

外構工事		外構改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
準全天候型ｸﾞﾗｽ舗装撤去		5.7	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾞﾄﾗｯｸ 10t積級 ﾊﾞｯｸﾙ約0.8m3 土砂 DID区間無し 7.5km以下	5.7	m3			
建設発生土処分		10.3	t			
面上排水材撤去	W=300 t=10 両面排水	8.6	m ²			
面上排水材新設	W=300 t=10 両面排水	1	式			別紙 00-0020
準全天候型ｸﾞﾗｽ舗装	改良土・再生砕石(RC30) 材工共 人力施工	83	m ²			
計						

屋外		構内通信線路			通信	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ケーブル		1	式			別紙 00-0046
電線管		1	式			別紙 00-0047
メッセージライター		1	式			別紙 00-0048
地中線埋設標識		1	式			別紙 00-0049
土工事		1	式			別紙 00-0050
計						

建築工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一般	86.1	m ²			
計						
露出し		1	式			別紙 00-0002
露出し	一般 RC・SRC造 地上階	77.5	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一般 RC・SRC造 地上階	77.5	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一般 RC・SRC造 地上階	77.5	m ²			
計						

建築工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0005
くさび緊結足場 (手すり先行方式)	建地幅900 10m未満 架払い手間 賃料 維持管理費 6か月 運搬費含む	175	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0006
メッシュ張り	防災性能 JIS A 8952 類 賃料 架払い手間 維持管理費	175	m ²			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0007
内部仕上足場		77.5	m ²			
計						

建築工事		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
打放し面補修		1	式			別紙 00-0010
打放し面補修	B種 コシ処理無 部分目違いばらい	502	m ²			
計						
型枠目地棒		1	式			別紙 00-0011
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	74.1	m			
型枠目地棒	誘発目地 幅20 × 深さ20程度	43	m			
型枠目地棒	水切目地 幅15 × 深さ10程度	20.8	m			
型枠目地棒	面木	74.5	m			
型枠目地棒	便所床	4.5	m			
型枠目地棒	ｽｰﾌﾞ・犬走り	14	m			
計						

建築工事		金属			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨天井開口部補強		1	式			別紙 00-0012
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 400角 ｽｰﾄﾞ切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450 × 450mm程度 ｽｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			
計						

建築工事 別紙明細

65

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製棚(倉庫) 3300×1600		1	式			別紙 00-0013
木製棚 施工費 3300×1600	柱・貫・根太・つなぎ	5.3	m ²			
木製棚 施工費 3300×1600	棚板	5.3	m ²			
柱	米柵 90°90 材料費	4	本			
貫	米柵 90°45 材料費	2	本			
つなぎ	米柵 90°45 材料費	6	本			
根太	米柵 60°45 材料費	8	本			
棚板	構造用合板 910*1820 t=15 材料費	8	枚			
転倒防止	L-60*60*3	1.6	m			
防錆剤塗り	2回塗り	26.6	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

66

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製棚(倉庫) 2800×800		1	式			別紙 00-0014
木製棚 施工費 2800×800	柱・貫・根太・つなぎ	2.2	m ²			
木製棚 施工費 2800×800	棚板	2.2	m ²			
柱	米柵 90°90 材料費	3	本			
貫	米柵 90°45 材料費	2	本			
つなぎ	米柵 90°45 材料費	4	本			
根太	米柵 60°45 材料費	4	本			
棚板	構造用合板 910*1820 t=15 材料費	4	枚			
転倒防止	L-60*60*3	0.8	m			
防錆剤塗り	2回塗り	16.5	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

67

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製棚(倉庫) 3215 x 800		1	式			別紙 00-0015
木製棚 施工費 3215 x 800	柱・貫・根太・つなぎ	2.6	m ³			
木製棚 施工費 3215 x 800	棚板	2.6	m ²			
柱	米柵 90°90 材料費	2	本			
貫	米柵 90°45 材料費	2	本			
つなぎ	米柵 90°45 材料費	4	本			
根太	米柵 60°45 材料費	4	本			
棚板	構造用合板 910*1820 t=15 材料費	4	枚			
転倒防止	L-60*60*3	0.8	m			
防錆剤塗り	2回塗り	15.7	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

68

建築工事		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製棚(倉庫) 2090 x 600		1	式			別紙 00-0016
木製棚 施工費 2090 x 600	柱・貫・根太・つなぎ	1.3	m ³			
木製棚 施工費 2090 x 600	棚板	1.3	m ²			
柱	米柵 90°90 材料費	3	本			
貫	米柵 90°45 材料費	2	本			
つなぎ	米柵 90°45 材料費	4	本			
根太	米柵 60°45 材料費	3	本			
棚板	構造用合板 910*1820 t=15 材料費	6	枚			
転倒防止	L-60*60*3	0.8	m			
防錆剤塗り	2回塗り	14.9	m ²			
計						

外構工事		雨水排水		雨水枡工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
雨水枡		1	式			別紙 00-0021
雨水枡	300 H510	1	か所			
雨水枡	300 H460	1	か所			
計						
雨水管		1	式			別紙 00-0022
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	地中配管 75A	8.8	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	地中配管 100A	15.7	m			
計						

屋外便所		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
照明制御装置		1	式			別紙 00-0023
熱線ヒガ付自動スイッチ	親器	2	個			
熱線ヒガ付自動スイッチ	親器 換気扇連動	1	個			
熱線ヒガ付自動スイッチ	子器	1	個			
熱線ヒガ付自動スイッチ	子器 換気扇連動	2	個			
計						
配線器具		1	式			別紙 00-0024
タップスイッチ (金属プレート付)	1P 15A × 1 - ネム無	1	個			
タップスイッチ (金属プレート付)	1P 15A × 1 PL × 1 ネム付	1	個			
熱線ヒガ付自動スイッチ用操作ユニット	2回路	3	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A × 1 - 125V	1	個			
計						

屋外便所		電灯設備			電灯分岐	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線		1	式			別紙 00-0025
600V耐燃性 ^ホ リイ ン絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	1.6mm	126	m			
600V耐燃性 ^ホ リイ ン絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	2.0mm	17	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0026
EM-EEFケーブル	1.6mm- 3C ビット・天井	43	m			
EM-EEFケーブル	1.6mm- 3C FEP内(PF-CD)	8	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C ビット・天井	2	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C FEP内(PF-CD)	9	m			
計						

屋外便所		電灯設備			電灯分岐	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線管		1	式			別紙 00-0027
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 16mm	52	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 22mm	12	m			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0028
金属製 アクトレット ^ホ ックス(加 付)	中四角 深型 D54	1	個			
計						

屋外便所		電灯設備		コンセント分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配線器具		1	式			別紙 00-0029
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 - 125V	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	7	個			
コンセント(防雨形)	2P15A×2 (抜止め 接地極×2 接地端子付) 125V	1	個			
計						
電線		1	式			別紙 00-0030
600V耐燃性非リフレ ン絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	2.0mm	230	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0031
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C 管内	3	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C FEP内(PF-CD)	21	m			
計						

屋外便所		電灯設備		コンセント分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線管		1	式			別紙 00-0032
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 16mm	77	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 22mm	1	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 22mm	2	m			
ねじなし電線管 (E)	露出配管 25mm	2	m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(30)	20	m			
異種管接続材	FEP30	1	個			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0033
金属製 アクトボックス(加付)	中四角 深型 D54	4	個			
計						

屋外		構内配電線路			電力引込み		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
電線		1	式			別紙 00-0040	
600V耐燃性 ^ホ リ孔 ^ソ 絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	46	m				
600V耐燃性 ^ホ リ孔 ^ソ 絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	2.0mm	39	m				
計							
ケーブル		1	式			別紙 00-0041	
EM-CETケーブル	14mm2 管内	46	m				
EM-CETケーブル	14mm2 FEP内(PF・CD)	39	m				
計							

屋外		構内配電線路			電力引込み		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
電線管		1	式			別紙 00-0042	
厚鋼電線管(G)	露出配管(塗装有) 42mm	12	m				
ねじなし電線管(E)	露出配管 39mm	2	m				
波付硬質合成樹脂管(FEP)	(40)	20	m				
異種管接続材	FEP40	2	個				
計							
メソジケーブル		1	式			別紙 00-0043	
メソジケーブル	14mm2	21	m				
計							
地中線埋設標識		1	式			別紙 00-0044	
地中埋設標	コンクリート製	1	個				
埋設標識シート	2倍長(W) 150	19	m				
計							

屋外		構内通信線路			通信		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
電線管		1	式			別紙 00-0047	
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 28mm	42	m				
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	2	m				
波付硬質合成樹脂管(FEP)	(30)	17	m				
異種管接続材	FEP30	2	個				
計							
メッシュワイヤ-		1	式			別紙 00-0048	
メッシュワイヤ-	14mm ²	21	m				
計							
地中線埋設標識		1	式			別紙 00-0049	
地中埋設標	コンクリート製	1	個				
埋設標識シート	2倍長(W)150	16	m				
計							

屋外		構内通信線路			通信		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
土工事		1	式			別紙 00-0050	
根切り(機械)	バックホウ 0.13m ³ 排出ガス対策型 油圧式加圧型	4.9	m ³				
埋戻し	機械バックホウ 0.13m ³ 排出ガス対策型 油圧式加圧型	4.9	m ³				
計							

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	成形鋼板 H=3000	124	m			
キャスター	W=6000 H=1800	1	か所			
鉄板敷き	t=22	167	m ²			
交通誘導警備員		150	人			
広島県工事中情報共有システム利用料		1	式			
計						